

特定非営利活動法人

VOL.21

南国暮らしの会

2003 年 夏 季 号



平成 15 年 7 月 26 日



NPO 法人 南国暮らしの会

表 紙		頁
目 次		1
15年度総会	①理事長挨拶 理事長 池田 徳三郎	2
	②総会議事録	3
	③平成15年度事業計画	4
	④平成15年度予算	5
	⑤平成14年度決算	6～7
関東支部情報交換会 講演要旨		
4月19日	バンコク・チェンマイ・等の病院めぐり No. 3 池田 徳三郎	8～11
	マレーシア面白クワイヤー生活とクワイヤメントビザ取得法 No. 302 末 英樹	12～13
	海外ロングステイ生きる喜びを与えたい No. 350 宮 博	14～15
	ロングステイの為の上手な海外障害旅行保険利用案内AIU保険会社 高橋慎二	16
5月31日	とどけ！バリの空へ、日本の心 No. 593 小林 繁之	17
タイ特集		
お気に入りレストランとメニュー (タイ編)		
	バンコクの便利でお気軽レストラン No. 189 五十嵐輝夫・泰子	18～20
	チェンマイ、私の好きなレストランとメニュー No. 26 鈴木 宣夫	21～22
	彷徨の途中 No. 496 大瀬戸幸次	23～25
	チェンマイステイ報告 No. 96 宮澤 英光	26～29
	タイを中心にメコン周辺を楽しむ No. 80 阿部 功	30～37
	マニラのマンション購入余話 No. 291 福田 修	38～42
	南国田舎暮らしの記 No. 227 斉木 一	43～47
	糸の切れた凧 No. 101 高澤 弘晃	48～51
	南の空から情報宅急便 -南国メーリングリストより-	52～56
海外会員への心遣い	副理事長 (事務局海外推進担当) 宮崎 哲郎	57～58
アンケート後日報告	No. 327 市東 明義	59
平成15年度「南国暮らしの会」総会模様と細則一部変更について	酒匂 景輝	60
南の会・伝言・掲示板・15年度役員業務分担表		61～63
支部・部会伝達板		64～69



挨拶をする池田理事長

会員の皆様、ご健勝のことと拝察いたします。5月31日は、台風時に遠く北海道・九州から80余名が会場にご参集くださいました。

和やかに総会・情報交換会・懇親会が出席会員のご協力、関係役員のご尽力により、ほぼ予定通り終ることが出来、関係者に厚く御礼申し上げ、併せ欠席会員に報告致します。

1. 総会(10時～11時50分)

議長に山梨の橋本慧様選ばれ、総会資料にもとづき予定の議案を別掲の議事録記載の通り、審議しました。これに関し若干補足しますと

① 平成14年度決算報告書のご承認並びに基本金の繰入、事業拡張準備金の繰入のご承認を得、その用途は委員会で具体的計画を検討することになりましたが、会員皆様の建設的ご意見を期待しているところです。

② 平成15年度予算案は 基本的に前年度の事業を踏襲。その重点は広報活動科目を新設、各種催しをビデオ撮影し、各支部に配布する新しい試み。他に支部の充実と交流を深める。入会者むけの資料の充実を図るなどの内容です。

③ 新監事の選任について、会報で役員候補者を公募したが、皆無で、理事会で2名の監事候補者を推挙し、出席者全員のご賛成で選任。

④ 理事のご信任(前回の総会以後に理事に就任された方の信任)は出席者全員のご賛成を得。一部活発な意見もあり、時間超で終わりました。現在15名の理事は業務を分担し、15年度の事業計画の効果的推進を関係役員・会員と共に

予算の範囲で実施し、より良い成果を挙げたいとの決意しております。

会員の皆様には、少なくとも1日1時間の時間と労力を割愛して頂き(週7時間余、月30時間前後)、ボランティアで会の要になるようご協力頂ければ、巨大なパワーとなります。

是非建設的ご意見と積極的ご参加とご協力を全会員の皆様に改めてお願い致します。

2. 情報交換会(13時20分～16時55分)

平素各支部ために主にご尽力頂いております国内全支部長様の紹介とご挨拶から始まり、ついで、Eメールでお馴染みの安部功様が貴重で豊富なスライドを駆使した見所・穴場などの楽しい講演、宮澤英光様はチェンマイ生活体験、歴史、歳時などの生活文化講演、またバリ島と日本の架け橋の役を努め、両国の親善に貢献される小林繁之様の講演。三方はいずれも大ベテランらしい有意義な内容で大好評でした。

その後、北海道の三方、その他遠路の会員紹介、コタキナバルの奥田由美子様、フィリピンの田中誠博様の体験自己紹介など。

3. 懇親会(17時30分～21時ころ)

初めて国内支部長のご参加による懇親会も兼ねて開催。70余名の参加者は講演者の周りに輪になり、また個々の団欒、グループごとの懇談はフリーな輪になり、新旧会員が相互に溶け合いそれぞれの話題を膨らませました。

定刻過ぎても懇親の輪は続きました。(完)



議長を勤める橋本さん

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 平成 15 年度通常総会議事録

日 時 : 平成 15 年 5 月 31 日 (土) 10 時 30 分～11 時 50 分
場 所 : 東京都大崎労政事務所・南部労政会館
出席者 : 155 名 (うち委任状 114 名)

司会の高澤理事は、最新の会員総数が 379 名であることから本日の通常総会が成立することを説明し、本法定款第 2 5 条の規定により議長の選出について語った。

議長の選出：橋本 慧氏が選ばれて議長となり、開会を宣言し、議案の審議に入った。

議 案

第一議案 平成 14 年度事業報告および決算報告について

池田理事長が同年度の事業報告書にもとづき詳細な事業報告をおこない、次いで山田理事が同年度の収支計算書及び貸借対照表(事業報告書は本年度会報春季号に掲載、その他はいずれも通常総会資料として配布、以下同じ)にもとづき詳細な決算報告をおこなった。続いて富永監事から、同決算報告書は当会定款等にもとづき適切に運営され、いずれも正確である旨の報告がなされた。議長は同案について賛否を語り、原案通り満場一致で承認された。

第二議案 平成 15 年度事業計画および予算(案)について

菊地理事が本年度の事業計画書および収支予算書案にもとづき詳細な説明をおこなった。議長は同案について賛否を語り、原案通り満場一致で承認された。

第三議案 定款・細則一部変更について

酒匂副理事長が「南国暮らしの会定款一部変更(法人の事務所変更、監事の定員 2 名を 3 名に変更)案並びに同細則改訂案」にもとづき詳細な説明をおこなった。質疑の後、議長は同案について賛否を語り、原案通り満場一致で承認された。

第四議案 新監事の選任について

議長は、定款 1 4 条第 1 項による新監事の選任について説明を求めた。池田理事長から役員の立候補者の届出はありませんので理事会において以下 2 名の新監事候補を推挙した経過等詳細な説明がなされた。議長は新監事候補の推挙についてその賛否を語ったところ、推挙が了承され、満場一致で選任を決議した。新監事は就任を承諾した。

新監事 : 米田隆雄、改訂定款認証後に就任する新監事 齊藤 彰

第五議案 新理事の承認について

議長は、細則第 11 条による新理事の信任について説明を求めた。池田理事長から理事会において以下 6 名の新理事を承認した経過等詳細な説明がなされた。議長は理事会で承認された新理事の選任についてその賛否を語ったところ、理事選任について満場一致で承認をもって信任された。

新理事 : 小澤公子、市東明義、平尾守満、細田良子、龍野 宏、小林康紀

その他

- 1) 当会役員に何らかの報酬を支給すべしという発言に対し、寄付金徴収などによる財源確保を前提とした賛成意見、報酬支給と業務内容の不均衡等の理由による反対意見など活発な議論が交わされ、理事会で検討することとなった。
- 2) 上記に関し、寄付金の免税措置があれば寄付の可能性が生ずるとの質問に対し、理事長から、NPO 法人は現在「特定法人」の対象外であり、特別の免税措置はない。NPO 法人団体で「特定寄付」の指定を要望中であるが、現在のところ一般寄付の取り扱いになるとの説明がなされた。
- 3) 平成 14 年度の収支計算書及び貸借対照表、平成 15 年度の事業計画書および収支予算書は会報夏季号に掲載し、定款・細則一部変更内容については「必携」差し替え資料として夏季号に同封の予定である。また、正副理事長・5 国内支部長・事務局による支部長会議の予定が連絡された。

議長は本日の総会における議案の総てが終了したことを告げ、議事録署名人に阿部功氏を指名し、語ったところ、同氏が選任された。議長は議事の進行に関し出席者の協力を謝し、11 時 50 分に閉会を宣した。

平成 15 年 5 月 31 日

議事録署名人
議 長

橋 本 慧 

出席者

阿 部 功 

平成15年度事業計画書

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

1. 事業の方針

前年度の事業を踏襲し、次のことを推進する。

- (1) わが国の退職者等を歓迎する国々について、その情報を収集し、調査し、それらの資料を公開し、南国暮らしを前年度に引き続き推進する。
- (2) 情報交換会、講演会、サロン会、支部会、旅行会を通じて、会員相互の研鑽、相互懇親を深める。
- (3) 支部の組織化と充実並びに支部の増設（北海道・パース）の推進。
- (4) 南の国々の医療に関する調査を引き続き継続。
- (5) 新規会員増大のためのPR、配布資料の充実と退会者減少方法の調査。
- (6) 地方の会員、パソコンを使用しない会員に対しても出来るだけ公平に情報を提供するように努め、情報の共有化を図る（具体的には情報交換会等のビデオ撮影・配布、会報の更なる充実、当会ホームページ・メーリングリストの活用の推進など）。
- (7) 使途の公平化を期すため積み上げ方式予算制度の内部PRと相互理解・協力の推進。
- (8) 前年度積み立てを開始した拡大準備積立金の使途具体化の検討。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所・内容	備考
情報収集	南国に関する情報収集	常時	比国・タイ・マレーシア等	海外支部その他の地
会報作成	会報発行(新年・春・夏・秋)	年4回	表紙・内容の更なる充実	会員相互の情報の周知
会報発送	会報・同封資料の発送	年4回	流れ作業による正確な発送	約10名/回
報告書等製作	会報同封資料の作成	年4回	会員追加名簿・必要資料	
資料等製作	問合せ・入会者への資料作成送付	随時	約400件/年	
案内書製作	入会案内書などの作成	随時		
内外通信	理事相互連絡	随時		
広報活動	インターネット・メーリングリストの管理、情報交換会のビデオ撮影・配布など	常時・ビデオは4回/年	雑誌・テレビ等のマスコミも積極的に活用を計る	情報の公開
情報交換活動・懇親会	情報交換会:関東・関西・東海 サロン会:関東・東海等	4回/年 1回/月	他支部にも開催を支援	情報収集・調査・研究発表・相互の親睦
支部活動支援	関東・関西・東海・甲信越・九州 マニラ・セブ・BK・チェンマイ・KL・ベナン	随時	支部活動への補助金一部増額 国内支部との交流促進	北海道地区、パース等に支部開設を計画
通常総会	総会開催	1回/年	東京	
理事会・役員会	理事会・役員会の開催	8回/年	東京	各種委員会随意開催

(2) 収益事業

事業名	事業内容	実施予定	実施場所	予定人員	見込み額
	なし				

2003.05.31

平成15年度特定非営利活動に係わる会計収支予算書

—平成15年4月1日から平成16年3月31日まで—

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位:円)

科 目	前年度 予算額 (A)	本年度 予 算 額 (B)	差 異 (B-A)	摘 要
I. 収入の部				
1) 入会金収入	500,000	600,000	100,000	入会金:5,000円, 想定新規入会者数:120名
2) 会費収入	1,730,000	2,000,000	270,000	会費:5,000円, 想定継続会員数:280名
3) 資料売収入	150,000	200,000	50,000	想定有料資料請求者数:200名
4) 寄付金収入	0	0	0	
5) 基本金等利息収入	100	100	0	
6) 雑 収 入	20,000	20,000	0	広告収入など
1. 当期収入合計	2,400,100	2,820,100	420,000	
2. 前期繰越収支差額	889,001	277,885	▲611,116	14年度決算値を適用
3. 収入合計	3,289,101	3,097,985	▲200,116	1. + 2.
II. 支出の部				
1) 事 業 費	2,080,000	2,457,000	377,000	
①会報等事業費	605,000	776,000	171,000	年4回発行,
②会報等送料費	250,000	352,000	102,000	年4回発行 ; 発送作業充実
③資料等製作事業費	140,000	290,000	150,000	問合せ・入会者向けの資料充実
④報告書等製作事業費	195,000	88,000	▲107,000	海外医療事情調査予算削減
⑤案内書製作事業費	240,000	100,000	▲140,000	「入会案内書」追加印刷のみ計上
⑥内外通信事業費	200,000	90,000	▲110,000	理事等通信費
⑦広報活動事業費	0	160,000	160,000	情報交換会ビデオ撮影支部配布など(新規科目)
⑧講師等謝礼費	100,000	82,000	▲ 18,000	
⑨支部関係事業費	350,000	519,000	169,000	海外支部補助金一部アップ、北海道支部設立、支部との交流充実
2) 管理費	375,000	400,000	25,000	
①事務用消耗品費	50,000	50,000	0	
②諸会・交通補助費	275,000	300,000	25,000	役員会出席支部長補助金額アップなど
③雑費	50,000	50,000	0	
3) 予備費	100,000	50,000	▲ 50,000	
4. 当期支出合計	2,555,000	2,907,000	352,000	1) + 2) + 3)
5. 当期収支差額	▲154,900	▲86,900	—	1. - 4.
6. 次期繰越収支差額	734,101	190,985	▲543,116	3. - 4.

平成14年度特定非営利活動に係わる会計収支計算書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	予 算 額(A)	実 績(B)	差 異(B-A)	摘 要
I、収入の部				
1、当期収入合計	2,400,100	2,667,417	267,317	
(1)入会金収入	500,000	550,000	50,000	・5,000円×110名
(2)会費収入	1,730,000	1,920,000	190,000	・5,000円×384名
(3)資料売収入	150,000	169,900	19,900	・1,000円×169名、900円×1名
(4)寄付金収入	0	0	0	
(5)基本金等利息収入	100	210	110	
(6)雑収入	20,000	27,307	7,307	・広告料、他
2、前期繰越	889,001	889,001	0	
3、収入合計	3,289,101	3,556,418	267,317	
II、支出の部				
4、当期支出合計	2,555,000	2,428,533	△126,467	
(1)事業費				
①会報等事業費	605,000	854,945	249,945	・年4回発行
②会報等送料費	250,000	263,309	13,309	・年4回発行
③資料等製作事業費	140,000	175,510	35,510	・問い合わせ、入会者用資料
④報告書等製作事業費	195,000	84,374	△110,626	・会員名簿・必携追加、その他資料
⑤案内書製作事業費	240,000	206,424	△33,576	・入会案内の改定版の発刊
⑥内外通信事業費	200,000	71,564	△128,436	
⑦講師等謝礼	100,000	60,000	△40,000	
⑧支部関係事業費	350,000	294,760	△55,240	
(2)管理費				
①事務消耗品費	50,000	45,731	△4,269	
②諸会・交通補助費	275,000	246,730	△28,270	
③雑費	50,000	104,838	54,838	
(3)予備費	100,000	20,348	△79,652	・会員意識調査関係費用に使用
5、当期収支差額	▲154,900	238,884	393,784	
基本金繰入額		150,000	-150,000	・基本金30万円に増額
事業拡張準備金		700,000	-700,000	
6、次期繰越	734,101	277,885	456,216	

平成14年度特定非営利活動に係わる会計貸借対照表
(平成15年3月31日現在)

特定非営利活動法人 南国暮らしの会

(単位：円)

科 目	金 額	
1. 資産の部		
(1) 流動資産		
現金預金	3,007,885	
流動資産合計		3,007,885
資産合計		3,007,885
2. 負債の部		
(1) 流動負債		
前受金	1,730,000	
未払金	0	
流動負債合計		1,730,000
3. 正味財産の部		
基本金		300,000
次期繰越金		277,885
事業拡張準備金		700,000
正味財産合計		1,277,885
負債及び正味財産合計		3,007,885

上記調査の結果、いずれも正確である事を認めます。

平成 15 年 4 月 19 日

特定非営利活動法人 南国暮らしの会 監査会

監事 冨永 泰久夫 

監事代理 梶野 幸三 

日本人に役立ったバンコク・チェンマイ等の病院巡り

関東支部情報交換会要旨1/4月19日

東京都在住 会員 No. 3 池田 徳三郎

1. はじめに

タイ国約1ヶ月の旅(2/14~3/14)をして、日本人のために日本語の解かる医師、日本語の通訳等のいる病院巡りができました。今回はこれらの病院を紹介します。

2. タイ(バンコク)の医療機関

A) タイの医学生

医学部卒業生(全国12学部)年間
約1,200人 日本(7~8,000人)
タイ登録医師数 約20,000人
日本 同上 (約20万人)

B) タイの医療機関

タイの医療機関は国立病院(総合病院)と私立病院(総合病院、メディカルセンター、個人診療所)に大別できます。また、病院の医師が原則として常勤するシステム(クローズ)と、決まった日時に医師が診察・手術することを病院と契約したシステム(オープン)に分類でき、両者を併用したシステム(セミクローズ)があります。

① 国立総合病院 タイ語の使用が原則で、多くのタイ人が利用し、大変混んでいます。治療費は安い(私立の約1/10位)が、日本語の通訳制度はありません。

② 私立総合病院 外国人が利用できる対応が制度的に整備され、多く利用している。しかし、治療費が国立に比して約10倍位高いため、タイの人の利用が少なく、待ち時間が極めて短いのが大きな特徴といえます。

タイ在住の日本人の多くは私立の総合病院で治療を受けています。

3. 日本人に最も役立った

タイ医師グループ(日卒医グループ)

バムルンラード病院(バンコク屈指の私立総合病院)の元副院長のタムス先生(東大医学部卒・アメリカ留学、現在引退)は、

①バンコク周辺にある日本企業の「従業員の健康診断」を初めて実施した大変な功労者です。

②バムルンラード病院に、日本語の通訳者を置き日本人対象の受付コーナーを設置・日本語の病院案内書・各種の病気説明書を作成するなど日本人の健康管理、診療に偉大な貢献しましたことはバンコクで著名です(会報Vol.13参照)。



講演をする池田理事長

③その外に「日卒医グループ」(1977年に日本の医学部卒業生の集まり)を結成され、永い間そのお世話をされた。

現在、モンコン先生がタムス先生の後を継ぎ「日卒医のグループ」のお世話をしておられる。モンコン先生は東大卒、アメリカ留学、プララム9総合病院を設立し、現在も院長として、また現役の外科医師として、お元気で診療しておられる。「日卒医のグループ」のドクターの多くが、後記バンコクの6つの代表的私立総合病院に勤務し、日本人企業の従業員とその家族の健康管理等に従事し、タイ在日本人の為に大いに貢献しておられる。

4. タイの医療技術・設備・サービス

1) 私立病院の医師とその技術

前記のタムス先生のお話によると

「タイの医療技術は特殊の専門分野を除き、ほぼ日本と同じレベル、医師は日本と同じく各専門分野(一般内科、循環器内科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、一般外科、整形外科、産婦人科、小児科、眼科等)を担当しており、さらに病状により専門の医師に依頼する。タイの医学生はアメリカ留学が最も多く、日本留学は極めて少ない。」

「私立の病院では、優秀な海外留学経験医師と契約し、国立病院の医師の給与より遥か高額の給与を支払って招聘している。従って医療技術について自信を持っている。しかし、診療費・入院費等は国立病院の約10倍位高い。タイ私立病院は企業と同様に独立採算で利益を上げなければならない。そのため、支払い能力のある人を対象にして診療している。原則として、支払能力がある限り治療は継続する」と笑いながら明言しておられた。

2) 私立病院の施設・設備

病院の施設

バンコクの6箇所の私立総合病院の建物は何れも一見して、豪華ホテルの外観を呈し、日本の最新の近代総合病院と遜色はない立派な建築物です。

多くの病院は「明るい、広い、清潔、親切」をモットーとした「豪華ホテル」(豪華なシャンデリアはないが)と言えるでしょう

病院の設備

広いロビー、トイレ、廊下は照明で明るく、綺麗に清掃され、草花が飾られ、白壁に色の変化を施し、来客のためにセルフサービスのコーヒー・紅茶・冷水が用意され、南国の緑と草花がいっぱいの美しい庭園が屋内にもあり、屋内散歩も楽しめます。

広い個室ベッドはTV、冷蔵庫、バス、トイレ、家具が整備され、付き添いベッドも用意され、2間続きの個室もあります。



サミティヴェート総合病院



CT スキャン



DSI 動脈造影

医療設備

CTスキャン、DSI動脈撮影、心臓カテーテル、腎臓ユニット(人工透析、腎臓移植、砕石)等の国際水準の設備は整備されており、専門外の著者に親切に懸命に説明する担当者の心配り、誠意、優しさが伝わる思いでした。

3) 私立病院の医療サービスと言葉

バンコク病院の竹谷氏は「タイの医療サービスの良いことは世界的に著名ですし、特に私立病院での医療サービスは万全を期しております。

しかし、言葉の障害はあります。この障害をいかに処理するかが、双方とも大切でしょう。」

「治療上必要なことは、日本語の通訳も、日本語を話す医師もおりますから、問題はありません。謙虚によく相談すると親切に対応する。」と説明する。

しかし、入院となると、日本語・英語の解かるナースが少ないため、常に通訳を呼ぶこともが出来ないことを予測しますと、日本語の解かるメイド・通訳を雇うことも人により時により必要となるかもしれません。

5 タイの治療費 (保険の上手な利用法)

私立病院の治療費・入院費・保証金等は、タイの通貨としては、またタイの人にとっては高額であります。

医師の初診料は専門の担当医により異なり案内資料等に明記されておきませんが、しかし、入院費(個室等)、食事代(タイ、日本、西洋料理)通訳料(取るところもある)等は明記しております。

不明なことは予め良く聞いて納得して治療を受ければ、退院時にトラブルはないでしょう。

①海外旅行保険またはこれに準ずる保険に加入しておれば、その加入証を提示すれば、日本人対象の私立病院では病院側で総て保険契約の範囲で処理してくれます。そのため、高額な保証金も治療費・入院費も原則として必要ありません。手続はその都度のサインくらいで、大変簡単です。

海外旅行保険は3日、7日、30日、2ヶ月、・・・11ヵ月等の滞在契約期間の範囲、支払い金額の限度がありますし、滞在期間の長短、保障金額の高低で保険料の負担は大きく変わります。

一般的に持病は保険の対象外です。またクレジット等の付帯保険は「疾病」が対象になるか否か予め確認することは必要でしょう。

②国民健康保険を利用する場合、総ての治療費用等の全額を「一時立替え払い」しなければなりません。そして、その病院に英文による「診療明細」「支払い明細」「領収証」を作成依頼し、そして帰国後に、区市町村の担当窓口と同支払い証明を提出し、立替代金の支払いを請求する一連の手続が必要です(出国前に区市町村と協議し、必要書類を用意する)。国民健康保険の適用範囲内の支払いが数ヶ月後にあります。

バンコク総合病院の係りは「国民健康保険の

適用の旨連絡しておけば、日本人対象の私立病院では治療費の支払い時まで、支払証明の明細等必要書類を作成します。」との説明でした。

(市町村により手続が若干異なります。注；国民保険適用者は出国前に区市町村に事前に相談し、必要様式書類の持参を再度お勧めします。)

③1年以上滞在の場合は、選択肢が多く(所得差と国民健康保険の掛け金、各海外保険の掛け金、種類等)個別に研究することが必要でしょう。

6. バンコクの6つの病院 (日本人に役たつ)

バンコクの代表的6つの総合病院には全医師の学歴・業績・専門分野等の主要事項を日本語で記載したファイル(ブック)が常備され、何時でも誰でも閲覧できます。

また、日本語の「受付」の表示もあり、受付に行くと日本語を話すスタッフが親切に対応してくれます。

6つの私立病院にはそれぞれ特徴(病院・医師の専門分野・施設・設備・料金等)がありますので、事前に現地での次ぎの調査をお勧めします。

[6病院のそれぞれ特徴、医師(学歴・専門・業績・常勤・非常勤、週間の勤務曜日、時間を含む)のファイル、施設、設備、救急車連絡先、日本人専用Tel・E-メール、担当者名、食事—日本料理・西洋料理・タイ料理の価格—、住所、病院の所在地図等の詳細は省略。]

.....

バンコクのモンコン先生のお話

小柄な先生は大変な情熱で眼鏡越しに熱ぼく概ね次のことを話された。

「タイの医学部卒業者は全国で約1200名位、そのうち日本留学希望学生は現在いません。アメリカに次いで、中国に目を向けています。」その理由を伺いますと、

①日本では、タイ医学生の受け入れが狭い(受験の難しさ・言葉の障害等)。

②1960年代は日本ではアメリカに比較して安く留学できた。しかし、現在は留学生1人当りの資金が少なく、物価高で、勉学・生活がし難い。

③タイでは医学生時代に臨床の勉強が出来、臨床の経験を積むことが出来るが、日本では、医師の免許がないと臨床が出来ないため、特に外

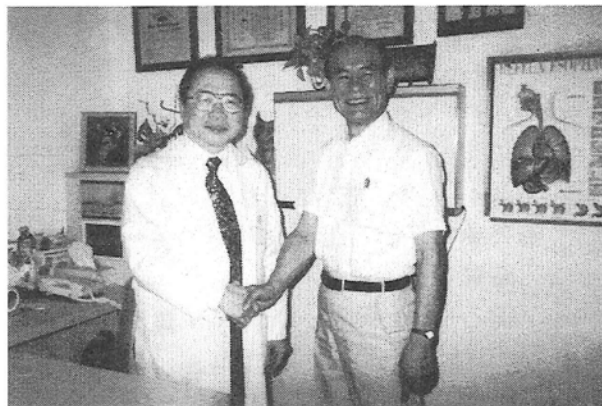
科医は魅力が少ない。

④タイの学制は6・3・3・4年制で、小学(4年)・中学・高校で英語を修学しているのが英語に馴れている。そして、現在の若者(高校生)は中国に目を向け、日本語より中国語を学ぶ生徒が多い。

⑤日本留学を多くするためには中学・高校時代に日本語を学ぶことが大切であり、中学生・高校生のための日本語教育の普及とその具体的方法が問われ、1人でも多く日本語を履修できる社会的ムードづくり、環境づくり、日本語履修のメリットづくりが望まれる。

「留学生協議会の役員をしておりますが、タイ日交流のためには、医学生だけではなく日本語の学習者が中学・高校時代に多くなると良いのですが、」と先生は残念そう。

東大の仲間の会合に出席するのが、楽しみと洩らされる先生。凄く親日家でそして誰にも負けない日本思いのモンコン先生に心を打たれ、感無量で病院をあとにしました。



モンコン博士の診察室にて

.....

バンコクの私立病院

① ルンラード病院 ベット数 554

日卒医師 9人、日卒歯科医 1人

日本語スタッフ 11人、

キャッシュレス(海外保険)・健康保険適用
入院費(Bt)

Royal 9,000、VIP 6,500、

Deluxe 3,500、Single 2,400

2 Beds 1,100

日本語通訳 2667-1501

日本人サービス 2667-1318

② **バンコク病院** ベット数 500
 日卒医師 10人、日卒歯科医 4人
 日本語スタッフ 11人
 キャッシュレス（海外保険）・健康保険適用
 入院費（B t）
 VIP 6,000、Deluxe 5,000
 Single 3,000、3Bets 1,000
 日本語コール 2310-3257
 日本語24時間 9814-3000

③ **プララーム9病院** ベット数 280
 日卒医師 3人、日卒歯科医 3人、
 看護婦 3人、通訳 2人
 院長 モンコン博士、東大卒、米国留学
 日卒医会会長
 海外旅行保険・健康保険適用
 入院費（B t）
 Suite 5,000、Deluxe 4,000
 VIP 3,500、Single 2,000
 4 Person 1,000
 日本語サービス 2248-8020
 木下 真理子

④ **サミテイヴェート・
 スクンビット病院** ベット数 250
 日卒医師 3人、歯科医 2人
 日本語スタッフ 10人
 海外旅行保険・健康保険適用
 入院費（B t）
 VIP 5,400、Private 2,800
 Deluxe 4,700
 日本人サービス 2381-3491

⑤ **サミテイヴェート・
 シーナカリン総合病院** ベット数 400
 ④のスクンビット 病院と提携
 海外旅行保険・健康保険適用
 入院費（B t）VIP 4,200
 Deluxe 2,500 Stanndard 1,200
 日本人サービス 2381-3491

⑥ **B. N. H. 病院総合** ベット数 225
 海外旅行保険・健康保険適用
 日本語スタッフ 1人
 入院費（B t）Vip 6,000,
 ICU 4,600 Sinngle 3,200
 日本人サービス 2632-0550

(注) 1. 入院費の単位パーツ（円換算約3倍）、
 Xe. 3,000B t* 3=9,000円
 2. 入院費、日本語スタッフ数は変更され、
 凡その目安です。
 3. 初診料は医師により異なる。
 4. 損害保険会社の損害・疾病保険契約、
 日本の国民健康加入者はほとんど適用
 される。

(2) チェンマイの私立病院

北タイ第1の都市チェンマイは城壁、城門をもつ古い歴史の街であります。外国人の長期滞在者が多く、国立病院のほか、私立の病院があります。そのうち、日本語通訳がおり、海外旅行保険、国民健康保険が適用できる4つの病院を紹介します。

チェンマイはバンコクの病院と異なり、各病院とも日本語通訳は1人で、勤務時間も9時～17時前後です。日卒医のドクターもいないようです。

① ラチャバーチェンマイ総合病院 ベット数 100

日本語の健康診断その他日本語パンフ多数
 [婦人の病気、糖尿病等に関するパンフ]
 日本人担当 06-919-3909 (掛川)

② チャンプアック総合病院 ベット数 100

日本語の健康診断等のパンフ多数
 日本人直通 09-950-2291 大内朋子

③ ランナー総合病院

日本人内線 05-357-234~5
 内線262 山路志乃

④ チェンマイ ラム病院

日本人内線 05-22-4861
 内線1020 杉本啓

(3) パタヤの私立病院

ベトナム戦争時の米兵の休養地として発展した都市型リゾートとして著名で、米国その他の国の外国人が多い。4つの私立の総合病院は外国人を対象にしているが、日本人のための受付・通訳をおく等日本人のための診療サービスの配慮は特にないのが、現在の様子です。

バンコクとパタヤ間は時間的、距離的の近いので、多くの日本人はバンコクの病院を利用するためでしょう。(完)

マレーシアでのリタイア生活とビザ取得法

関東支部情報交換会要旨 2 / 4月19日 マレーシア クアラルンプール在住 会員 No.302 末 英樹



講演をする末さん

平成14年度第4回情報交換会（平成15年4月19日開催）での内容に、加筆しご報告いたします。

まず簡単な自己紹介です。私は平成8年10月より2年契約でマレーシアにある某日系電気部品製造メーカーに勤務、契約終了後の同12年8月よりシルバーヘアプログラム（現マレーシア・マイ・セカンドホーム・プログラム、略称 MMSHP）のビザを取得、クアラルンプール（KL）にて家内と生活しております。

先ず KL に住んでいる理由ですが、言わば成行きですが、居続けるのにそれなりの要因があります。一つは普遍的一般的な事柄、そしてもう一つは我家のおかれた独自の環境です。

その老、KL 生活に至った一般的な条件です。

- ① 第1に治安の良い事、これは必須だと思う。だからと言って、自分の身は自分で守らなければならないとの認識は必要なことです。
- ② 住環境、今のすまいを捜すにあたり目安としたのは次の点です。水質水量(勿論水道水)がよい事、日当たり(悪い方がよい)、予算、交通の便(女房が出かけるとき毎度アッシー君ではかなわない)、家具、内装の趣味等々に配慮しました。現在の住いに関し交通の便は大病院の前ですからバスは頻繁に通る、しかも学生や看護婦さん達が利用するし、タクシ

ーも拾い易いのです。

参考までに今のコンドミニアムは約100平米、2ベッドルーム、エアコン3台、家具つき、TV、VTR、食器つき（趣味が合いませんが）、1台分の駐車スペース、ジム、プール、ミニマーケット、洗濯屋が有ります。家賃は月 RM1,500 です。 RM1 = ¥32位。

- ③ マレーシアには退職者用のビザ(MMSHP) が用意されておりそのハードルをクリアーできた。後段で説明します。
- ④ 自分で車を自由に運転できる国、右側通行で交通標識が殆ど理解できる。国内旅行に車で行く事も可能です。
- ⑤ 住居費も含めて物価が安い。
- ⑥ 日本食の食材入手が容易。
- ⑦ 医療レベルが高い。総合病院、個人病院、歯科医院いずれも日本語での対応可能です。
- ⑧ 言葉 下手な英語でも通じる。

その式、当家の事情

- ① 家族構成、我々夫婦と娘が一人。両親4名は既に鬼籍に入っており、娘は既婚。我等夫婦にとって言わば人生のうちで一番平和な時代です。次に発生する問題はは多分どちらかが寝たきりになる(?)。それまでの期間が本当の自由時間だと思っています。
- ③ 友人が大勢、2年余のマレーシアの日系会社勤めの間に大勢の友人に出会ったのも要因の一つです。家内のこちらの友人も私の友人の奥様方が核になって広がっております。
- ④ 勤務先での車の支給がなく、やむを得ず大枚をはたいて買った中古車ならぬ大古車を持っていたのも一因です。車がなければ、楽しみ半減だと思います。

では、今何をして暮らしているのか。これが海外生活する上での最大の問題です。

- ① ここを拠点に海外旅行、KLIA はアジアのハブ空港の一つです。

タイ、バリ島、スリランカ、カンボディア等はクリアー、残るのは、オーストラリア、ベトナム旅行、これらが済めば何時日本に帰っても良いかなあと考えています。

- ② 日本人会 (JCKL) クラブ活動に参加。一番力が入っているのは KL グリークラブ、男声合唱です。週一度 2 時間の練習、年 2 回の泊まりがけの合宿、今年 2 月はカンボディア演奏旅行がありました。

南の会以外の方でマレーシアに興味の有る方 JCKL 経由で紹介されますのでそのお付き合いも有ります。詳しくは下記をどうぞ

JCKL <http://www.jckl.org.my/>

Glee <http://www.cyberlite.com/gleeclub/>

- ③ 南の会会員の方、または会員の紹介の方で KL へいらっしゃる方々のご案内です。準備段階でのメールのやり取りから、来馬されてご一緒に帰られるまでの楽しい時間を過ごさせて頂いています。打ち合わせの為のメールでの文章づくりは格好のボケ防止、できるだけ多くの方に KL をご紹介したいと思ひますし、お付き合いさせてもらうのは私の生活の一部ですからいつでもご連絡ください。
- ④ パソコン、友人と MS ACCESS の勉強、メール・インターネットでボケ防止です。
- ⑤ 体育系のメインはゴルフです。何しろマレーシアはゴルフ天国、在マレーシア日本人にとっては貧乏人の遊びです。ホームコースでワンラウンド RM 2 2.5、ほかのコースでプレイしても一人 RM 4 0 から高いところで RM 8 0 位でしょうか。勿論平日プレーです。こちらのゴルフは 1 8 ホールスルー、朝 8 時ごろから始めて昼過ぎには終わってしまいます。たまには、6 : 30 頃家を出て日の出とともにトロリー引いて 9 ホール歩いて廻っています。これならタダ。

この地での生活の最後の課題は、何時まで滞在するのか。そして帰国してから遊んでくれる友人ができるのかです。会員の皆さん帰国後は是非ともよろしくお願ひします。

マレーシアのリタイアメントビザ

「マレーシア・マイ・セカンド・ホーム・プログラム (MMSHP)」は、特定の要件を満たす方であればどなたでもマルチプル・エントリー・パス (数次査証) で何度でもマレーシアに入国して、希望する期間自由に滞在する事ができるプログラムです。永住権とは関係ありません。5 年間有効のパス (1 年毎の更新が必要※) が発給され、その後の更新も可能です。年齢制限はありません。

*今年から 1 年毎が 5 年になったようです。

申請書類は次の通りです。(英文で作成する)

1. 本プログラム加入申請書 (カバーレターもつける)
2. IMM.12 (訪問ビザ申請書式) 2 部
3. 申請者 (及び配偶者) 旅券サイズ写真 2 枚
4. 申請者 (及び配偶者) の旅券の写し
5. 婚姻証明書 (配偶者を伴う申請の場合)
6. 原本証明された申請者の口座の残高証明の写し and/or 収入証明
7. 原本証明された申請者の医療保険証の写しと健康診断書
8. その他 (自分の身分や資産を証するものがあれば)
9. スポンサー書類 (パーソナルボンド)

上記 6 番の and/or の解釈、5 0 歳以上は or 5 0 歳以下は、and との事です。9 番のスポンサー書類が一番の問題点です。マレーシア国籍、永住権保持者の個人か、イミグレ公認のエージェントに依頼するしかありません。ペナンでしたら会員の石原さんにご相談ください。

マレーシア入国管理局 (イミグレ) の対応は個々の係官によって一律ではありません。在日大使館、政府観光局での説明とイミグレの対応にも相違する部分もあるようですが、決定権は KL のイミグレの係官です。お間違えの無い様に。

紙面の都合上、簡略な説明ですが、詳しい事は、ML 等で問い合わせてください。以上

海外ロングステイ・生きる喜びを与えたい

関東支部情報交換会要旨 3 / 4 月 19 日

チェンマイ在住 会員 No. 350 宮 博



講演をする宮さん

チェンマイに来て約1年半になりました。最初、今は亡き会員だった竹中さんに勧められて、そしてこの土地と人が好きになり、その後は自分の意思でタイ語を勉強したくなり、そのことが縁で日本語教師のボランティアをすることができました。つくづく人生とは予測がつかないものだと思うつも、これが自分の運命なのだろうと勝手に思うようにしているところです。

南の会の会員になったこと、出会った方に勧められたこと、そして小さいながらも自分の夢を実現するため賛成してくれた家族に(どれが欠けても今のチェンマイにいる自分は無いのだと思うと)感謝している毎日です。こんなお話がまた他の会員の方の良い結果につながってくればいいと思ってお話する次第です。

1. 心の面

海外で生活することが最初の夢でした。今はその小さな夢は達成されました。そしてその国で何か教えられるものはないかと日本語教師の資格を取得しておきました。幸せにもそのことでチェンマイでも私を必要としてくれる場を持つことができ、毎日日本語を勉強しに来る若者たちの熱心な輝く目に接することでサラリーマン時代とはまた違った充実感を持つことができました。タイの日本語熱はまだまだ高く、日本

文化を積極的に受け入れる背景もあるためと思います。

今はお世話になっているチェンマイの人々のため、チェンマイと日本を結ぶかけ橋になるようなことや文化交流などを日夜考えているところです。人間、夢はいつまでも持ち続けたいものですね。

2. 経済や生活の面

チェンマイは物価が安い、特に食費は安いですね。私のような50歳での早期退職者にはとても助かります。資産が60歳定年退職された方々とは比較にならないからです。その分少しでも若いので何をするにしても長期の計画で取り組めることはメリットだと思います。昔から体力のある若い時は資産がなく、資産ができる頃には体力が落ち、体が思うようにならなくなってくるという一般論からして、いつ頃に思い切ってリタイアするかが個人の価値観によることと思うのです。

話は少しそれましたが、では我々人間は物価が安いというだけでその国で生活しようと思うのでしょうか？ 物価の安い国はタイの周辺に沢山あるのですが、日本人からして文化レベル、治安の良し悪し、気候、食物、宗教など色々な条件があると思います。チェンマイは多くの点で日本人として一定以上の生活ができる都市だと思います。

3. 体や健康の面

ここで特筆すべき事実を申し上げます。昨年5月一時帰国したとき定期診断を受けましたが、要改善項目はいっこうに改善していませんでした。ところが今年の4月に健康診断を受けたところ、要改善項目7項目の内、5項目が改善されていたのです。先生もびっくり、家内に言わせると「お父さん、チェンマイが合っているのよ!」。そうだ「チェンマイが合っているのよ」なんだ。土地との相性がいいのでしょうか。

もう一つには長年悩まされていた水虫も完治しました。また 20 年も悩まされてきた花粉症も無縁となりました。持病を治すためにも相性のいい土地でのロングステイをお考えください。

4. 最後に

いいことばかり言っていると思われる方も多いと思いますが、その土地や水が合うと、こんなことにもなるということをお伝えしたかったのです。

会員の皆様が海外に行かれる時、その土地に住んでおられる会員がいい人ならいいと当然思われることと思います。ではそこで生活している会員はといいますと、いい人や素敵なお夫婦に来ていただきたいと、皆様以上に思っているのです。

生活している会員の方々の平凡な日常を大切にしてあげてください。そして「また来て欲しい人」になっていただきたいと思います。

たった一度の人生、色々な選択があると思います。その選択の後、より素晴らしい人生を会員の皆様が得られることを願っております。



総会、会場風景



和気藹々の懇親会

お断わり

関東では4月19日と5月31日の総会後の2回に渡って情報交換会が大盛況にて行われ、講師の皆様が貴重な講演をして下さいました。有難うございました。

尚、4月19日に「津軽三味線・マレーシア公演報告」の講演をして頂いたNo.263加藤進さんは会報春季号に…

また5月31日にカンボジア・タイ・ラオス等の講演をして頂いたNo.80阿部功さん、チェンマイについて講演をして頂いたNo.96宮澤英光さんは今回の夏季号に…

それぞれ原稿をご掲載下さっておりますので、誠に勝手ながら情報交換会要旨の掲載は割愛させて頂きました。

何卒ご了承下さいます様お願い申し上げます。

ロングステイの為の上手な海外傷害保険利用案内

関東支部情報交換会要旨4 / 4月19日

AIU 保険会社 高橋 慎二



講演をする高橋さん

近年の海外旅行者の増加に伴ない、怪我・病気・盗難などのトラブルも増え続けています。一昔前までは、保険という『万が一のお守り』という考えがありましたが、今では海外旅行の必需品として認識されています。

AIUの保険金支払数も年間約9万件(2002年度)に及んでおり、数多くの旅行者のお役に立っています。

保険金支払いの内訳を見てみると、疾病治療費用の支払いが全体の60%と圧倒的に多く、続いて携行品の支払いが16%となっています。このように、海外旅行保険は死亡などの万が一のためのものだけではなく、旅行者自身の安全のために必要なものとなっているということがご理解いただけたらと思います。

海外における医療費が高いことはご存知のとおりです。入院ともなれば1日10万円以上かかることもあります。又、注意しなければならないのは、ほとんどの国の病院では、外国人旅行者が入院や治療を希望しても、その旅行者に支払い能力を証明するものがなければ病院で治療を断られることがあることです。

保険加入の証明や入院保証金などがなければ、応急手当程度しかしてもらえません。

皆様のように海外に長期滞在する場合、不慣れた土地での生活で怪我や病気等にかかる可能性が高い為、必ず海外旅行傷害保険に加入する

ことをお勧めします。

弊社の海外旅行傷害保険の特徴としましては、治療費の海外現地払いが充実しており、AIU提携病院を利用することで治療費用の心配をせずに安心して治療をお受けいただける『キャッシュメディカルサービス』がとても充実しています。また、日本語スタッフが24時間・年中無休で事故のご相談受け付けや病院の紹介、緊急医療・入院の手配を行います。病院への予約や、簡単な病状の説明も代行しますので語学に不安がある方でも安心です。

クレジットカードに付帯されている海外旅行傷害保険は海外に長期滞在される方には不適切です。理由はいくつかありますが大きな理由としては以下の点が挙げられます。

- ①ほとんどのクレジットカード会社の保険期間が90日間もしくは3ヶ月間で、それ以降の保証がない。(※海外旅行傷害保険の中途加入は出来ないため90日間もしくは3ヶ月以降は無保険の状態になる)
- ②傷害・疾病の治療費が低い。もしくは付いていない。
- ③救援者費用・携行品・賠償責任の金額も充分でない。もしくは付いていない。

短期のご旅行の方も含めて、クレジットカード付帯の海外旅行保険を利用しようとおもわれている方は、出発前に必ずご自身のクレジットカードの付保内容および緊急時の連絡先等を確認した方が良いでしょう。

以上のことを踏まえて、渡航目的に応じて上手に海外旅行保険を活用することで、より充実した海外生活を送ることができるのではないのでしょうか。

とどけ！バリの空へ、日本の心

関東支部情報交換会要旨 5/5月 31日

東京都在住 会員 No. 593 小林繁之

Tidak bisa masuk ke dalam! (もう中には入れないよ!)。会場入口で係員が、押し寄せる人の波に向かって叫んでいる。

バリ州立劇場の客席、通路等、全ての空間を埋め尽した 1500 人以上の観客が、一つの演目が終る度に立上がり、うねりの様な拍手と歓声が沸き起る。

「とどけ！バリの空へ、日本の心」と題した日本伝統芸能バリ島公演で、演者の熱意と日本の伝統文化に強い関心を寄せるバリ人の感性によって、舞台と客席が一つとなり、両民族の心が一体となった瞬間である。

フィナーレでは感動の態で舞台の掛け昇って来た観客にモミクチャにされながら、私は多くのバリ人達が異口同音に語っていた「バリ人は日本の文化に強い憧憬の念を抱いている」と言う言葉を思い浮かべていた。

バリ島の表玄関、ン・グラ・ライ空港のゲートを出てすぐの直線道の中程に、バリ独特の市松模様の布を捲いた大木の存在とその意味を知る日本人は皆無に近い。

大平洋戦争当時バリ島には、人々の信頼と尊敬を一身に集めた多くの日本人がいた。

侵略した日本軍とバリ人の間に立ち、人々とバリ社会を守るため献身的に尽し、日本敗戦後、インドネシア独立の人柱になると言残し自決した民間日本人・三浦襄。日本軍が侵攻の理由とした「インドネシアの解放」と言う約束を一途に守り、ン・グラ・ライ将軍率いる独立軍に参加し、マルガの激戦で壮絶に散った 11 名の日本人将兵。そして彼等と同様の気持ちで戦いに身を投じ、敵の銃弾に倒れ空港側の大木の根に包まれて眠る 4 人の無名日本人兵士達。

彼等の一命を賭した行動は、当時のバリ人の記憶に強く残り、50 年余を経た今も墓前に香華の絶える事がない。

これらの日本人を知るバリ人達は「自分達は生れた土地の文化や伝統の中で生活しているが、三浦や他の日本兵達を育んだ日本の伝統・文化について知りたいと強く願っている。昨今の日



講演をする小林さん

本人の様子は彼等とは余に懸離れており、日本人に対する評価は下がる一方だ」と口を揃える。

確かに、他人の敷地内を土足で踏みじり、自らの責に帰する失敗を相手の非である如く得意げに吹聴するバックパッカーや、破廉恥な行状を繰り返す若い日本人女性達が、現地社会の軋蹙的になっていることもあり「日本の伝統文化を通じて本来の日本人の姿を紹介して欲しい」と言う彼らの言葉は、私を文化交流活動に掻立てるに十分な重さを持っていた。

紆余曲折を経て実施した過去 2 回の公演では、大きな喜びと感動を得ると同時に、1 回の公演が 50 人程度の編成になるために、組織運営や経済的負担、果ては台本執筆から舞台制作迄、全てを私一人の肩に負いきれない面があること。又、世界的な景気低迷の煽りを受けて、受入先ホテルが閉鎖に迫られる等、思わぬ事態が数々と発生し、現在はあくまでも継続を目指して体制再構築の途上にある。

バリ島には、豊かな自然や人々の生活の中に、日本人が経済的発展のみを追い求めた時代に、何処かへ置き忘れてしまった、人として掛替えないモノが沢山残っている。

そのバリの文化に興味のある人や、日本の文化を伝えたいと願う人と、バリの人々との交流の拠点となるべき「バリ島体験ハウス」が、再建の一步としてまもなく完成する。

日本人本来の心をバリに届けるために、そこにバリ人の笑顔がある限り、私の文化交流活動が止まることはない。

お気に入りレストランとメニュー タイ編

バンコクの

便利でお気軽レストラン

バンコク在住 会員 No.189

五十嵐輝夫・泰子

はじめに

表題のテーマを頂いて、困惑と少しの戸惑いを感じながらパソコンに向かいました。バンコクロングステイ一年半で、バンコクのレストランについてどれだけのことが分かっているのか疑問だからです。会員の皆さんは多少穴場のレストランを希望されるかもしれませんが、これについてはあまり期待をしないで下さい。

私達は生活者として普段利用している店を面白くない事を承知の上で記事にします。

お気に入りと言うよりも足の便がいいことと経済性を優先したレストラン選びだからです。住んでいるエリアを中心に利用頻度の高い順に紹介してまいります。

① 花屋トンロー

日本料理 場所 ソイトンローの奥センセーブ運河橋の袂。

この店は、私達の住むアパートから歩いて5分のところにあります。

バンコクで50年の歴史をもつ名門「花屋本店」から10年前、暖簾分けして出来たレストランです。タイ人のシェフですが、同本店で10年間修行してきたというだけあって料理の味付けは申し分ありません。ランチ・メニューの数は30種、プライス設定は50パーツと70パーツのみです。お奨めは、サバ塩セット、野菜炒めセット、とんかつセット、カツ丼セットなど、50パーツ、にぎりセット、刺身セットなどは70パーツ、ライス、味噌汁、御新香、果物(スイカ)付です。

道路から店の入り口が見えないところにあるため固定客がほとんどで、近隣に住むタイ人のマダムやサラリーマン、OL達でランチタイムは満員になります。

また、この値段で食べられる日本料理店は、

私達、ほかに知りません。

現在、10周年記念でランチメニューを除き3割引で利用できます。



ビルの入り口にある花屋トンロー

② エンポリウムデパートの「クーポン食堂」
タイ料理 場所 BTS(高架鉄道)プロンポン駅前手軽に、安くて美味しいタイ料理を食べるにはここが一番です。

最初に、食堂入り口でクーポン券(チケット)を購入します。そのチケットで夫々の料理のブースから5パーツ刻みの料理をセルフサービスで引き換えます。単品料理30~50パーツです。その他飲み物、デザート類、果物など全て揃っています。私達の昼食代は、二人でデザートも含め120パーツ位です。パーミー・ナム(タイ風ラーメン)やカオ・マン・ガイ(鶏炊込みご飯)など一品35パーツで食べられます。クーポン券は当日のみ有効ですので、多めに買って、帰りに余ったチケットは現金に替えます。

この種のレストランは、バンコク都内のロータス、カルフル、ビッグCなどの大型ショッピングセンターの中にもあり、買い物に出掛けたときにはここでもよく利用します。そして、いずれの店も昼食時には大変な混雑です。

③ 珉珉(ミンミン)

中華料理 場所 スクムビット ソイ 33/1
フジスーパー1号店近く

バンコクでは世界の料理はもちろん、日本食

も不自由なく安くて美味しく食べられるのですが、時には日本の味のラーメンや餃子・チャーハンなどが食べたくなります。そんなときは、ここ「珉珉」によく出かけます。

タンタン麺、五目ラーメン、チャーシュー麺ほか120～130パーツ、餃子(6個)60パーツ、チャーハン90パーツなど、年中無休の店です。麺類はボリュームがあり、私達には多すぎるのですが、40%引きのミニサイズを用意してくれているのは嬉しいですね。

店構えはなんとも貧弱ですが、味で勝負というところでしょうか。

この店の客は、大半が近隣に住む日本人駐在員やその家族です。

④ チョンプルーカー

タイ料理 場所 トンローソイ25の奥

この店もアパートから歩いて5分のところにあるレストランです。

バンコクでは珍しい、8階建てマンションの屋上にあります。ここは夜がいいですね。涼風に当たりながら180度ひらけた夜景を見ながらの食事は素晴らしいものがあります。雨に備え屋内部分が併設され、カラオケ設備があり宴会もOK。また、若い人達のデートスポットにもなっています。

また、味はしっかり料理の値段もリーズナブルで大変気に入った店の一つです。予算は、一品単価40～60パーツですから飲み物を入れても一人160パーツ位で十分です。さらにアルコール類は持ちこみ自由というのもサロン会など開くには打ってつけです。妻が常連という事もあり料理は10%引きで利用できます。このコイ・シー・ミー(かたやきソバのあんかけ)とトート・マン・クン(えびすり身のさつま揚げ)は美味しいです。

この店の客は、ほとんどタイ人で、日本人はまず見かけません。

⑤ M K

タイスキ 場所 タイ国内のロータス、カルフ

ール、ビッグCなどの大型ショッピングセンター内で営業しています。他同業店に老舗のコカやテキサス、カントンなどがありますが、「M K」はタイ全土で100店を超える店舗展開をしています。旅行案内書などでは、タイ風のしゃぶしゃぶと書いてありますがどう見てもしゃぶしゃぶやスキヤキというより、日本的には寄せ鍋?ではないかと思うのですが、バンコクの情報誌「ダコ」によるとこの料理に一番近いのは中国の鍋料理「火鍋」(フオグオ)で、名前の由来はコカの先代社長が「スキヤキ・ソング」から拝借したそうです。坂本 九さんも天国でタイスキを食べているかも知れません。

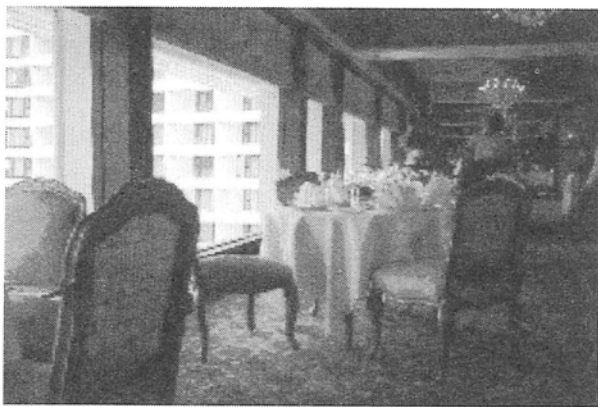
タイの中産家族を魅了したと言われるタイスキは、どの店でも時間帯は大変な賑わいを見せています。特製の甘辛タレで食し、とにかく美味しいです。また、具材の多さにもビックリします。魚介類のミートボールから、野菜は白菜、空芯菜、椎茸、エノキ、きくらげ、豆腐、豚肉、鶏肉、牛肉、イカ、エビ、牡蠣、ワンタン、春雨などなど、これらを小皿に盛ってある具を好きなだけ注文し、電気鍋で煮たてます。煮あがったタイスキは小鉢にとりわけ、甘辛タレの量は好みでかけます。仕上げには、残ったスープにご飯を入れ、卵を溶いて雑炊をつくります。この雑炊は別腹に入るようです。タイスキは4～6人位の大勢で賑やかに食べるといいと思います。予算 一人200パーツ位でお腹いっぱいになります。

大好きなタイスキ、我が家でもよく食べます。具材を買ってきて電気鍋にかけます。タイの電圧は220Vですからすぐ煮立ってきて出来あがりも早いです。そして、タイスキの仕上げは家でももちろん雑炊です。

以上、ベスト⑤をあげましたがこれだけでは面白くありませんのでもう少し続けます。タイ東北部のイサーン地方のローカル色豊かな郷土料理のレストランがバンコクには数多くあります。住まいの近くでは、スクムビットソイ36にある「バーン・ラオ」と「ピエンチャンキッ

チン」です。素朴な田舎家風の店でイサーン音楽の生演奏を聴きながら、美味しいガイヤーン(鶏の炭火焼)やカオニャオ(もち米のご飯)を食べていると日本では味わえない心地良い気分になれます。予算 飲み物込み一人200パーツ位です。

次ぎは、スクムビットをはなれタニヤにまいりましょう。
BTSのサラデー駅で下車してタニヤプラザ前のチャーニイサラビル2階にある日本料理「味里」です。オーナーが京都出身の方で2年前にオープンしました。天ぷらが得意の店ですが、激戦区タニヤでランチタイムは行列が出来るほど繁盛しています。ここのトンカツは美味しいです。ころもはサクサク、肉は柔らかくジューシー、バンコクでこれだけのものはなかなかお目にかかる事は出来ません。SPFという厳選規格の豚肉を使っているそうです。昼定食で200パーツ、偶にトンカツが食べたくなるとここにきます。



改装前のノルマンディーの店内

トンカツの次ぎは、フランス料理です。バンコクと評され、世界のVIPたちが立ち寄るという格式高いオリエンタルホテル5階にある「ノルマンディー」料理もさることながら店内は洗練された雰囲気漂います。タイの母なる川、メナムを行交う船を見ながらのランチを西欧人のように2時間位ゆったりと時間をかけ食事をするのも時には一興かと出か

けます。ランチは一人、飲み物を入れて1000パーツ位から、ディナーはコースメニューで2200パーツ位からです。ディナーには正装が必要です。残念ながら改装のため、10月中旬までクローズしています。

最後に、スクムビット、トンローソイ13にある日本村、日本食レストランが軒を連ねるエリアに「焼肉 いろは」があります。加齢とともに肉類から魚料理に嗜好が移ってきましたが、時に焼肉を食べたくなる事があり、この店を利用します。上コース160パーツ、上カルビ160パーツ、タン塩130パーツとリーズナブルな値段です。時々、ウルサ夫妻と出かけますが焼酎をボトルで取り、4人で食事して2000パーツ位です。

番外で、屋台を2軒、1軒はヘップリ通りバンコクタワーの前で午後3時頃から出店する串焼きの屋台、ここのムーピン(豚肉の串焼き)、鶏のレバーやハツ(焼き鳥)一本5パーツ、カオニャオ(もち米のご飯)一袋5パーツです。カオニャオを噛み締めながらムーピンを口に入れますが本当に相性のいい美味しい食べ物です。エンポリウムでも各7パーツで売っていますが、ここ屋台のムーピンの味にはかないません。屋台の主(バンコクタワーのお兄さんと呼んでいる)とはすっかり馴染みになり、行くたびにムーピンを一本おまけしてくれます。

もう1軒は、週一回ゴルフに行く途中にあるジョーク(砕いた米のおかゆ)を売る屋台です。若いタイ人夫婦が出している店ですが、いつも笑顔で迎えてくれます。近くのオフィスに勤める人達もここで朝食を摂り出勤して行きます。鶏肉と半熟たまご入り、唐辛子やナンプラーなどを加えて食べます。どんぶり一杯15パーツです。若夫婦の笑顔と、味も、量も、値段も大満足です。ついに常連客の仲間入り? いつの間にジョークの盛りが多くなっていました。

チェンマイ、私の好きな レストランとメニュー

チェンマイ在住 会員 No. 26 鈴木宣夫

ここ1年位の間に日本食レストランが相次いで出店ラッシュが続いている。

日本人のロングステイヤーも増えている事もあるが、タイ人の生活の向上に伴う（物珍しさも手伝って）動向と思われます。現在CM市内で一番人気のスポットは、エアポートに近いロビンソンDP。最近増築も終わり店内は明るく、ここがCMかと目を疑いたくなる光景（施設）が数多く見られます。増築された店内のエレベーターは(二基)店内を見渡せる吹き抜けの中を高速エレベーターが上下しています。

人気のあるレストランを紹介してみます。

ロビンソンDPの中に増築した処の繕、8番ラーメン、ふじレストラン、焼肉のチエン店のガイドモン、通称センターの2FLに回転寿司も出店している。

ふじレストランには開店後2～3度足を運んだが生憎満員で食べる事が出来なかったが、メニューを店外より見ると1品100～200BT（300円～600円）位である。

私の体験した8番ラーメン、繕も日本を思い出す味であった。いずれもお客の多くはタイ人である。

以下順次私の好きなレストランを紹介します。この他にも多くの日本食、タイ食の美味しい店のある事もお伝えしておきます。

日本人ですのでどうしても日本食レストランに目が向くのもお許しをいただけるかと思えます。又機会がありましたら美味しいタイ食を紹介致します。

①「サクラ」日本食堂

市内ターペ門に近い日本食レストラン「サクラ」庶民的な店で多くの常連客（タイ人、日本人）を持っている。私のお勧めは数多くある中の冷やし中華である。日本で食べる味に負けない味であり大盛りで価格は55BT（165円）

である。その他にも低価格な日本食が数多くあり是非一度お試しあれ。

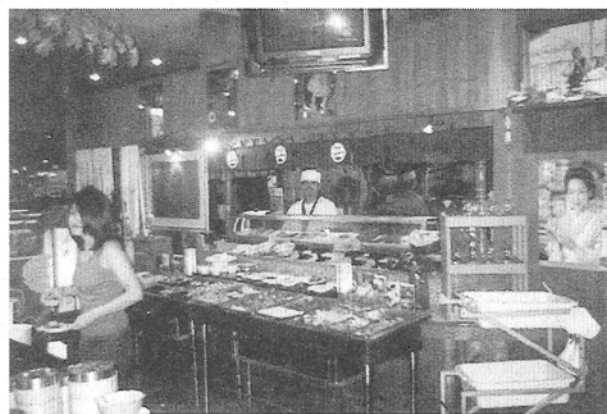


ターペ門近くの「サクラ」

②「北門」ロビンソンDP内

日本食レストランの老舗である。

この店のランチ、ビッフェ、ダイナー（ビッフェ199BT）ランチビッフェは少し安いと思う。刺身、寿司、日本そば、うどん、日本米、味噌汁、天ぷら「好きな食材を選んで目の前で揚げてくれる。食後の果物、お茶、コーラ等何でも揃っている。格安で品揃いも良い店である。ビッフェ以外のメニューもあります。



北門のダイナービッフェ

③「北門」チェンマイ、ランド内の中

ロビンソンDPの北門と同じ経営である。

この店の石焼きビビンバ150BT（450円）は量多く2人で1個取って分け食べても充分である。日本そばも日本のそば処にまけない味である。舌塩、カルビ各々一皿140BT（420円）等なかなかいい味である。座敷数50席位で、

金曜日の夜は日本人（駐在員も含めて）で満員である。予約して行かれるのが良い。



北門の石焼ビビンバ

④カド. スマン. ケオ. (カンターン) の4FLの「サクラ」

通称センターの4FL映画館の前にフードコートがあり、インド、中国、日本食堂等色々な国の店があり、その中に日本食レストラン「サクラ」があり、天ぷらそば、天ぷらうどん各40BT（120円）で天ぷらそば、うどんの天ぷらはその場で揚げてくれるので日本に負けない位の味である。是非一度試食して下さい。寿司も握ってくれて安い。



「サクラ」で天ぷらそば・うどんを堪能

⑤エアポートの前の「エアロ. タイ. クラブ」

タイ食レストランの店で日本人にも余り知られていない。エアポートの前道路より奥まっている場所で解りづらい場所である。

エアロ. タイ. クラブと言って航空関係者が利用する施設で雰囲気もCM最高のロケーションだと思う。湖があり周辺にヨーロッパ調の建物

が並びサンセットと共に生バンドの演奏が始まり、ビール会社のプロモーションが盛んにビールを進めてくれるのでついつい多く飲んでしまおう。一品料理が主でトムヤンクン、パッタイ（タイ風焼きそば）カオパット（タイ風焼飯）焼魚にソースを掛けたもの、さつま揚げ、味付焼きと一ふ等飲んで食べて一人300BT（900円）位です。今迄紹介した店は酒の持ち込み可ですのでウイスキー等持ち込みの方が安く付きます。



カツカレーが美味しい横浜

⑥エアポートの近くのスーパーロータスの2FLのフードコートにある横浜

最近増設されたロビンソンDPPの4FLのフードコートにある横浜も同じ店である。

主人が14～15年日本で働いてたとの事で日本語が達者でなかなかの好人物であるので一度訪ねてみては如何ですか。

色々のメニューがある中でカツカレーが美味しいです。40BT（120円）

ご飯はタイ米ですが温かいうちに食べると問題ありません。お試しあれ。

以上感じたままに紹介しました。

最近では日本人ばかりでなくタイ人にも人気がある日本食ですが、普通の人には1日働いても（120～150BT）まだ高嶺の花である事には変わりはありません。

商売繁盛の秘訣はタイ人に受け入れられる事が大事で経営も安定して永くタイ人に愛される店になると実感した次第です。

彷徨の途中

バンコク在住 会員 No. 496 大瀬戸幸次

バンコクへの移住

バンコクに家族で移住して2年半が経過いたしました。単身旅行で始めてバンコクの地に足を踏み入れ、完全にこの国にはまってしまい、その年の11月には家族で移住してきました。妻39歳・長男13歳・長女9歳の時ですから、女房、子供達が一番苦勞したことと思います。

上の息子は中学一年生で英語を習い始めたばかり、下の娘はABCすら習ったことのない状態でしたが、将来のことを考え日本人学校を無視して、インターナショナルスクールに通わせました。初めて暮らす外国で、タイ語など聞いたこともない環境の中、授業は全て英語。辛い苦しいストレスの溜まる思いをしたことでしょう。しかし、今では英語・タイ語・韓国語・日本語の四ヶ国語を使いこなすまでに成長しました。

自分のほうは、ビザの関係上、法人を設立しましたが約2年間お金を使うだけで、ひたすら遊びました。仕事をしなければ最高の国、仕事となれば最低の国・・・タイランド。居住二年半の実感です。起業した日本人の成功率は、わずか8%と言われていています。この国はコネクションと裏金の世界で一人では何も出来ません。何となくこの国の状況を理解しはじめた昨年11月にRaku-Rakuというバンコク情報誌(月刊誌)を創刊し、従業員6人と共に夜中まで駆けずり回っています。

透明度高い海「ラン島」

先日、バンコクから程近い「ラン島」へ行ってきました。残念ながら休息ではなく、本業であるバンコクマガジンの撮影が目的です。通常は室内での撮影が大半ですが、クライアントの希望で「ラン島」になりました。パタヤ自体は観光地として有名な場所ですが、そこからモーターボート(チャーター便で往復1500B)で約30分位行くと「ラン島」に到着です。パタヤの海はお世辞にもきれいとは言い難く、と

ても入る気はおきませんが、ここラン島までくると雰囲気が一変します。透明度が高く、遠浅で快適な場所で一頃は西洋人の避暑地として賑わっていましたが、最近では日本人・韓国人・中国人に押しやられた感があり、残念な気がします。

到着後、早速撮影開始。カラオケクラブのお姉ちゃん達18名の撮影です。ロケーションを変えながらデジカメで撮影すること総撮影枚数1740枚。海に浸かりっぱなしの状態での撮影のため、半日で真っ黒になってしまいました。夜は別の撮影があるため、とんぼ返りでしたが、今度は家族で休暇と洒落込んでみたいものです。しかし優雅な身分ではなく、馬車馬のごとく働いている状態が続いているので、それもいつになることやら・・・。

ここ「ラン島」はシュノーケリング・パラセーリング・ジェットスキー・バナナボートで透明度の高い海を満喫するもよし、レンタルバイクで島を探検するもよし、安価でのんびり、快適に過ごせ、バンコクからも近いのでお勧めの場所といえるでしょう。



ラン島のビーチ

流れ星の隠れ里

それにもう一箇所のお勧めは(あまり教えたくはない。)カンチャナブリから車で約一時間

入った場所。ここに来る日本人は私達以外にはなく、勿論のこと観光ガイドにも載っていません。それもそのはず、周囲にあるのは川（というかイメージはダム）・その川に浮かぶバンガロー・カヌー・浮き輪それだけ。本当に何もありませんが、夜空には満天の星。

バンコクは空気も悪く星の数は、わずかしか見えませんが、ここは素晴らしい。約2分間隔で流れ星を見ることが出来ます。（天候による）宿泊費も安価で1泊4食（昼・夜・夜中・朝）付で一人800バーツのタイ人価格です。（日本円で2100円）おまけにビールや酒・ウィスキーなんでも持ち込みOKです。

川に浮かぶバンガローで時を忘れたい、何もいらぬ、ただ本当にノンビリしたいという方にはお勧めですが、寂しがりやの方には退屈な場所です。しかし、複数の酒飲み友達と行くには最高でしょう。私達も5人で日本酒4升とブランデー2本飲んでしまいました。エアコンなんかなくても竹網の床から、なんともいえない心地よい風が優しく体を包んでくれます。（季節によっては風邪を引く）

映画出演！

「カメラ！！」「OK！！」

「録画！！」「OK！！」

「音声！！」「OK！！」

「シーン57A。カチン」

「アクション！」 というわけで、

今年5月上旬フランス映画に出演しました。一昨年、日本でもロードショーされた「ヤマカシ」の第二作目「Sons Of The Wind」をタイ（バンコク）で収録することになり、知人に頼まれて面接に行きました。と言っても、詳しい話とはよく分からず、とりあえず事務所に顔を出してくれとの事で、頼まれれば断れない性格が、読まれているのか、仕事を抜け出し、事務所に顔を出すと、階段ですれ違いざま変なオバサン（後に彼女がキャスティングマネージャーだということが判明した）に「アッ〜」と、指差される。なんの事かわからないまま面接会場に行くが、

いきなり台本を渡されてカメラテストという、訳のわからないスタートでした。キャスティングマネージャーのイメージにぴったりはまっただけのことでした。

撮影当日は待遇も良く送迎付きで屋外での待ち時間は、エアコンのよく効いた涼しいロケバスで待機。頭のセットもメイクも終わり、準備万端状態で長い日は待ち時間が9時間を越えることもあり、とにかく待ち時間が多くて、まいりました。

役どころは、ジャパニーズマフィアのボス三沢（やくざの親分）です……。

クランクイン前のパーティに出席し、共演者の顔ぶれを見た時は、「ひょっとしてオレの役柄はインテリやくざの親分じゃないのか？」と、思いましたが、友人達には「違う。ちがう。あんたの顔はそのまま使える。」と否定される始末。何もかもが初めての経験で、観るもの、聞くもの全てが新鮮で生涯忘れることのない有意義な体験でした。所詮、素人の自分を使うくらいだから、タイのローカル劇場でのロードショーだろうと思っていたら本格映画で、ワンシーンのカットの為に、スタッフ200名近いスタッフが大移動。セットも含めスケールの大きさには驚きでした。



ロケバスの車窓から

車の中でのシーンは最悪で、深夜にもかかわらず外は35℃を越える猛暑に中、ノイズが入るので、エンジンはストップ。当然、エアコンはなし。この状態で6カットの4時間もの間、車の中に缶詰状態。ありがたいことに、相手（北野）役のフランス人スーパースター（サンティ）

が日本語の台詞を間違ふこと間違ふこと。

まあ、脚本家も現場の苦勞も考えずに他國語の台詞を沢山、準備したものだ。自分の台詞は日本語で助かりましたが、メークさんは汗拭きが大変だったでしょう。一流の役者は首から上は汗をかかないといいますが、ちなみに私はこの日の撮影だけで2キロ痩せました。

フランス人の監督以下、スタッフ達は、すごくフレンドリーで本当に楽しい出逢いがありました。「役者と乞食は一度やったらやめられない。」といいますが、何となくわかる気がします。なんせ5日間で、15万バーツ以上の報酬でした。しかし、バンコクで役者・俳優の仕事をしている日本人が、こんなに沢山居るとは考えてもいなかった。「エッ、あんたの顔はCMでしょっちゅう見るけど、日本人だったの?」「あっ、あんたの出演した映画、日本で見たことあるヨ。」新たな友人も沢山でき、日本にいては出来なかったであろう珍しい経験をさせてもらいました。

私は現在43歳なので一般的に考えるとリタイアするまで20年間くらいありますが、ここバンコクを離れる気は全くなく、生涯現役として、これからもこの異国で外国人として生活させてもらうつもりです。

「信用第一。人に騙されても、騙さない。」を信念に家族・社員・友人と共に頑張っていくつもりです。バンコクは前述しましたとおり、仕事関係なく生活するには最高の国だと思います。

これからロングステイをなさる方々も、近い将来ロングステイをお考えの方々も、大きな決断を下して、来るほどのことはありません。あくまで旅行の延長であり、「一週間でも20年でも成り行き任せ」くらいの軽い気持ちでいらしたほうが、本当の意味で楽しめるのではないのでしょうか。

「ハッピーリタイアメント」

皆様に幸あれ!!

メーリングリストの声

海外渡航情報

No. 163 宮崎さん

今まで会員が海外訪問をする場合特に会員自身が皆さんへ何処に何時から何日間などと公表していませんでしたが、情報の一つとして差し支えない範囲でお知らせしてはどうかと非公式ですが関係者で話し合いを致しました。正式になるまで時間が掛かるとは思いますが試験的に始めてみたいと思います。

これにより例えば会員で行きたい国があるが一人ではどうもとか、行った時そこで知った方が居られたらなど思ってる方には大変良い情報となります。その他効用は沢山ありますが公表するかどうかは各個人で決めて実行すればよいと思います。

皆さんのご賛同が得られれば幸いです。先ず言い出しっぺの私からお知らせ致します。訪問国×××、場所×××、連絡先×××、出発日×××、滞在期間×××、帰国日×××等… 以上会員番号 163 宮崎哲郎 ご意見ある方はどうぞお願いします。

今回宮崎さんから試験的に始められたお知らせメールですが、出来る限り旅行計画段階でこのメールの発信をされる事が望ましいと思っています。早い段階で皆様のご旅行計画を知る機会があれば、「私も…」という参加希望者がおられるかもしれません。 140 小沢

宮崎さんの提案に、賛成します。

ただし、旅先での強引な、同一行動へのお誘いは、しないよう注意しましょう! 241 下元 (先生みたいな口調になってゴメンナサイ!)

<海外渡航情報の事前公表(任意)について>
---No.96 宮澤英光

先に宮崎副理事長より提案のありました趣旨については大賛成です。特に人気の高い場所へ出向くときなど必要と思います。支部長さんの時間の捻出のご苦勞は相当だと思われま。また、支部長さんの方から対応頂ける期間を開示していただくのも良いと思います。例えば「*月は何日から何日の頃ならば都合が良い」等

海外旅行情報交換に大賛成です。

ネーミングは、そのものズバリ「行ってきます情報」では、いかがでしょうか? 提案いたします。みなさんのご意見もお聞きになってみては……。 442 平尾

大勢の方のご賛同で、海外渡航情報メールはメーリングリスト内にて定着しつつあります。

チェンマイ事情

長野県茅野市在住 会員 No. 96 宮澤英光

はじめに

あたりの山肌が初秋の色合いを見せる頃、私たちは信州を後にしチェンマイへと旅だった。出発の約3ヶ月前にロングステイ先を探す旅の途中、このチェンマイに1週間ほど滞在した。マレーシアの数都市とチェンマイ、バンコクを訪問したのだが、チェンマイに到着したその日から、この街にすうっと入り込み、以前からずっと住んでいた居たような錯覚を覚えるのだった。街並みやそこに行き来する人々の表情がなんとも明るく、また親しみを感じるのであった。数日滞在する内に先輩ロングステイヤーが話してくれた事が実感として理解でき始めていた。それは人々の優しさ、生活の利便性、物価の安価なこと、また街中が安全なこと等などである。私たちにこの町をロングステイ地にしようと決心させたのは、他にもないこのような状況の他に、経験豊富な南の会の先輩達がおりに、情報提供やサポートを気持ちよくやってくれ、なお、遊び仲間が沢山居ることなど、それまでの色々な心配が消し飛んだ結果に他ならなかった。このロングステイ地探しの旅の後、僅か2ヶ月で諸々の準備をし、そして旅立ち6ヶ月を過ごすことになったのだから、その思い入れは相当強いものであったように思う。

住居選び

その地にロングステイしようとする場合、住居選びは相当重要なファクターで有ると思う。その期間にも依るが、数ヶ月を越えるような場合はなおさらの事、自分たちの生活スタイルを考えておく必要が有る。

チェンマイにおいてもゲストハウス、ホテル、マンション、コンドミニアム、さらに1戸建て住宅など様々な選択肢がある。値段もピンキリでかなりの開きも有るが、総じて値頃だと思ふ。さて、ここで留意しておきたいことが2つ有る。1つにはキッチン付きが非常に少ないということ。これは東南アジア全体に共通するようであ

るが、ここタイでも例外ではなく、外食文化が非常に進んでいて、自宅で調理する習慣が少ないためらしい。従って物件の値段のみでは判断しにくいということ。

また2つ目は同じコンドミニアムなりマンションでも、部屋のオーナーがそれぞれ異なり、間取りや内装が大きく違っていること。これが日本と随分違うところだと思う。従って同じ床面積でも、内装のグレードや経過年数で値段が違ってくる。更に立地条件で値段が変わると言うことだ。

歩きで買い物が出来る市街地に近い便利な所では3~40平方メートル位で、バスタブ、トイレにツインベッド、小さめのテーブルにソファ、及びベランダ付き(少々広めのホテルの部屋を想像してもらおうと良い)でおおよそ7,000パーツ(2万円)1月程である。少数だが狭いキッチン付きも有る。広さが倍の面積だと価格もほぼ2倍と見ればいい。

また、郊外で車を利用するような立地条件の場合は上記の値段の半額位でも探せるようだ。

また、一戸建ての物件も沢山あると聞いている。もちろん郊外が多いのだが、2階建てで2~3LDKにベランダ付きでも1万パーツ(3万円)1月位。こうしたものからゲストハウスにメイドルーム付きで土地300坪、庭園付きで約2.5万パーツ(7.5万円)というものまでである。

物件は結構沢山有る様だが、自分たちの生活スタイルに合ったものを探すとすると、それなりの労力と時間が必要なことは言うまでもない。なお、「最初から一戸建てはあまりお奨めでない」という先輩が多い。というのも安全面や住宅や庭の維持管理に相当エネルギーが必要になるという。言葉の壁も有る中で、これらをこなしていくには少し経験を積んでからの方がベターのようだ。

因みに私の所は繁華街に至近のところ、面積は約百平方メートルの1LDK、1.4万パーツ/月、6ヶ月契約、快適な部屋である。他に電気、水道、TV、

電話代が必要だが3千バーツ迄は掛からない。この住居探しはホテルに逗留しながら、先輩会員の経験談を参考にして、紹介物件を自分の足で回って、現物を見てよく条件を確認して契約するのがいいと思う。

日本に沢山有るような不動産屋は無いと言っていい。日本人の経営するものがあるが、あまりお奨めでないようだ。特に日本人で気安く近づいて来る場合はなお注意が必要である。高額な手数料を請求されてトラブルになる例が多いとのこと。

バラエティーな食

ここチェンマイにかぎらずタイ全体に言えるようだが、非常に豊かな食文化がある。

タイ食のバラエティーさに加え中国、韓国、日本、イタリア、他のレストランも数多くある。安くて美味しい屋台から高級なものまで幅は広い。タイ食は大変美味しく口に合うと言う人が多い。もちろんかなり辛目のメニューが多いのだが、それが苦手な人はオーダー時に辛さを控えてもらうように注文すれば結構やってもらえる。

屋台やフードコートではもっぱら出来た料理に自分で野菜や他のものをトッピングし、なお唐辛子を山ほど掛けたり、砂糖を入れる人が多い。味見をしながら自分の好みの味にしている。

全体に甘味が強いのは否めないが口に合わないと言った人は少ない。さまざまな店を友人達と食べ歩きするのもロングステイの醍醐味の一つと言えよう。ビールを飲みながら楽しい会話に花を咲かせ、美味しい料理に舌づつみを打つには事欠かないこと請け合いだ。

少し食べ歩きが過ぎて食傷気味な時など、軽くヌードルを食べるのだが25バーツ(75円)位で済む。日本のラーメンくらいのものであるが、米の粉で出来ているためさっぱりしていて結構いける。またウイスキーや酒を持ち込む事も自由な店が多い。日本レストランは持ち込み料を取るところが多いのだがタイ料理屋ではほとんど自由。

昨年の忘年会は素晴らしいロケーションのレストランにウイスキーを持ち込み、ビールはもちろん取ってなお、十分な料理を食べて1人250バーツ(750円)で上がった。実に安いし味も良い。嬉しい限りである。

食材も豊富でスーパーマーケット、市場も沢山あり買い物には事欠かない。かつて日本でも見られた1個売りや量り売りが多く、パック売りは見られない。野菜の種類も多く、不自由さはほとんど無い。肉類はトン、鶏が安い。牛肉は品数が少ない。トン肉は嘘のように安い。鶏も安く美味しい。プロイラーのあれでは無い。地鶏で味が本当にいい。

日本であまり食べなかったが、よく食べるようになった。また、果物がいつでも豊富に出回っていてこれも安く手に入る。毎食卓に供しても財布は苦にならない。ただ糖分の取りすぎには要注意だが。水分とビタミン補給にはもってこいだ。とにかく嬉しいの一言につきる。

魚類は淡水魚が多い。海の魚の入荷は少ない。海に遠いためか。カナダや北欧からの冷凍鮭やシシャモが入っている。もちろん日本からマグロ、タコ、イカなどの刺身も冷凍物だが手に入る。少し高いが美味しい鰻も買える。

いずれにしても食べることは何の心配もないと言っている。ただレストランでの注文が正確に出来ての話の場合もあるが。なかなか思った物が出てこないことも多いのだ。

衣について

これについては多くを言うまでもない。

冬の期間でも(日本の12月~2月)最低温度が10数度以上。せいぜい長袖があれば過ごせる。普段は男はスポーツシャツ或いはTシャツに短パンかパンツ、サンダル履きである。

何処でも安い物が手にはいるし、すぐ乾くので数もいらぬ。結構ずくめなのである。女性も男性とそう違うわけではなく、あまりファッションにこだわらなければ、かなり安く済むようだ。生地も種類が豊富で安く手に入るの、仕立て屋に注文してもかなり安価にオーダーメイ

ドが手に入る。(因みにワンピースの仕立て代は四百パーツ(千二百円))もちろん高級指向も当然ある。若い女性はスリムな体型の人が多く、やや大きめなものを見つけるには時間が掛かるとも。いずれにしても衣類に掛かる費用は知れている。

ゴルフ事情

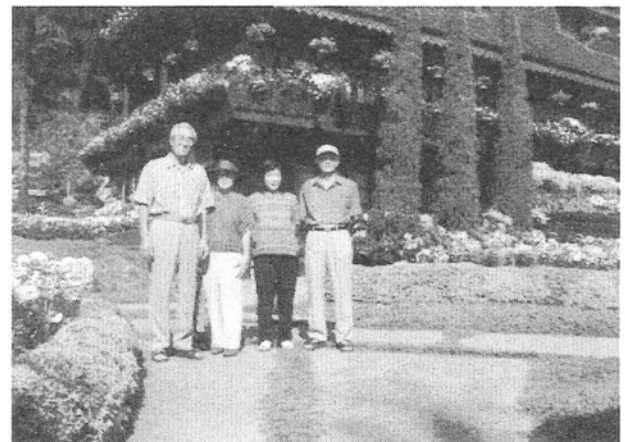
チェンマイに来てゴルフしないのは00である。などと言われるように、街から近い所で安くプレーが出来、まさにゴルファー天国なのである。町から10数分で30分も車で走ると各ゴルフ場に着く。日頃行きつけの所だとビジターでも会員と同伴ならお昼を食べ、1ラウンドプレーして七百パーツ程度(二千元一寸)で済む。これにはキャディーへのチップ百パーツ(日本人価格で高いが)を含んでである。もっと安い所や、また少し高いところも有る。近隣の町にもゴルフ場は数多くある。週3回涼しい内の早朝ゴルフを堪能し、昼食を食べて帰っても12時頃である。誠に健康的に過ごしている友人が多い。最近ゴルフを始めたと言う奥様を何人か知っている。日本よりずっと安くプロに指導してもらえるのだ。因みに会員権も三十数万円で買える所もあるとのこと。

高齢者に優しい街

日本では大いに薄れて久しい、高齢者へ敬意を払ってくれる人が実に多いということ。道や乗り物で席を譲るを始め、高齢者を大事にし敬う心が篤いということである。各家でも年輩者は敬われているとのこと。国教である佛教を94%の人が信じ、男子は全員佛に帰依し、一度は出家して修行をする事とは無縁では無いと思う。毎朝托鉢僧に路上に跪いて供物を差しだし、拝む人々の信心深さを見るにつけ、大事なことを忘れた様に思うことしきりである。こんな風景を朝靄の中で見ることは実にすがすがしく、また、幸せな気分させてもらえる。ところで、また一風変わった高齢者への配慮のある街でもある。街中での話だが、先ず車優

先で信号機が少なく、横断歩道もほとんど気が付かない様な表示しかないし、それに数も少ないので道路横断には細心の注意が必要と共に、車の切れ目を狙って一気に反対側へ駆け抜ける必要がある。

一時も気を緩めると大変である。俊敏な判断力と素早い動作が要求される。また歩道は有るにはあるが高い段差が実に多く有り、また歩行を妨げる突起物、標示物、時には結構大きな穴などが空いていて、気を抜いて歩いていてはすぐに瘤を作る羽目になるか、カット絆を貼る、はたまた病院に等と言うことになりかねない。電線はぶら下がり、タイルは剥がれ、看板や生け垣の木などの障害物が堂々と通行人を邪魔している始末。したがって、歩くときは左右上下それに前後に注意をしなければならない。前後とは野犬である。実に犬が多いから更に神経を使う。まさしくアスレチック様の街で、ボケ防止に実に配慮がなされているのだ。マイペンライの国とは言うものの管理の行き過ぎた日本から来ると、このギャップを埋めるのに心身共に少し時間が必要のようだ。



郊外の花園「クリサダドイ」にて
左：鈴木支部長夫妻、右：筆者と妻

女性のはまりやすい街

何組かのお客さんをお迎えし、色々な場所を案内したのだが、“ここは買い物天国”と異口同音におっしゃる。アジアチックな面白く安い商品が有るということの他に理由は幾つか有るようだ。その一つには特にナイトバザールの人出の多さと賑やかさの他、値切り交渉が実に面白

いという。外国人と見ると数倍に吹っ掛けてくるのを承知で、何処まで値切りに成功したかである。駆け引きがなされる訳だが、時間が経つ内にコツが掴め、これが病みつきになる因とか。ほんの安い品物でも値切りに成功し、手に出来た時の達成感は何物にも変えられぬらしい。まさしくゲーム感覚なのである。

また、有数の観光都市であるだけに、欧州を中心にした観光者やロングステイヤーが実に多い。従ってそれに沿った超高級な服飾品からそうでない物まで実に雑多な商品が見られる。これらも一因だと思う。なお、大規模なホコテンが毎日曜日があり、品数の豊富さと、人出の多さや様々なエンターテイメント等で楽しませてくれる。楽しませてくれると言えば、実にお祭りの多いこと。美女のパレードはもとより、出店の多さや、屋台での美味しい食べ物など興味は尽きない。祭り好きな人には格好な街なのだ。従って女性だけではなく、男だってかなりはまるのである。

周辺の素晴らしい環境

チェンマイ近郊にはまた素晴らしいリゾート地が沢山ある。温泉あり花園有り、それに環境の良いホテルなどである。観光案内本にはほとんど出ていないところである。が紙面に限りがあるので今回は割愛せざるを得ない。もしご希望が多く、なお会報担当事務局のご配慮が頂けるならば次回に続報でもと考えている。通信・インターネット事情、お祭り等についてもである。

はなはだ拙文で申し訳有りません。文末までお読み頂き誠に有り難うございました。

もしいろいろ質問などが有る場合は下記に連絡いただければ、出来る範囲でお答えを致します。

<連絡方法>

TEL/FAX: 0266-72-1131

E-Mail; mail1@hs-miya.dnsalias.net

HP; <http://hs-miya.dnsalias.net> の掲示板

(書き込み写真投稿も可)

<チェンマイの住所と TEL>

No.802 No.2/107 Nakornping Condominium

Huaykaew Chianmai 50300 Thailand

Tel:053-404298

(十月～来年四月迄滞在予定)

メンバーリスト・ミニ情報

チェンマイ・ゲストハウス No.26 鈴木宣夫

会員ナンバー560の八巻さんが自宅に2部屋別棟でゲストハウスが空いているので、会員の方を優先でもてなしをしたいと始めましたのでご利用してやってください。

気になる料金ですが一泊朝食つきでツインで1650円(二人) 一人1500円パン食、日本食どちらでも良いとの事です。昼、夕食は希望があれば提供したいとのことです。昼100BT, 夕150BTで提供したいとの事です。

設備はAC, 冷蔵庫、2部屋共同のホットシャワー、トイレ近い内にバスタブ、テレビ(日本語のテレビを備える) そうです、地理は空港に近くスーパー、デパートにも近く便利です、市内までは30-60円で行けます。

空港までの送迎は無料とのことです。ご夫婦は人柄の良い人ですので楽しいチェンマイの旅が出来るものと確信しています。一度ご利用して見て下さい。

八巻さんの電話は

09-5555206です。

メールアドレスは

kazunori20012@hotmail.com です。

会員の方にご迷惑にならないようにチェンマイの旅をお楽しみください。

メンバーリスト・ミニ情報

No.239 伊藤 寛

先日東京の神田神保町の本屋街のアジア専門の本屋に行ってきました。かなり充実してました。こんな本もあるのかと！大手、一般書店に置いてない本でも取り寄せ代引き着払い可能です。

ホームページの右下のタイ語スクールをリンクしていくとタイのバンコク、チェンマイのホームステイ情報も有り。

<http://www.asiabunko.com>

アジア書籍購入情報サイト

タイを中心にメコン周辺を楽しむ

東京都在住 会員 No. 80 阿部 功

花粉症からの脱出

毎年2月から4月にかけて日本杉とひのきの花粉が青春を謳歌します。日本脱出の季節となります。2ヶ月間は日本に帰国出来ない体なのです。今年是最初の一ヶ月間はバンコク中心で一ヶ月、あと一ヶ月はチェンマイをベースキャンプにしてそれぞれ安価なアパートにステイし、平沢会員の様な各地探訪をする予定でした。

チケット選択

ネットでチケットの予約開始です。去年のチェンマイの印象が良かったので、今年も帰国空港はチェンマイと決定。今回は若干事情ありで60日オープンが必要。条件に合うシンガポール航空を狙う。ここは帰国チェンマイ発OKで、往きは成田からアジア各地選択で同額チケットなのです。往きはインドネシア各地・ハノイ・ホーチミン・シュムリアップ・シンガポール・チェンマイから選択し、オープンジョーで最後チェンマイ発に乗り込む事になります。この間を自由に2ヶ月掛けて旅すれば良いロマンチックなチケットです。但し、オープンなので7.8万円と60日FIXの5万円前後を遥かに上回る。ユナイテッドのマイレージOKです。来年からは4万前後のバンコク往復一年オープンのバングラカインドエアーにする予定。

結局、当初計画のバンコク往きはやめて、直前のアンコールワットへの妻のオバタリアン旅行の影響もあり、シュムリアップ往きを選択。背中にパソコンの旅なので、ベトナムからのスタートを諦めざるを得なかった。

空港一泊

シンガエアー格安チケットはシンガ空港深夜着で空港一泊となります。空港内ホテルも時間制で格安ですが節約です。なにせネット先進国で夜間はネットが無料サービスなのです。多くのランジッターが各所で夜を過ごしており不安はない。睡眠用の長いすは30客程度なので既に先客がいびきをかいてる。ソファと椅子で寝床作成。熟睡は無理でもうつらうつら出来

た。

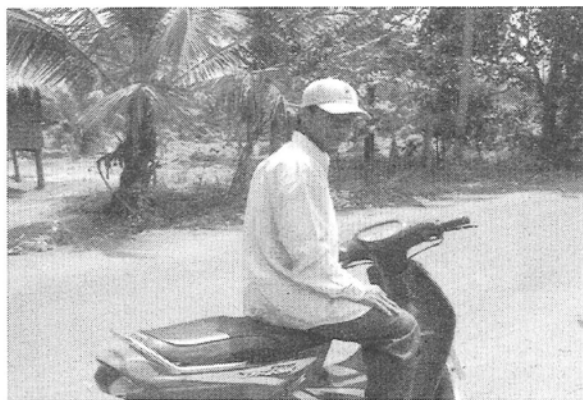
朝6時頃から空港も目覚め始めます。関連エアーのシルクエアーでシュムリアップへの旅たちとなります。

アンコールワット

トンレサップ湖らしい汚い水面が見えてシュムリアップ空港着。小さな空港で滑走路を歩くと南国の強烈な日差しに感激。真冬と花粉とのお別れだ。東京でビザ取得していたので、荷物取るとすぐ空港の外へ出された。他の乗客は殆ど空港でビザ申請している。

初日だけはネットで「チェンラゲストハウス」を予約しておいた。平沢会員に刺激を受けての初めてのGH利用である。出来るだけGH(原則A/C付き)を経験する事を今回のテーマとした。

送迎サービス付きなので、名前を搜すと可愛い少年が「ABE」の紙を掲げてた。後ろに従うと、何とホンダの軽バイクでのお迎えではないか。



出迎えのアソウ君と自慢のホンダ

小さいながらハード鞆持参である。少年は膝と腕でバイク前部に鞆を保持。私はバックパックを背負って彼に抱きつく格好を想像して下さい。機中で顔みしりの団体客が冷房バスで追い抜きながら手を振ってくれた。なぜか挨拶を返す元気は無かった。

10分程でチェンラGH着。ACとTV付で15\$。Chen la G.H No.260 Taphul Village Quater 2、

E-MAIL : 012835488@mobitel.com.kh

www.stormpages.com/chenla/chenla.htm

チェンラ GH 最高の部屋だった事が後日判明。欧米人や学生諸君は3~5\$の部屋にステイしている。出迎えのアソウ君と3日間のバイクの約束を交わす。初日は日没見学含めて5\$。翌日からは一日6\$、遠距離は別途追加料金で成立。気持ちは既に南国だが、体が未だ冬のままで初日のアンコールワット見学はきつかった。アンコールワット地区3日間の遺跡見学パスが40\$は高いが、すばらしいの一語。

毎食時、野外食堂で2000Rのアンコールビア飲みながら、日本の若者と情報交換。年長者との話はうれしいとお世辞を貰った。PC持参したが、部屋に電話なくネット屋利用。IP電話で家へ安着報告する。3分位で1\$と安い。

翌日、体が南国に順応したのか楽になったので、舗装なし赤土道路50Km先のクバールスピアンにチャレンジ。更に山道を30分登山。睡眠で回復の体力を全て消耗。期待ほどでは無かったし全身土ほこりで真っ赤。帰途バンテアイスレイで東洋のモナリザをクリア。更にアンコールトムへ。ここは広大だが、各寺院へバイクで乗りつけられるので、有名どころは全て踏破。



バンテアイスレイの子供達

翌日は残りの遺跡を見ても感激なしで、オールドマーケットの屋台食堂へ。これがおいしくて安い。バイクのアソウ君と料理四皿とご飯、ビアで3\$。辛くなくて日本の味そのもの。

トンレサップ湖上からのサンセット見物へ。ピア一迄の堤防（これがひどい道で尻が痛かった）の両側に間口一軒のニッパヤシあばら家が数百軒。ベトナム難民との事。

湖上のレストランで川えび茹でのサービスと

ビアとサンセットは大満足。

首都プノンペンへのミニツアー

プノンペンへ泊のトンレサップ湖断ツアーにチャレンジ。GHで購入、25\$。朝6時ピックアップ。何と小トラックに大型欧米人14人と大型バックパック14個と私。定員無視の荷物扱い。これで例の堤防をほこりを上げて突進。冷房快速船は押すな押すな状態。ピアの雑踏での1\$のパン購入は正解だった。船での販売は飲み物だけだった。湖部分まで細い川を一時間近く小船を避けながらの航行。冷房強烈で南極並。湖上に出るととたんに快速！タバコ吸いに外に出て片手でぶらさがるも直ぐにタバコが灰になる。しかし気分爽快。



シュムリ・プノンペン間の冷房快速船

8:15出船で13:15首都プノンペン着。都市のど真ん中に接岸。有名なGHの「キャピトル」の出迎えミニバスに乗り込む。系列の「キャピトル」裏の「HONG PHANN GH」に投宿。AC、ホットシャワーで10\$。

- CAPITOL G.H 《House No. 14, Street 182 tel:855-23-364-104》の新館の
- HONG PHANN G.H. tel:855-23-986-672 の3階だった。

<http://www.bigpond.com.kh/users/capitol/>

早速、「キャピトル」前のバイク溜まり場で日本語話す運転手を要求。キャピトルで帰りの船(22\$, 帰りは3\$安い)予約と昼食中に彼が現れた。すばらしい運転手にめぐり合った。

キム・ボーラル君 32歳。

boralk@yahoo.co.jp TEL: 001855-12-794-547(国際) 012-794-547(国内)

彼はポルポト時代、軍人の父一家と南部マラリヤ多発地区に下放され、父は死亡したものの、彼は2～3度死にかけたが、ベトナム軍の進駐によりプノンペンに戻った経歴だった。と言うのも、観光の真っ先に、ツールスレーン博物館を挙げた時、自己紹介したのです。彼は勉強熱心で、日本語と英語をマスター中で、苦学して日本語の観光案内の資格取得したと言う。

普通のバイト案内者は博物館に入れないが、彼の説明聞きながら、ポルポトの残虐行為を示す博物館を見たのは感無量でした。30分の予定が一時間近く掛かったが、良い説明者に恵まれた時間でした。当時の刑務所長が存命とはびっくり、国際裁判の為、秘密の場所に拘束してるのだそうです。人骨の展示してある部屋で伝教的にはまずいのでは？と聞いたら、この部屋だけはお寺です、祭壇や香も焚いてるでしょう。なるほどでした。



ツールスレーン博物館の人骨展示

時間余裕あったので、二人で食事した、3\$。タイとの経済格差を聞いたら、ポルポト時代と現政治体制が悪いとはっきり言った。一年前には言えなかったし、今でも活字には出来ないとの事。大クメールもスモールカンボジアになってしまったと残念がっていた。半日で4\$とチップ1\$支払う。

翌朝7時に時間通り船出。川を遡り10時頃湖へ達する。スピードアップし11時40分艇に乗り換え。12時15分ピア着。チェンラGHの出迎えバイクでシュムリの町へ。相変わらずのベトナム難民村の悪路も懐かしい。

再びチェンラGH

チェンラの食堂で81歳のバックパッカーKさんに出会う。チェンラ最年長の座を譲る。旅の経路聞いてびっくり、何とホーチミンから陸路でシュムリ着とは！プノンペンからシュムリ間は武器所有の賊出没で陸路危険と本にある。ボートツアーが恥ずかしくなって自慢話出来ず。これからバンコクまで陸路行く予定とは！エア一計画止めて、同行を申し出た次第。彼がいなければ、10時間の陸路ツアーは決心出来なかつただろう。

ポツダム少尉で准尉時代、転属命令で陸路バンコクからサイゴン（現ホーチミン）まで、現地調達しながら行進した思い出を、達者なうちに逆に辿る計画の途中との事。今までの幾多の世界中のツアー経験談ではびっくりの連続！

翌日、荷物整理とGHのママ（だんなはのんびり何もしない）にバンコクへのチケット（25\$）依頼。バンコクのカオサンでは80B～800Bの陸路チケット相場と聞いた（Bはバーツで3円弱）。

ここでは80Bで12時間掛けて来た若者と会った。特に危険はなかったが窮屈なミニバスと悪路での小トラックで疲れたと言っていた。



チェンラGHのママさん

カンボジア・タイ国境越え

一週間滞在のカンボジアを後にバンコクに向け、8時Kさんとバスツアーに出発。大型バスに15名程度、皆欧米人。途中一箇所トイレ休憩し、12時半頃国境のポイペト着。半分はオフロードだったが大型バスなので疲れ少ない。むしろ舗装部分の方が穴ぼこが補修されておらず、揺れが激しく辛かった。国道を横切る電線が垂

れ下がり、トラックの上乗り助手が電線を保持し車の後部に落とすのにはびっくり。国道の電線の高さに関する基準もない国力を実感。未だ地雷撤去も進まない状況では無理もない国家財政なのだろう。



カンボジア国道

ポイペトには立派なホテルやカジノあり。バスを降り、出国手続き（スタンプ押すのみ）し、カバンを引っ張り、タイ入国手続きへ。皆バックパックでカバン引っ張りは私一人のみ。陸路でのタイ入国はビザ必要と本にはあったが、ビザなしでOK。所定事項記入し WELCOME となった。



タイ側入国

タイ入国とカオサン

13時半タイ側のバスに振り分けられる。マイクロバスになり、11人びっしりで窮屈。10分程走って休憩所で無料の軽昼食。

タイ側の道路にはびっくり、立派な道路でセンターラインは久しぶり。電柱が両側に整然と並んでいるのが特に印象的。

6時半カオサンに到着。計10時間半だが、バンコク近郊での渋滞が時間の無駄。日本企業の

ISO看板が随所に見られた。佐々木さんご推薦のゲストハウス「DD イン」にKさんと投宿。

(S) 500～(D) 600B。

近くのイサーン料理店でガイヤーンとソムタムでKさんの追憶旅行完遂祝いをささやかに実施。「K准尉ただいまサイゴンより帰りました！」である。カオサンは若者の街として有名だが、欧米人には年配者も多く、ゆったりとご夫婦で通り沿いのテラスでビールを楽しんでいる。日本中高年にもっと人生楽しめと言いたい。

バンコクではアユタヤをベースキャンプ

Kさんはタイ入国すると、ドンムアンから即アユタヤへ列車等で直行し、ここを長逗留の基地にしている。アユタヤはミニバスでBTS 戦勝記念駅まで45B一時間の距離で、列車駅もあり、宿も安く静かで気に入っているとの事。

私も今回バンコクでのアパートステイを止め、アユタヤ基地化にトライする決心をした。

BTS 戦勝記念駅迄ツクツク。排気ガスの洗礼を受ける。モニュメント広場の「CANON 看板前」にアユタヤ行冷房ミニバスがある45B。しかし、座席小さく少し窮屈。すばらしい道路を快速で飛ばし一時間で到着。昔は数時間掛かったのを思い出し、隔世の感ありである。

バス停から歩いて数分でP.U.・GH。035-251-213、AC・TV(NHK)・ベランダ付の最高の部屋で500B。居心地良好。しかし、トイレ紙なし（自己調達）と始末後紙は流さずに小容器へ入れて下さい！にはびっくり。読んだ事あるも、経験は初めて。食堂が広く緑多く寛げる。



P. U. ゲストハウス

カオサンの森さん経営のMPツアー(02-

6290916)でタオ島行きの申し込みする。バスとボートで380Bは安い。タイ南部の海沿いのLS用アパート探しが今回の目的の一つ。

宿で大阪の若い女性達がサメット島へ向かうと聞いて情報収集。タオ島より近くてアパート探しには良さそう。計画変更に傾く。数日のんびりレンタサイクルでアユタヤ遺跡巡り。

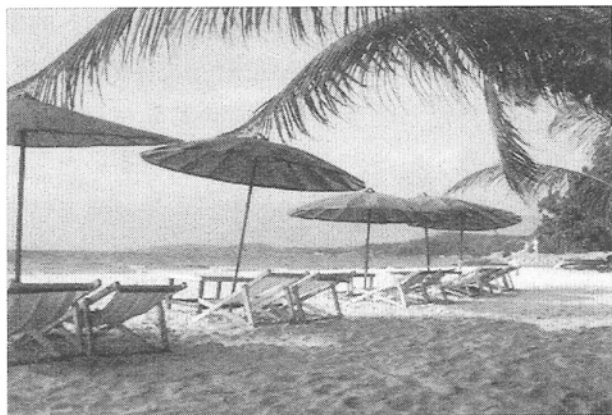
メインの荷物は預かって貰って一時チェックアウトし、持参のシュノーケルとマスクを入れた小バックのみでカオサンへ向かう。

バンコク北バスターミナル行き41B大型バスも利用してみた。一時間後着。バイクを選んで、BTSのモチット駅迄50B。BTSスカイカード200Bを購入。内30Bは預託金となる。BTS初乗車だが綺麗で涼しい、快適。

サメット島へ

MPツアーで当夜のタオ島から翌朝のサメット島行きに変更依頼。50Bのキャンセル料で往復290Bのチケットに変更。DDインに投宿、600B。

MPツアー前でミニバス朝8時半ピックアップ予定も、飲みすぎの5人の外人遅刻で15分遅れる。10時休憩所。12時バンペイ着。軽食後13:15出船、30分でサメット島着。ほぼ5時間できれいな海に感激。島内乗合ソンテウにぎっしり乗車。国立公園入園料200Bは高い。20Bでサイケーオビーチのホワイトサンズバンガロウ前に下車。AC,TVの1300Bを選ぶ。隣はタイ人の新婚さん。早速海へ、砂浜のみがっかり。JEP'SレストランでBBQ、肉類100Bは安い。



サイケーオビーチ

翌日全島探索の為ソンテウをチャーター、一時間500Bを350B迄折衝。拝み倒し作戦成功。AOPAI,AOPRAO,VONG DEUAN等を回り、海岸状況とホテル・バンガロウ調査。

アオパイではアオパイハットのバンガロウ、新築木製でAC付800Bがベスト。東側は波が荒いので、西側のアオ・プラオ方面に回る。道がでこぼこでトラックの荷台はつらい。アオ・プラオは比較的に波静か。最初のホテル聞いたら、何と7000Bですんなりパス。次はビラ風で「DOMEイン」1500B。

0-3865-1377、FAX:0-3865-2600。連棟式のコンクリ平屋建て。客の欧米人が自分の部屋と空き部屋も案内してくれて「VERY GOOD」だそう。AC・ホットシャワー・TVと設備完璧だった。一番奥のホテルは「DHIVARIN SPA」でROOM2900B、コテージ4000B。最後に東側最大のビーチ、ウォンドーアンへ向かう。客少なく特に賑わいも感じられない。多少バンガロウ、ホテルが多い程度。

ホワイトサンズをキャンセルし、アオパイへ。狙った「B-25」のバンガロウOKで取り敢えず一泊800B払う。「AO PHI HUT」0-3864-4075



アオパイハット

目の前が海でベランダでのビールは最高。他も同様だが、日中は電気来ない。旅券やお金等を纏めてビニ袋へ入れて海岸へ。一人で泳ぐ時はいつも貴重品の保管に苦勞する。貝類や魚が多く「さざえ」を多数ゲット。Tシャツ羽織ってもジリジリの感じの強烈な日差し。朝夕シュノーケリングして、日中はベランダで昼寝。

夕食は JEP'S の BBQ。自分以外は全て欧米人で、卓上のキャンドルがキラキラでまるで南仏あたりのリゾート気分。やはり欧米人の中年の夫婦連れが安価に楽しむ姿が目につく。

帰路は復路券を破棄して、通常ルートを体験する事にした。島内バス停で 30 分待ってピア一着。50B で対岸のバンペーへ。300M 程歩いて通常の V I P バスのバンコク行きバス停へ。124B で冷房快適バス。12 時発、3 時トイレ休憩の後、3 時 45 分東バスターミナル着。100M 歩いて B T S エカマイ駅。これは便利、次回はこの通常ルートを利用したい。4 番窓口で発券、1 3 番乗り場を確認。今回は潜りに熱中しアパート探しを断念。会員の皆様をお願いします。

バンコクで会の大野夫妻と出会う為、アユタヤ直行せずバンコク BTS 国立スタジアム駅周辺の GH 街へ。全ての GH 満室でバツウムワンはスイート ROOM となった。2 寝室の内一部屋はクローズして 2000B を 1500B。広すぎの 100 m² で 2 バスルーム。一人寂しく下着を洗った後タニヤへ繰り出す。ここの居酒屋「よってけ」は隠れた安価和食飲み屋さん。信子ママ手製のおつまみは抜群。翌日 RENO ホテル(950B)へ移り、大野夫妻、支部長五十嵐さんと会食。久しぶりにまともな日本的雰囲気に入る。



RENO ホテル

アユタヤ行きの前にスクムビット・ソイ 4 3 の「バンコク賃貸サービスセンタ」を訪問。B T S 駅から徒歩 10 分内で 1 万 B 程度の物件紹介が売り。02-260-9607~10、0-9939-1755(坂口・小田)。bangkok_chintai@hotmail.com。物

件少なく、苦勞しているとの事。紹介・契約と最後までメンテ含めて手数料 3000B。契約 3 ヶ月超が普通で、1 ヶ月契約はサービスアパート物件になり月 1 万 B を若干超えるとか。

ミニバスでアユタヤへ。PU 投宿、前回と同じ部屋に入る。ご主人の竹内浩次さんが日本から帰国し初対面。若くてテキパキしてる。預けた荷物引き出して再パック。いよいよベースキャンプをチェンマイへの移動となる。

チェンマイ行き夜行列車 (730B) 利用だが、アユタヤ駅は夜中なので、バンコクから始発に乗車の予定。19:45 発車、ビール 60B。ドンムアンでイタリア人夫妻が前の席へ座った。英語うまくないが、チェンマイからラオスへ入るとか。2W のホリディと言ったが、目的がはっきりしない。イタリア語の解る VIP ゲストハウスを教えた。



夜行列車

21:00 ベッドメイク。21:30 アユタヤで乗車する人は見えなかった。9:45 チェンマイ着、やっと我が家へ着いた感じでホットした。日本出てから約一月か。

ツクツクで「スリ東京ホテル」(450B) へ向かうが、直にパシフィック M に行ってくれに変更。ツクツク待たして受付へ。前回顔見知りの受付女性はいなかったが、空部屋ありか聞いたら OK で、6 階は? 前回の 606 号ありとは何と言う奇遇! 即決、家賃 7000B、ベッドメイク 500B、掃除 150B、デポジット 8000B、合計 15,650B 支払う。ベッドメイクは毎週水曜らしい。

支部長鈴木さんから電話。ロビーの談話室で面談。面談中に会員の宮さんが二人連れで現れ、

お二人とも南の会員と紹介され、5人のミニ南の会となった。ここには80室のうち日本人が30室程おり、日本人マンションの感あり。

チェンマイでの体験

1. 隣町のランブーン

大規模工業団地があり、日系工場も多い。日系企業は最大のムラタ他数社見かけた。3交代もあり、月給与はほぼ1万円程度。日本のほぼ半分位の生産性？目で見ると管理が徹底されている。食堂も立派でしつづけが良かった。



日系企業

2. ミャンマーのタチレイへビザ延長ツアー

日本からの友人と観光がてら、ビザ延長作戦。9時発チャーター車で北に向かう。12時スタートウーの川べりのレストランで100Bのバイキング。対岸の直ぐ向こうはミャンマー国境。東へ30分程で首長族の村へ。入村料500B。坂の上下あり疲れる。ここも女性が働き、「男性はのんびり」は何処も同じ。



首長族

メイサイのイミグレ着。国境の手前約2Kmにあり、慣れないとやり過ごしてしまう。出国手続き済ませてから国境へ。タイ側ゲートが立

派になっていた。国境の橋の上で写真。とても暑く、客引きがうるさく、郵便局からハガキ出して早々に退散。徒歩でのタイ入国手続き済ませて一ヶ月の滞在延長完了。トライアングルへ、古い標識の方で記念撮影。中国、ベトナムも近い事を知った。オピウム博物館は一見の価値有。川向こうのラオを見ながら帰路へ向かう。

8時半着。車代はガス代も含め6人で3000B。

3. パシフィックマンション

ここはチェンマイで一ヶ月程滞在のベースキャンプには最適と思ってる。直通電話線有りなので即ネットが可能。日本でSo-net加入しているので、こちらでの提携プロバイダのTEL番号(5局あり)に繋がればOK。料金は市内のTEL代だけだが、ここは15分単位で切り一 통화5B。合計1分1円となる。中には15分切りをしないアパートもあり、この場合は市内1通話で無制限ネット通話可能となる。近くではHillside CondoやHuay Keaw Apa等がその様である。

ここは会員もおり会の滞在経験者も多い。ラム病院に近く、センターンデパートとリンピンデパート両方が徒歩数分内なので便利。地元市場のタニン市場にも近く何かと便利する。都の西北に位置し、一般市民の生活と触れ合え、朝はサンティターム寺院の托鉢僧に手を合わせ、夕にドイステープの夕日を眺めてのビアチャンは格別である。何もしない贅沢を実感出来る。



パシフィックマンション

ラオスのルアンパバーン

世界遺産を二つ(アンコールとアユタヤ)経験したので、帰国前に残金と相談し、もう一つ

チャレンジを計画した。チェンマイの北チェンコンからラオスのフェサイ経由で世界遺産の古都ルアンパバンへのボートツアー片道 1700B である。事故死もあった経路なので、結局妻の反対ありでエア利用となった。ラオエアで往復 5300B (1.6 万円)。

一時間でルアンパバン着。ビザ入手済だったので、空港では一人だけ先に出口へ出た。GH の客引きがない。タクシーコーナーで聞いた町まで 5 人で 5 \$ か 5500K だが他に誰も出て来ない。英語を少し話す人の良さそうな運転手を指名。古い青のトヨタで一人町へ。

無料ガイドブックの「スワンナプーン」しか持ってないので、記載の「ヘリテージ G.H.」に投宿した。一泊 FAN の部屋 10 \$、AC は 18 \$ なので遠慮した。FAN とシャワーだけのシンプルそのもの。捜せばもっとマシなのあるだろうが、雨模様で面倒と 2 晩 20 \$ 払う。翌日のタクシー半日観光 5 \$ を運ちゃんに依頼して、当日は街の散歩へ出てみた。

中々しゃれた町並み、フランス植民地の影響なのだろう。静かな田舎町でのんびり出来る。



ルアンパバンの街並み

子供が川で泳いでるのに見とれた。ピアーでチェンコンからのボート客を見た。子供連れもいるのにびっくり。聞いたらスローボート客だった。日本女性も発見で情報収集。スピードは死者も出るとかで危ない、スローは 6 時間でパクベーン一泊、更に 6 時間で LP と快適な船旅でお勧めだそう。

朝目覚めたら托鉢も終了した時間。例の運ちゃんと寺回り、ついでにパタナ・ボーパ骨董店

へ。若い女性主人が親の遺産を販売してるのだが、良品多い。革命時代をどうやってくぐり抜けたのか。珍しい樹脂製の仏像購入。パバータイ寺からのメコン川はすばらしい。時間あったので、メコン川を渡って、運転手の案内で対岸のシエンメン村へ。暑くて目的の寺への途中で村のレストランに入り、ビアラオ大瓶。運ちゃんもどんどん飲む。4 人の妻持ってて、最近結婚した妻は 20 歳、娘が 27 歳でビエンチャンの大学生とか、娘より若い奥さんにびっくり。

「PHONMMAVONGSA さん」020-670-153(国内),856-20-670-153(国際)

国立博物館、ダラーマーケット、更に 328 段登ってプーシーの丘から落日鑑賞。路上夜店で旧石器と口欠けの古壺を 2 \$ で購入。

貴重なツアー情報入手。LP→チェンコン：スロー (15 万 K、パクベン 1 泊で 2 日間)。スピード (25 万 K、パクベン 30 分休憩。8 時間)。朝 6 時からの托鉢見学の為早起き。シサバンボン通りから王宮横経由「SAYO・G.H.」(ここと隣の XiangMouane G.H. は 25 \$ だがお勧め) 前を通る。数十人の子坊主にカオニャオやお菓子等を渡す女性も疲れぎみ。6 時半には終了する。



旧王宮横での早朝の托鉢

帰国時 SARS に遭遇

メコン各国を巡ったステイを終え、チェンマイ空港からの帰国時にシンガエア機に乗り込んだら、前の客が SARS 被疑で緊急入院し診断中とかで機内で待機。N95 マスク着用と厳重な消毒。結局メイピン H に強制一泊。帰国後 10 日間は外出控え、家族からバイキン扱いを受けたが感染なしで約 2 ヶ月の旅を終了。

マニラのマンション購入余話

山口県在住 会員 No. 291 福田 修

購入余話 (1)

- もともとの話は「将来フィリピンのどこかでのんびりと余生をすごすのもいいな」ということだったのだが、途中ダバオとセブの金持ちを助けて現地人向けに5万人規模の新しい職場をつくろうとしたり(政治、経済情勢わるく停滞)、ダバオでタウンハウスを買おうと走り回ったりしたうえで、結局マニラのエルミタ地区のマンションを買う事で落ち着いた。さて吉とでるか凶とでるか。
 - 最近でこそ爆弾事件が発生しているが、それまでのダバオは極めて安全な街で夜中の23:30PMころ街の中を外人の私が一人で何度も歩いたが危ないと感じたことはなかった(小さな路地に入ったり、街中を出ると危険)。一方タウンハウスは交通至便、閑静で海水浴場にも徒歩3分だし、24時間警備員付きとほぼ理想的な物件だったが、結果的にダバオでの不動産購入をあきらめた。
 - その理由は次の通り。
 - タウンハウスでは土地所有を前提にしているから外人名での所有ができない。不動産会社はいろいろな提案をしてきたが私としては納得できなかった。なお外人が所有できるマンションがダバオにはほとんどない。
 - ダバオでは不動産売買市場がうまく機能していないため、一旦不用になったときに買主を見つけるのはかなり困難。建物の借主を見つけるのも相当に時間がかかる。所有するよりも借りるほうが賢明なマーケット。
 - 私は山口県に住んでいるから福岡空港を利用する。ダバオに行くには連絡便がないので必ずマニラで一泊はしなければならない。最初はそうでもなかったが、ダバオがだんだん遠く感ぜられるようになった。それならいつそのことマニラを本拠地にして、好きな場所に気の向くまま繰り出せばよい。
 - 4) ついでながらマンションなどをマニラで借りることは全く考えなかった。仕事が趣味でうまく遊ぶ事が苦手な世代の末節を汚しているから、私は風光明媚な観光地を巡るだけではどうも居心地がよくない。やはり現地の人々と直接ほんねで話をする機会を持ちたい。真剣勝負も試みてみたい。ならば自分が住むまでは現地のひとにマンションを賃貸すればこれが実現する。
 - なぜエルミタ地区のこのマンションか。
 - 自分の年齢を考えてみても、交通事情の悪さからもマイカーを持つ事は選択肢にない。飛行場にあまり近いとタクシーの乗車拒否にあい不愉快なのである程度距離があって商業の中心地にぎやかなのがよい。
 - マンションは床面積が160,000平米もあるショッピングセンターにガラス戸一枚で出入りできるから大変に便利。
 - 居室はいずれも38階建て建物の30階以上の高いところにあるので眺めがすばらしい。いっぺんで気に入ってしまった。マニラ湾も眼下に見えるし大統領が毎年、年のはじめに国民に向けて演説する広場も眼下だ。また上から見るとマニラは結構みどりが多い。商業地の反対側は最高裁判所や官庁、大学や大病院なので環境の面からみてもまあまあといえよう。勿論プールやジムなどもついている。ジョギングも楽しめる。
 - 余談だが不動産会社の社員と値段その他の交渉をしているとき「現金で買うのは全部で620戸売れた中で私が二人目だ」といわれ気が変わり、フィリピン式の買い方も試してみするためマンションを2戸買うことになってしまった。
 - ひとつは4年後に完成する物件を最初の2ヶ月で全体の20%を払う。残りの80%は58ヶ月の分割払い。値引き額もまあまあか。銀行の口座引き落とし制度が無いので先日付け

の小切手を切る。いまひとつは既に完成している物件ですぐにでも住める。一括払いに近いがこれも小切手を切る。

- 6) 後者の物件だが、完成してはいても当方の希望としては内装などかなりの工事が必要。大工さんや工事人を日本からどのようにしてコントロールするか、悩みの種は尽きない。

5. 書類が分厚いほどあるのに驚く

- 1) 日本でマンションの戸室を買う話の延長くらいに考えていたのでごく軽い気持ちで購入を決めたのだが、日本では考えても見なかったほど厳格で詳細な書類が準備してある。フィリピンでの風俗習慣や法制度が日本と違うからであろう。
- 2) まず売買契約書だがフィリピンで一般的な月賦払いの場合は契約書 (Contract to Sell) の雛型はあるが私自身はまだ署名していない。最初の 20% 分の支払いが終わってから正式な手続きが始まるという・・・(この表現は正しくない。私が一旦契約をキャンセルして戸室と営業グループを取り換えたため遅れた)
- 3) 日本なら銀行でローンを組んで相手には全額を現金で決済するところであるが、フィリピンでは貸付金利が非常に高いのでローンを組むなど全く考えられない。
- 4) 一方全額を一括払いするときの契約書は Deed of Absolute Sale という書式を使うがこれは日本で考える普通の売買契約書に近い(日本の不動産業界でどのような訳語を利用されているか私は知らない)。この場合は代金支払い後に直ちに登記手続に入る。同時に固定資産税やマンションの共益費の支払い義務なども生ずる。
- 5) この売買契約書には 5 ページにわたり細かい字で条件がいろいろと書いてある。内容の全てを了承したしるしに関係者全員が全ページにサインする。写しではなく本紙が 6 セットもあり慣れていないサインをするだけで私は汗をかいた。とにかくサインする箇所が多い。

- 6) 念のためこれら本紙を誰が保管してくれるのか聞いてみたところ関係者は次の通り。

売主、買主、弁護士、Registry of Deeds (法務局・・・私の推量による訳語、当局でどのような訳語を当てられているか私は知らない。以下同じ)、Municipal Hall (市役所)、Bureau of Internal Revenue (歳入庁)。

- 7) 契約書を交わす前には当然ながら予約保証金に関する覚書にサインしていなければならぬのだが、手続き上今回は 6 セットの本契約書二組と同時に署名した。
- 8) ところで書類の話だが、先ず戸室の権利書には官庁が発行した書類などいろいろとくっついているがこれは予想の範囲内。しかしマンション占有面積の割合による所有権をもつ土地関連の書類は本体があって説明書がくっついていて分厚いほどある。さらにマンション個室の修理施工時の注意書きが小さな字で 10 枚ほど。これら以外にいまからまだ受け取るマンション管理組合の規約や戸室利用上の規則や注意書きなどまだまだ書類があるのでもうたくさんと云いたいところ。
- 9) 日本と違いいろいろな国のいろいろの風俗習慣が身につけている人々が同じ建物の中で暮らすのであるからどうしてもこうゆう形をとらざるを得ないのであろう。
- 10) フィリピンの上流階級では料理、掃除、洗濯はメイドにまかせきりなので、少々手荒な事をして問題が起らないような設計になっていると聞いてはいるが、メイドの教育はお金もあり教養も十分足りている? 戸室の持ち主に頼っているからかもしれない。

6. 「自分流の楽しみ方」とあきらめ

- 1) マンション購入がこんなに大変とは思ってもみなかったのが今回は全ての決断を自分ひとりで行なった。値段や値引きも複数の業者と話をして相場を判断する一方、販売価格一覧表を確保し、丸秘でもなかろうと値引き一覧表を書き写しておいてからそれぞれ点検し

ながら契約にはいった。

- 2) 時価相場に比較してウンと安く購入できていないのは確かだが、ウンと割高な買い物をしたわけではなかろうと自分を慰めている。
- 3) いずれにしても二つの戸室とも部分的にかなりの額の代金を支払っているのもどりはできない。前進あるのみ。
- 4) ところで最終結論に到るまでに一つの戸室の契約をキャンセルした。こちらに一銭の損害もでないことを確認したうえでの行動であるが、先方のセールスマンがねばること、ねばること。
- 5) 予約保証金を全額返してもらう必要もあって事前に文書で通告済みであったが、先方は別の物件をいろいろと提案したり、上司をわざわざ呼び出し二人でまくし立てたりしてキャンセルを納得してもらうまで3時間以上もかかった。あんなねばっこい営業攻勢を受けたのは私の長い人生の中でも初めてに近い。フィリピン人もなかなかやるねえ・・・と感心。
- 6) これまでいろいろあって大変だったが、これからはもっと大変かも・・・と不安になることもある。でも不安があってもとにかく突っ走るのが私達の年代の宿命で自分流の楽しみ方であろうと思っている。さてどうなることやら？

購入余話 (2)

まだまだ前途多難で文字どおりどうなるのか予測もできないが、日本からのリモート・コントロールながらいまのところは順調に話が進んでいるようだ。完成済みの戸室は代金の支払いを終え、私の名前での登記を依頼して手数料も支払ったのでうまくいくであろうと期待している。

でも台湾の方のケースであるが代金支払い後6ヶ月も経っているのにまだ登記が完了していないという。私の戸室はすぐに手続きしてもらわねば困ると強硬に申し入れているのだが。一方4年のちに完成する戸室については毎月先

日付小切手により支払いが続いている。

なお全体計画では5個のビルを予定。

最初の2つのビルは2002.12までに完成。

新しい方のビルのごくごく一部が私のもの。

3個目のビル(以下未完成戸室と表示)も私は狙っているというわけだ。

そこでこれまでに入手した書類などで注意をひいた事項などをまとめてみた。

当然ながら完成済みの戸室を中心に述べる。

1. マンションの規模など

- 1) 38階建ての二つの塔状の建物で1階と2階は160,000 m²のショッピングセンターの一部になっている。
- 2) 総戸数の762戸がマンション管理組合を構成する。
- 3) 38階建てというが13階がないから正確には37階建て。
- 4) 私の戸室が一番狭い部類であるがそれでも39.42 m²ある。ついでながら4年後に完成する戸室はワン・ベッド・ルーム・タイプで48.27 m²。
- 5) 38階のペントハウスと呼んでいる戸室は270.21 m²もある。勿論女中部屋もついている。女中部屋は台所の奥にあって女中専用のトイレやベッドがついている。
- 6) プール(大人用と子供用各1)などは7階にある。ほかに3 ホールのゴルフのパット練習場、ジョギング・コース、サウナ、フィットネス・ジム、エアロビクス室、ゲーム室、アルコールがいつでも飲めるバー(室内、屋外)、子供の遊び場(室内・室外)などがある。
- 7) 販売価格一覧表を覗くと34階から36階までの欄がない。おそらく縁故販売物件なのであろう。だからというべきか、これらの階にある戸室を売りたいという複数の方からのアプローチがあった。
- 8) そのうちの一人が私に会ってもよいとのことなので夕食を一緒にする事になった。先方は医師でなかなかのインテリ。

大いに歓談、楽しかったが商談は不成立。
先生はカードで支払いを済ませてしまった
ので、そのままご馳走になることにした。

2. 未完成戸室の予約保証金約定書

- 1) 2003. 2. 10 保証金の半額支払い。
2003. 3. 10 残額支払い。
- 2) 2003. 12. 31 までに建物の建築作業に着手。
2007. 12. 31 までに建物を完成させる。
但し8ヶ月の猶予期間をもうける。
つまり遅くとも2008. 8. 31 までには建物が完成する。なお既存建物の取り壊し作業をまもなくはじめるとのこと。
- 3) 前項に拘らず、建物の予約販売額が全体の60%に達するまでは建設に着手しない。
この場合期限を延長するか建設自体をやめるかを事業者が決める。
- 4) しかし2003. 5. 25 現在で90%以上の戸室が既に売れてしまっているというからものすごい売れ行きだ。不動産会社は強気で2003. 4. 1 から10%アップと二回目の値上げをしている。
- 5) なお余話(1)で私は契約書に署名していないのに保証金を支払い、月賦の支払いもしていると書いたが、どうもこれは私が一旦契約を解除したのが原因らしい。
- 6) 販売員の社内で厳しい制約があって、お客の契約を解除させたくて自分の成績をあげることがないようにとのことらしい。
- 7) 従って会社内の書類上ではかなり複雑な手続きを踏んでいるようだ。つまり販売員の日本にいる親戚が黒幕で真の購入者だが全く表に出ない(実際にこの黒幕氏の署名がしてあった)。この黒幕が自分の代わりにセブ市在住の某氏(私が無理をいって書類に何度もサインしてもらったもの。すみません)に書類へ署名するよう依頼。ころあいを見計らってこの黒幕が某氏から代金支払い名義人である私に選手交代を命ずる・・・というわけ。
- 8) しかしうまくいったからいいようなものの、私もかなり危ない橋を渡ったものだとつくづ

く思う。

契約書も私宛の領収書も何も無いのに(販売員の手元にはある筈)マンション1戸分の全額ともう1戸分のかなりの額を既に支払ってしまっている。もしこの黒幕氏が私でなく別人を指名したら全部とられてしまいパー

- 9) しかも不動産関連話で大金をすった日本人の話がワンサとある国で、業者以外の現地協力者ないまま日本からのリモート・コントロールが長期間続くのだから・・・(2003. 2に代金を支払い始めて5月末までにはいずれも登記を完了していないし鍵もない。戸室の引渡しも受けていない)。
- 10) 万が一にも失敗したら物笑いの種だから現役世代ではまず私の真似は出来まい。
私は現役OBの年寄りだからこそスリルが楽しめた。これこそまさに年寄りの特権だろう。

3. 未完成戸室の売買契約書

- 1) インフレやデフレ、デノミなどでフィリピン・ペソの貨幣価値又は購買力に変動が生じたときには、そのとき以後の月賦支払額はこの契約が締結されたときのフィリピン・ペソの実質価値相等額に修正されるものとする。
- 2) 具体的には消費者物価指数が25%以上増減したとき、又はフィリピン中央銀行が発表する米ドルとフィリピン・ペソの交換レートが25%以上変動したときのことをいう。
- 3) 所有権を移転するときにはまずマンション管理組合に届け出てその承認を得なければならない。管理組合はフィリピン私人等の土地所有に関する法律等に違反しないことを確認する(契約書に数値の記載はないが外人所有部分は全戸室の40%以下に抑えなければならぬ由)。なお相続の場合だけは例外でこのような制約を受けない。

4. 完成済み戸室の売買契約書

- 1) 「(詳細をきわめた)書類に全部目を通し理解し、事業計画書や図面を十分に点検した上で当該戸室の購入を申し出ます」と契約書に明

記してある。これでは「書類のあそこを書いてある」と言われれば、当方はグーの音も出せないようになってる。

- 2) 当然ながら未完成戸室の場合とは違いインフレ条項はない。

5. その他の書類

- 1) マンション管理組合が各戸室部分を全て含めて新価ベースで火災総合保険を手配する。
つまり各戸室の所有者がつけなければならぬ火災保険は内装部分と家財のみということ。
- 2) 内装等工事施工時の遵守規則・・・によると施工業者は請負金額または500,000ペソ (@2.5 = ¥1,250,000) のどちらか高いほうの金額の請負業者賠償責任保険(オール・リスク)を管理組合が認める保険会社につけなければならない。
- 3) さらに施工計画書を提出すると共に金額20,000ペソの建設工事キャッシュ・ボンドを納付する。
- 4) 電気配線などは全て松下ブランドのIMC導管の中を通さなければならぬ。工事は全て戸室内で行ない廊下など公共の場所では一切行なわない。作業専用のエレベーターのみを利用し住民が利用するエレベーターは一切使わない。
- 5) 建物内では名札を誰にも分るように掲示する。建物入場時と退去時には全員所持品点検のための身体検査を行なう。
建物内では大声を出さない、卑猥なことばを発しない、居眠りしない・・・等いっぱい書いてある。これらが守られないと最終的には戸室の所有者が責任を負う。

6. 余話の余話

- 1) 余話(2)で大きな病院に勤めるフィリピン人のお医者さんと会っていろんな話をしたと書いた。現地にお住まいの皆さんには当然の事かもしれないが私にはどうも納得がいかなかったことがある。フィリピン人と私達の考え方や国情の違いからでしょうか。

- 2) それは医療費にかかる税金のこと。

患者は医療費の10%を税金として同時に支払わなければならない由。

一方医師は受け取った医療費の10%を税金として支払う義務があるという。

つまりフィリピンでは国民が病気をすれば国には自動的に治療費の20%が転がり込んでくるけしからんシステムだと先生は嘆いていた。

- 3) ただでさえ庶民は貧乏でいつも金がなくてピーピーいっているからこれでは病気もできない。保険制度も未整備だしまず保険料が払えない。病人が出たら家族はただ見守るだけというケースも多い。奥さんは病気になってからずっと狭い自宅に寝たままという友人宅を私は訪問した。気の毒と言うほか無い。

- 4) 税金というと火災保険や自動車保険に税金がかかるのも非課税扱いの日本とは違う。保険会社の事務所を見つけたので火災保険と自動車保険の約款をもらい、ついでに保険料もはじいてもらった。忙しい中支店長どものには申し訳ないことをした。

- 5) マンションの価格を3,400,000ペソ (@2.5 = ¥8,500,000) として試算、保険料は5,712ペソ(¥14,280)で付加価値税、税金、地方税、印紙税合わせて1,405.73ペソ(25%アップ)を加算するから支払い保険料は7,117.73ペソ(¥17,794)となる。

- 6) 一般庶民は大きな財産を持っていないから保険の必要をあまり感じないだろう。財産をもっている金持ちから税金を取る・・・ある意味では納得できる制度ともいえる。

- 7) でも保険の普及を妨げるし(自動車などでも皆さんあまり保険をつけないようだ) 一部の実際に事故に出くわした人は大変な損失を受けるからフィリピン社会全体として円滑な運営が出来にくいのではと心配だ。

以上

南国田舎暮らしの記 —フィリピン人と私—

フィリピン・ウルダネータ市在住 会員 No. 227 齋木 一

子どもとのつき合いはアイスクャンディで

この国の魅力の一つは物価の安い事ですが、そうは云っても日本より高いものもいくつかあります。自動車(国産車がない)やトイレットペーパー(古紙を輸入している為)がその一つですが、最大の問題は電気代です。家庭でのテレビの普及率は結構高いと思われませんが、その他の電化製品普及率はあまり高くないようです。電気洗濯機はメイドを使うほうが安いので、余り普及していません。また冷蔵庫も電気代の高さとスーパーでまとめ買いをする家計の余裕が無いので殆どの一般家庭にはありません。

人通りの多い道路に面して冷蔵庫を所有している家では、よく氷やアイスクャンディを作って売っています。どちらも1個1ペソ(約2,4円)で特にアイスクャンディは子供達の大好物です。妻の発案で近所の子供達へのサービスの意味も含めて、我家でもアイスクャンディを売る事にしました。普通の家ではコストを売値の半分位に抑えて作っているようですが、私達の場合は目的が違うので、メイドにコストは関係なく美味しいアイスクャンディを作るように指示しました。結局1個のコストが1,2~1,5ペソと売値を上回るようになってしまいましたが、大した出費ではないので、とりあえず1日30個作って売ってみました。近所で甘くて美味しいと評判になり、学校の休みの土・日は150個以上作っても売り切れてしまいます。今は最低でも1日100個以上は売れて、ちょっとした「行列の出来る店」気分を味わっています。

フリーザーの扉をひっきりなしに開けているので、モーターが加熱状態になってしまい、仕方なく平日は1日おきにしか作れなくなってしまう程です。それでも1ヶ月の売上は2000ペソ(約4,800円)以上になるので、この売上でメイド達へのクリスマスプレゼントを買う予定です。このアイスクャンディのおかげで、子供達の私を見る目も、「変な外人」から「やさしいオジサン」に変わりつつあり、この作戦は大成功を

収めたと言えます。

今皆で次なる手を模索中です。



美味しいアイスクャンディを買う子供達

フィリピン人のご主人は何でも屋

ここに越して来てからもう一年になるが、何かにつけて隣のご主人、ドウロのお世話になっています。彼はこの辺というより、この州の有力者カランチョ氏(我借家のオーナーでもある)の元運転手兼ボディーガードをしていたようですが、今はこれといった定職は持っていません。(カランチョ氏から土地を安く分けてもらい…と云ってもまだ土地代を払ってないので自分のものではない)やはりカランチョ氏の家でメイドをしていた奥さんのセニーと4人の子供、セニーの両親、弟夫婦と彼等の子供の計11人で住んでいます。奥さんのセニーは一時我家のメイドをしていてくれましたが、其の後小学校中の食堂を任され最近まで頑張っていました。しかしこれが上手く行かず、借金の返済がとど滞り夜逃げ同然でマニラにメイドの仕事をしに行ってしまったので、今はいません。

この国で面白いのは、借金をして返せず逃げたしまう人は多いのですが、日本と違って逃げるのは本人だけで、家族は関係無い様子で平気で住んでいます。家族が本人に代わって返済するという話もあまり聞きません。

我家では大工仕事があればドウロ、ペンキもドウロ、小さな車の修理は勿論、器具は別にして電気、水道の事から、あげくは犬の病気迄、今

ではすべてドウロ頼みです。ドウロの手に負えない時は誰か探して来て紹介してくれます。

このドウロへのお礼(日当みたいなもの)が、これまたすばらしく安いので驚きます。

1時間位ならP20(約48円)のタバコ1~2箱、半日ならP100(約240円)、1日ならP200(約480円)で済んでしまいます。家が隣なので食事の面倒もありません。こちらで生活する時は誰か一人でもこのドウロみたいな人が絶対に必要です。それとアンダー・ザ・テーブル(日本流に云えば袖の下)万能の国の為、顔が広い人と、何か問題が起こった時、相談する弁護士もいれば助かります。いずれにしても外国で生活する為には、その国の人の協力と友情が絶対に必要です。

フィリピン人を信じてはいけないのでしょうか

隣人のドウロの家はこの国には良くある不法建築、いわゆる無許可建築なので自分名義で電気の契約が出来ません。以前から私の借家から電気を引き毎月の電気代を私に支払っていましたが、約束の支払いが滞ったので、奥さんのセニーがマニラへ出稼ぎに行く時に自分で電気を切って出て行きました。水も井戸水をモーターで汲み上げていたので、これも井戸ポンプに切り換える事になっていました。小さい子供もいるので、私の妻が余り可哀想だと電灯1個だけは無料で使用してもらっていました。

ところが同居しているセニーの母親が中々のしたたか者で、前から注意はしていたのですが、1ヶ月にわたってモーターポンプを使い水を使用していた事が判明しました。ドウロとは色々助け、助けられの関係で、このバヤワス地区に移って出来た大事な友人の一人だと思っていただけに私にはかなりのショックでした。親しい友人のA氏はもともとフィリピン不信論者(といっても彼の奥さんはフィリピン人ですが)で、何でも疑ってかかった方がいいと良く話していましたが、私は彼と異なり、フィリピンで、フィリピン人の中で生活したいという願望もあり、信じる事の出来るフィリピン人を見つけ、その助力や助言によって楽しい生活を送ろうと考えていただけに、今回の件はこれからどうすれば

よいのかももう1度見直す機会となってしまいました。しかし私はもともと日本にいた時から「人を騙すよりは騙された方が良い」と常に思っておりましてので、結局これからも以前と同じような考え方で人に接して行く事にしました。

とは云うものの、あまり甘く見ると大変な事になり兼ねないので、より慎重にチェックしてこれからの人つき合いをして行こうと多に反省しました。ドウロとはゆっくり話し合い、お互いの友情関係を続けて行く事で合意し、またこれから時々一緒にモーニングコーヒーが飲めそうです。

教訓、「友情は時に綻びが生じて長い間かけて繕い培って行くもの」です。



市唯一のモール「マジックモール」

フィリピン人は借金上手?

余り豊かでない生活をしている人が多いこの国では金の貸し借りは日常茶飯事で、その為のトラブルも多いようです。

私もびっくりしたのですが、ファミリーの人からお金や物を「貸して」と云われたら、それは「頂戴」の意味と同じだそうで、日本のつもりでファミリーだからと簡単に考えて貸すと後が大変です。「早く返して」等と云おうものなら、途端に相手は不機嫌になってしまいます。「頂戴」と云うのが恥ずかしいから「貸して」と云うのであって最初から返すつもりが無いからです。定職を持たない人が多いこの国では借金はよくある事で、そんなに恥ずかしい事では無く、生活していくうえでは当然の事のように思っています。借金をする為の理由は実に様々です。聞いていると「もったも」と思う事もしばしば

で、大概是簡単に返せるというような事を云います。例えば海外から送金があるとか、他の人からの借金が決まっていた、それまでのつなぎとか、何かを売るまで…と云うように。しかしいざ金を借りると中々決まった日までには返しません。借り手の方が強くなり、返せない理由も様々です。余り強く催促すると怒りだし、時には刃物まで飛び出す物騒な話も聞きますので、返してもらうのも容易ではありません。

この国には小さな町にもどこにでも銀行の支店があるほど銀行が多いのですが、一般の庶民には無縁の存在です。口座すら持っていない人が多いのですから。また、銀行に寝かせておく金など無いという事と、預金残高が少ないと毎月手数料を取られる事も大きな理由です。

一般の人は日本の質屋にあたる「ポーンショップ」や高金利の「ファイブ・シックス」を利用しています。ポーンショップの仕組みは質屋と同じですが、ファイブ・シックスは担保無し、保証人無しの貸金業で、1ヶ月20%程度の高利です。P500～P200(約1,200円～4,800円)位の借金をする人がこれを良く利用します。私の妻も一時頼まれて貸していたのですが、返済がよく滞るので止めてしまいました。賢明な判断でした。

フィリピン人は皆ブローカー？

久しぶりに何の予定もないので、ゆっくり休養しようと思っておりましたが、とんでもない事で大変な1日になってしまいました。

そもそも先日、妻が何気なく隣人のローズ夫人に「空家にしている自宅が今どの位の価値があるのだろう」と話した所、その話がいつの間にか売りたいという話に変わってしまい、同じ敷地内の妻の両親の所に不動産屋が4人も訪れ、「すぐ売れる」ような話をし、写真を撮って権利書？の写しまで要求したので、びっくりした妻の母親が何度も携帯にメッセージを送って来て、妻もパニックに見舞われてしまったからです。結局、夜帰ってきたローズ夫人に「売る気はない」と伝え、一応一件落ち着いたようですが、何でこんな事になったのかをローズ夫人に問い正した所、夫人は隣家に住む甥に話し、甥は知人

の不動産屋のセールスマンに話をつなぎ、この辺から「うまい話で手数料が稼げる」という事になったらしく、あつという間に不動産屋達の噂になってしまったようです。

この国ではこの手の話が多く、家や土地ばかりではなく、ちょっとした家電製品でも「売りたい」とか「買いたい」という話を誰かにすると、あつという間に色々な人が来て「買いたい人がいる」とか「探している物がもう見つかった」という話を持ち込んで来ます。本当はまだ何も動いてないのに取りあえず「私に任せなさい」という事にして、その後で他の人に「この話は自分を通さないとまとまらない」と伝え、他人からの情報で手数料を手にしようとするやり方です。高額なものの場合には間に何人も人が介入する事もあって、気をつけないと、特に外人の場合損をする事になります。

今回の儲け話が無くなってローズ夫人はがっかりしたようでしたが、中々やり手の夫人の事、また直ぐに他の「うまい話」を持ち込んで来ることでしょう。

日比で全然違うファミリーの定義

日本ではファミリーというとはっきりした定義は無いにしても、せいぜい祖父母、父母、兄弟、自分達の子供、それに孫位迄のどちらかという縦の系統を指していると私は思っているのですが、こちらでは血がつながっていればどこまでもファミリーで、当然いとこや、またいとこ迄含まれます。兄弟が10人以上いても不思議はないこの国で、横にどんどん広がって行ったらどんどんファミリーは大きくなります。100人以上ファミリーがいてもおかしくありません。聞いた話ですが、バギオのCさんは、前いたメイドにファミリーを一度家に連れて来るように云ったところ15人も来てしまい、泊まらせる為に別の別荘を借りた事があるそうです。この国の人達はファミリーが遊びに来たら食べさせてあげ、帰ると云うまで泊めてあげるのが普通らしく、やはり知人のAさんもファミリーの一家が9人で10日以上もいて参ったと話していました。私は前から妻にも妻のファミ

リーにも親戚付き合いは日本流でやると云ってありますので、今回も何人かの子供だけは泊めても良いと云いましたが、結果はどうなることやら。

メイドが一人やめました

年1回のクリスマスボーナス後はメイドがやめる時期だと聞かされていましたが、我家でも昨年のクリスマスに1人のメイドがやめました。妻の叔母のローズです。娘のナオミが1才半を過ぎてよく動き回るようになり、45才のローズではベビーシッターが重荷となっていたようです。併せて私の妻とローズの長女との不仲や、クリスマスイブの日にローズの次女と別のメイド・リンダとの些細なもめ事等が重なって、急に決まりました。言葉の問題などもあるのでメイドの事は妻の範疇として来ていましたが、私が見ているとローズはやる意欲を無くしていたように見え、無理かな…と感じていましたので、妻から話があった時は「引き止めなくていい」と指示しました。

やめる事が決まった後、他のメイドから色々な話が出て来ました。ローズだけは住み込みでなく通いだったのですが、私達の見えていない時に色々自分の家に持ち帰っていたようで、クリスマスイブの日には来客用に用意した料理を最初から自分が持ち帰る為に分けておき、客が増えて料理が足りなくなって来ても知らん顔をし、追加の料理を買いに行った…という事まで判明し、さすがに妻も完全に切れてしまいました。

私物をまとめて出て行く時に、通いのメイドでありながらポストバッグの他に大きな買い物袋5つも持ち出したので、妻は自分達の物がその中にあるかも知れないと疑っていましたが、叔母であるだけに荷物のチェックまではしませんでした。メイド達にとっては価値のあるものでも私達からすればたいした物ではないことが多いので、気にしないことにしました。

残った二人のメイドも動揺し、やめたいと言いつつ出しましたが、妻が説得して引き止めました。あの忙しい時期にメイドが皆いなくなったら大変でした。しかしメイドのテスは別居していた

夫が帰宅し、夫の実家に戻る可能性もあるので、余り安心出来ません。またメイド探しをしなくてはいけないと思うと気が重くなりますが、皆が経験していることなので仕方がないでしょう。

誰が働いているの？誰が食べさせているの？

今住んでいるバヤワスはウルダネータ市では旧市街の住宅地とも云うべき所で、高級住宅地ではないがまあまあ家が揃っています。

この州の有力者カランチョ氏をはじめ、この町の有名人の家も数多くあります。

毎朝我家のテラスから前の道を見ていて不思議に思うのは、日本で見慣れた出勤風景が全く見られない事です。朝この道を通って行くのは学校へ行く子供達だけで、大人は男性も女性も殆どが家にいます。サリサリの前は早朝から買い物でてらの大人達の井戸端会議ならぬサリサリ前会議で大賑わいです。男性も加わってのサリサリ前会議は延々と止まる所を知らないように続きます。テラスから見える何軒かの家で定職を持っているのはサリサリを営業している人達位で、他は余りいないようです。

この辺の人達は小さな田畑を持ち、自分達の食べるものはそこで作っていて、多少売ってもいるようですがそれだけで大家族が生活出来ているとは到底思えません。本当にこの辺の人達はいつ、誰が、どこで、何をして働いているのか不思議です。畑仕事が忙しい時は手伝う人を雇いますが、日当は100ペソと食事位だと云います。大工は日当200~250ペソになりますが、1年のうち半分を占める雨期には殆ど仕事は無いようです。皆どうやって家族を養っているのか、今のところ良くわかりません。

とは云っても、彼等は彼等の方で私の生活を同じように見ているようです。年金生活など余り縁のない彼等には、殆ど1日中家にいて、何の仕事もせず、出かけるのは買い物くらい、それでいてメイドが3人もいて車もある私の生活は、当初ヤクザ（この言葉はこの国では有名な日本語）か、麻薬の密売でもやっているのではないかと思っていたらしく、ようやく1年過ぎた頃にどうも悪い事はやっていないらしい…と信用

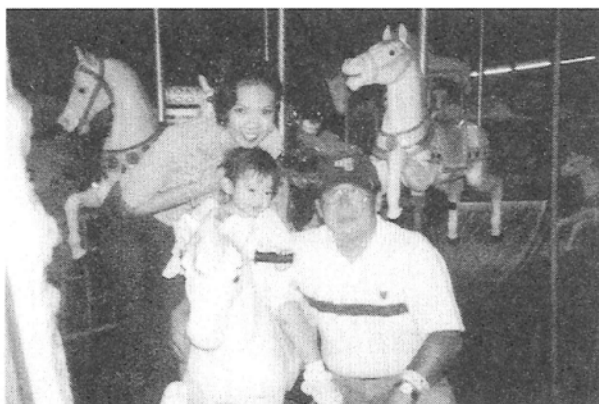
されたようです。

時々テラスから毎日顔を見ていた人が急になくなります。聞くとどうもマニラの方へ長期に出稼ぎに行っているらしく、仕事らしい仕事はマニラにしか無いようで、すごい一極集中がこの国の特徴の一つです。

デイケアセンターのクリスマス

去年の9月から近くのデイケアセンター(日本の保育所のような所)のお手伝いを少しずつしています。去年のクリスマスにパーティーをすると聞いて、妻が子供達全員に簡単なクリスマスプレゼントを贈る事にしました。

人数が61名ということだったので、これは大変な事になると内心ヒヤヒヤしていましたが、妻の発案で子供用の石鹸とタオルのセットに決まりました。石鹸が12ペソ、タオルが13ペソ、クリスマス用の包装紙やカードを全部含めても2,000ペソ(約4,800円)以内で用意出来ました。考えてみれば日本で一人の子供へのクリスマスプレゼントの予算で61人分のプレゼントが出来るのですから、この国の物価はやはり安いのでしょう。以前から少しずつ、内部の壁のペンキ塗り、テーブルや棚の修理、新しいキャビネットのプレゼント等、毎月約1,000ペソ(2,400円)の予算で続けて来ましたが、今後も出来る範囲で手伝って行こうと思っています。



私の家族

長生きしたいですね

このバヤワスに移り住んで1年が経過した去年の11月頃から、妻がしきりに空家になっている同じこの市のピンマルッドポッドにある我家

に戻りたがるようになり、丁度2年になる今年の11月迄に帰ろうと私達の間ではほぼ決めています。妻がメイド達にも話しているので、近所の人達にもその話は伝わっているようです。今朝、我家の前にあるサリサリの奥さんのリナさんが急に、私達が今住んでいる借家を買ってずっとここに住んだらどうかと云い出しました。150万ペソ(約360万円)で売りに出していた事は入居の時点で知っていましたが、敷地200㎡、建坪100㎡はどちらも私達の希望に比べ小さすぎるので、この場所を気に入ってはいるものの買う積りにはなれません。どうもリナさんは私達にずっと隣人でいて欲しいようです。

ここに移り住んでから心がけていた近くの子供達と仲良くすることや、少しでも隣人達の手助けになるように配慮していたことがここに来てようやく実を結んで来たようです。

日本での年金生活では自分達の最低限度の生活レベルを維持して行くのがやっとで、とても他の人を援助したり地域に貢献するなどという事は難しいですが、ここでは年金でそこそこの生活をしながら多少のお手伝いをする事が十分に可能です。例えばクリスマスのシーズンだけを考えてみても、近所の人に楽しんでもらうよう家の外にイルミネーションをつけ、デイケアセンターの子供達にクリスマスプレゼントを届け、学校の校内食堂の経営に失敗して借金に苦しんでいる隣人のドウロには余り必要のない仕事でも頼んで日当を渡し、クリスマスキャロルを歌いに来る近くの子供達50人位にクリスマスプレゼントを用意し、子供達の為に赤字で売っているアイスクャンディをいつもの倍の量にすることなど…出費を余り気にしないでも出来る事が沢山あります。

私がまだ50才位の頃は、仕事もやりとげ、することもなく年金生活を送るのであれば、長生きをしても余り意味がないので人生70才位がいいと考えていましたが、今は全く違います。私が長生きして年金生活を続けることは、私自身やファミリーの為ばかりでなく、私のまわりにいる人にも大事なことだとわかったからです。出来れば85~90才位迄生きていたいですね。

糸の切れた凧

東京都在住 会員 No. 101 高澤弘晃

はじめに

人はみな他人に言えない悩みがある、でも何かを知りたい、知ってもらいたい、そうでなかったら耐えられない、いつもこんな人生でいたい、なんてかっこよく、歌の文句みたいに生きていきたいが、事實はそうはいかない、悩みの連続である。小生もご多分に漏れないしがない一人の人間であり、それなりに一人前の悩みを持っている。自分自身、人生、家族、そして仲間、いろいろあるが、その悩みがこの南の会のメンバーを通して、また、考えが共通であったらありがたい、と考え自分の思いを書かせていただいた次第である。

特に一番大きな問題は私の年代、いわゆる団塊世代もそろそろ定年の時代に突入、その先をどう生きようかということである。あまり大きさに考えているのではないが自分に悔いなく、自分が後で考えたらよかった人生だと思いたい。そんなこれからをすごそうと考えた。

幸いなことにこの南国暮らしの会をとおして「セカンドステージ」という仲間を見つけた。第一の人生、それは仕事一筋、家族一筋の時代であった。小生も36年間会社務めをしてきた。この後定年まで2年ある、もう少しがんばろう、と思った。

しかし、逆に今が人生で一番大事なときではないかとも思ってしまった。この2年が貴重だ、できたら自分のために使いたい、と自分勝手に理論付けてあっさりこの3月末で退職してしまった。まあ身勝手かもしれない、結論は後で出る。後は勢いである、とにかく自分の思ったことに突っ走れ、自分のセカンドステージがスタートしたばかりだ、早く自分にしたいとことをする、職安に行くのもそっちのけで旅に出してしまった。

かっこいいことを言っていたが、やはり糸の切れた凧である、全く無鉄砲である、どこに行くのか、全く風任せ、人任せ、取り合えず、この会の発祥地である。フィリピンからスタートし

よう、そして人の出会い、人とのふれあいを味わってみよう決心したしだいである。



ハローウィークの祭り

マニラの生活

前置きは長かったが要は自分勝手な旅行である。4月18日、マニラに着いた、相変わらず車の粉塵と35度を上回る暑さ、それといつもの光景、飛行場の玄関で迎えの人、人、1日中待機している、暇なやつらばかりだ。たまには仕事をしろ、といいたい。でも彼らにも目的があるのだろう、こちらは全く目的がない、こっちの方が問題かもしれない、今日泊まる宿の確保にまず友達を訪ねる、とりあえず泊めて欲しいと頼み1週間も世話になった。小生朝は早いですが太陽が出てくると共にとにかく暑い、やはり南国、もちろん一晩中クーラーは回っているが途中で消えるとこれは悲惨である、ここに住んでいる連中はほとんどクーラーなんかはないはずだ、よく生きているよと勝手に想像する。更に家の中までヤモリは入ってくる、これは益虫だから大事にというのが最初はなかなか難しい、捕まえて追い出してやろうとしたが絶対に無理だとにかく逃げ足が速い、ゴキブリは外の草むらに食べ物を投げるとびっしり集まる、うじゃうじゃ、家の中では砂糖を少しこぼすと白蟻がびっしり寄ってくる、人間は共存共栄でなきゃと納得する、やせこけた犬があちこちにいるえさ欲しさに何匹も尻尾を振って寄ってくる、この

野良犬もそれなりに生きる術を知っている。

こちらの人は飢え死にならないというが犬もそんな感じだ、良くできた国だ。水道は夜の1時から4時まで給水されてそれ以外は全くでない。それではどうするか、簡単だ、みんな一斉に夜中の1時になると水道の蛇口を開けてタンクに水をためるしかない、だが水の勢いが弱いちよちよちよち1回タンクを満タンにするに3時間たっぷりかかる、これもいい仕事のひとつである。生活習慣となればなんともないのだろう、どこかの国だったら考えられないがこれが当たり前の国だ、文句言うのが悪い、水が夜自動に出るだけでもありがたいと思え。

洗濯をしてもらった、全自動洗濯機である、友達が奥さんのために奮発したらしい、これで重労働から解放されると思うのが我々の考え、洗濯機に衣類をいれ洗うが洗い終わると、途中ですぐ洗濯層から洗物を出し、石鹸つけてごしごし水ですすいて乾している、確か、これ全自動洗濯機のはずだが、聞いてみればこちらのほうがいいとのこと、なんで……。

洗濯物は半日で乾燥する、すぐアイロンをかけてもって来てくれた、よく見たら全てにアイロンをかけてある、当然小生のパンツまでアイロンがかかっていた、ああ次回からパンツは自分で洗おう。

タクシーにのる、必ず事前交渉、メーターで行ってくれと頼む、だめなら乗らない、この繰り返し、現地人だけなら問題ないが我々日本人がいると必ずプラスアルファを請求する、どうせチップを渡そうと思っていたのだが最初に決められたのかと思えば安心か、でもこれもどうもシャクだ、善意のタクシーいないのか、でもそれを捜すのが至難の業だ。

フィリピン人は必ず日本人は金持ちだという、だからみんなに恵むのは当然だという「そう例外もあるじゃない、そんな日本人はどうするの」「それは日本人じゃない、日本人は金持ちだ」ですって、ほう私は日本人ではありませんか、一応日本のパスポートを持ってきたのに……。

ミンダナオ島、ダピタン

ミンダナオ島の北に位置するダピタンについて、金持ちのマニラから取り残されたようなところだ、フィリピンで一番有名なホセリサルが島流しにあったところというくらいの田舎街ダピタンに滞在、当然貧乏を絵に描いたようなところである、小生はこの学生たちに授業料を支援している、私の支援している学生はスクーター（不法占拠者）の家であった、全体がバンブーハウス、高床、雨が降ると地面は水浸しになる、トイレは外、半日もあれば簡単に作れるような家だ、中に入れば天井から空が見える。



ダピタンの子供の家

「涼しくていいね、雨降ったらどうするの」「雨の来ないところに寝るだけ」返事も簡単、作りも簡単、でも家族9人、子供7人、よく作ったものだ、子供がごろごろ、どこへ寝るのか心配になる、将来の家族計画を立ててのことだろう、それとも将来の稼ぎ手への投資か、父親はトライシクルの運転手、母親はハウスキーパー、貧乏人は決まりきったような職業である、年収8万円以下、これで十分やっつけていけるのか、悪いとは思ったが何もないので私の着ていた洗濯前のTシャツをお土産においてきた。そしてその学生たちが言う言葉「アイ アム プアー」解っているよ、でも言わざるを得ないのか、この国の90%以上はこんな人たちである、何とかならないのか。貧困の世界。

セブのパーティ

その足でセブに来た、南の会の皆さんと合流

するためである、久しぶりに会って夜は鈴木さん主催のパーティ、庭に大きく広げたテーブル、食料はたっぷり、勿論 ケータリングサービスにて安く提供されている、出席者だけでは十分に食べきれなぐらいの量である、30人ほど集まり、交流を暖めたしだいである、更に興に入ってくるとゲームの開始、日本ではかっこつけていたおじさんもおばさんもここでは単なる中年のおじさん、おばさんが他愛もないゲームに興じている、小生もその一人に加わる、ここにかっこつけてもしょうがない、椅子取りゲームとか、ひとつのスイカを男女ペアで早食いとか、まあ結構夢中になれる、ここセブだからやれるのかもしれない、日本に帰って同じことをしようといっても誰もしないのではないか。やはりこれがいい、すべてのしがらみを忘れ、一服の清涼剤を求めているのが一番である。



誕生パーティー

更に2日後現地の華僑系のフィリピン人のパーティに会のメンバー全員で出席、主役は1歳ほどのお孫さんの誕生パーティ、まあ子供さんのささやかなパーティーに我々が華を添えるくらいと思って参加、ところが会場には200人を超える人たちが出席、日本の普通の結婚式よりもはるかに派手である、演壇には司会者が音頭とり子供たちがゲームに興じている、勿論みんないい物を着ている、Tシャツ1枚なんてのは一人もない、それを本職のカメラマンがビデオ撮影、専門のコックが絶えず料理し山ほどある、いいものがどっさり。風船が各テーブルに一つづつ揺れている、よく見るとその風船にまで子供の名前が書いてあり祝っているのだ。

いや～フィリピンの金持ちはこんなことまでするというのを始めて知った。金持ちの世界、小生には無縁の話だ、「この国は何でもありの国ですよ、何でもできます、何でもあります」という、でもそれは特権階級だけの話、今、少しわかったような気がした。

フィリピンの田舎

ウルダネータという町を訪問した、会のメンバーがここに住んでいる、マニラから車で北へ約4時間高速道路も使ってだから結構な距離がある、緑豊かなのんびりした田舎町にきて何か安心感ある、ほっとする、今までフィリピン国内の色々なところを訪ねてきたが、なんでもありの世界から少し人情ありの世界に来たようだ、その小さな町に住んでいる斎木さんはキャンデーを作ってそれを町の子供たちに1ペソで売っている、勿論金儲けのためではない、原価が倍以上もする、味はなかなかうまい「このキャンデーを売って近所の人達との交流を図るのが最大の目的ですよ」という、やはりこの国に住んでいくには如何に隣近所と仲良くなるかであろう、でも国の違い、生活習慣の違い、考え方が大きく違う、貧富の差が大きくあるこの国でうまく生きていくには容易でない、独自のノウハウが必要な気がした。

バギオのゴルフ

気温35度の下界から2時間ほどかけて地上1500メートルのバギオに来た、突然10度下がる寒いくらいである、山あいの崖っ淵にくっついたように汚い家がびっしりある、今にも下に崩れ落ちていきそうだ、10年ほど前に大地震があり多くの人が死んだと聞いている、確かにおきな地震があればひとたまりもない。

こんな急な傾斜地によく家を建てたものだと感心しながら昇っていくと、今度は突然平らになり、公園があり、フィリピン特有のごみごみした普通の町が見えてきた、でもこれがフィリピンの軽井沢かよ、と疑っていると、今度は一変して松林の中に大きな家がポツリポツリ高級住宅である、夏の間だけ開く大統領官邸もあ

る、まさしく夏はここがフィリピンの首都である、この国はとにかく差がありすぎる、中間層がない、日本のイメージとは程遠い。

バギオカントリークラブという、ゴルフ場の中にあるホテルに泊めていただいた、これまた、きれい、何でこんなにきれいなのか、またまた金持ち階級の別世界である、松林の別荘の住民、所謂特権階級だけのゴルフ場である、2日間もゴルフをしてしまった、イヤやはり金持ちの世界は住みやすい、全部自分が主役の世界だ、でもお金もこれに比例して出て行く世界、

フィリピンに住むには金持ちでなければだめか。フィリピンの短い1ヶ月間の旅行であったが普段見られない貧富の世界をたっぷり味わってきました。

メーリングリスト・ミニ情報

インターネット委員会の古河です。

何人かの会員の方から「過去ログの見方を教えて」との要望がありましたのでお知らせいたします。南国のメーリングリストは「Yahoo!のeグループ」を使って運用されています。高澤さんが2000年9月6日にテスト運用を開始した時からのすべてのメッセージを見ることができます。6月12日時点で3346のメッセージがあります。ただし、ウイルスは管理人が削除しております。特に最近入会された方は一度ご覧になってみてください。

さて。過去ログの見方ですが、

1) まず「Yahoo! eGroup へのユーザー登録」が必要です。南国 ML は「Yahoo! eGroup」を使用している関係です。無料で登録できます。皆さんがメーリング・リストで使っている ID をそのまま登録することをお勧めします。

<http://www.egroups.co.jp/register> で登録します。いったん登録 ID にメールが送られてきますが、指示に従ってユーザー情報、パスワードを入力します。

2) ユーザー登録が済んだら

<http://www.egroups.co.jp/group/nangoku> へアクセスし、登録した ID でログオンします。

3) ログオンした後、左の欄のメッセージをクリックすると過去ログを参照することができます。他に「共有ファイル」には、今までの会合の写真などがアップロードされています。何かわからないことが出てきましたら当 ML で聞いてください。

メーリングリスト・ミニ情報

高澤 弘晃さん！ネグロス島も有りますよ！こちら 大橋 (No12) です。

大変ご無沙汰しています、糸が切れた気持ち良く分かります。

日曜の夜、明日は何の会議があったかとフーと考える事が有りましたが、無いのが分かり開放感がありましたが、今は当たり前の生活です。メールを拝見しましたので、ご無沙汰メールとフィリピンでノンビリ出来る所を御案内しますので、覗いて下さい。

場所はネグロス島オリエンタル DUMAGUETE (ドゥマグエテ) です。

南十字星村が有ります、日本人が開村して半年経っていない新しい手作りの隠れ家の様な小さいリゾートです日本人は若い (!) 女性です、他は現地の若いスタッフです。場所は Maayong Tubig, Dauin, NEGROS ORIENTAL

Tel&Fax No 035-422-5505

Tel No 035-425-2331

携帯 No 091-9647-3467

マニラからエアー又はセブからオーシャンジェットで2時間30分位でした、スーパーキャットも有りました。電話したら港、空港までジブニーで迎えに来て頂けます。港からダーウインまでジブニーで40分位でした。

村長は「KOTANI MASAKO」さんです。

メールは英語又はローマ字に成ります、ホームページは後でなら連絡出来ます (捜す必要有りますので) 日本に連絡する方法も有ります。(メール、電話、Fax) 又ここはフィリピンでの学園都市でも有ります。南の会員は特別価格にして頂けます。! I hope you enjoy your journey! では又再見 大橋 績

マニラの高沢さん

108の八束です。ネグロスのドマゲッテイ通過される時は港から直ぐ近く左方向海岸通りあるきはじめたところ、レストランとバーのある Coco Amigo にお立ちよりください。できたらオーナーのマイケルを呼んで私タダシの紹介できた、と伝えてください。オーストラリア人ですが沢山情報をもっています。島でのんびりもできる。八束は日本人も読めない。タダシでわかる。その2・3軒先のラ・レジデンシアというホテル私はよく泊まる。大橋さんご紹介のところもいいようです。どちらでも。ドマゲッテイはセブより物価もやすくスリもない。私の好きな文教都市。マルコスの時代バコロドまで急行バスで7時間かけて走りました。

南の空から情報宅急便

(南国メーリングリストより)

旅先やロングステイ地その他から色々な情報が届いています。

南国外食注意情報

586 番 磯崎さん

現在人気ある南国は亜熱帯地域で物価の安い地域ですが、当然伝染病食中毒系、虫刺され(マラリア、脳炎)等の注意が必要です。

フィリピン

- 細菌性赤痢、アメーバ赤痢 ○マラリア
- B型肝炎 ○A型・E型肝炎 ○デング熱
- 狂犬病 ○コレラ ○日本脳炎 ○エイズ
- 食中毒 ○フィラリア症 ○破傷風
- 腸チフス、パラチフス ○リーシュマニア症
- 寄生虫疾患

◎2001年、全国の空港検疫所でフィリピンから帰国した旅行者6名から赤痢菌、212名から食中毒菌、1名からデング熱が検出されています。また、感染症発生動向調査によると国内でフィリピンから帰国した旅行者からコレラ患者9名、赤痢患者17名、腸チフス患者2名、デング熱患者6名が報告されています。(国立感染症研究所：感染症週報より)

◎ハロハロ：果物、氷、牛乳で作ったデザート。ホテルやレストランで出されるものであれば問題ありませんが、不衛生な屋台などのものは注意が必要です。(フィリピン)

◎アイスカチャン：日本のかき氷のデラックス版。暑い時にはとびっきり美味しいのですが屋台はもちろんのこと、ホテルやレストランでも食べるのは避けてください。食中毒菌に感染する恐れがあります。(マレーシア)

◎アイスクリーム：フィリピンのアイスクリームは美味しいと言われていますが、不衛生な屋台などで出されたもので下痢した人がおり、赤痢や食中毒の心配があります。なお、冷凍されたものでも細菌は死にません。(フィリピン)

◎果実とジュース：カットされて出される果物は、ホテルやレストランでも避けるほうが無難です(自分でむいた果物は大丈夫)。また、不衛

生な露店や屋台で切売りされている果物はちょっと危険です。赤痢や食中毒の心配があります。(共通)

タイ

◎2001年、全国の空港検疫所でタイから帰国した旅行者1名からコレラ菌、40名から赤痢菌、948名から食中毒菌、3名からデング熱が検出されています。また、感染症発生動向調査によると国内でタイから帰国した旅行者からコレラ患者4名、赤痢患者57名、腸チフス患者1名、デング熱患者3名が報告されています(国立感染症研究所：感染症週報より)。

マレーシア

◎2001年、全国の空港検疫所でマレーシアから帰国した旅行者3名から赤痢菌、48名から食中毒菌が検出されています。また、感染症発生動向調査によると国内でマレーシアから帰国した旅行者からコレラ患者1名、赤痢患者3名、熱帯熱マラリア1名が報告されています(国立感染症研究所：感染症週報より)。

各国共通

生もの：日本の食習慣をそのままに現地に持ち込んで刺身・生の貝などを食べるのは、たとえ一流レストランや高級ホテルであっても非常に危険です。新鮮に見えても食中毒菌、コレラ、A型肝炎に感染することがあります。キニラウ(魚介類のたたき)も危険です。ご注意ください!

◎生水・氷：都市での水道設備は整っていますが、どの水が安全か、旅行者はわからないので、飲まないのが賢明でしょう。

破傷風は診断つく頃は救命できませんので追加ワクチンを。

余計な繰言でしょうが、和食、生魚貝、氷に注意、蚊の予防を寄生虫、性病関係は省きました!

ゴールドコーストの英語学校 18番 木村さん

ゴールドコーストは英語を勉強したい人には適したところ。英語学校はたくさんあります、がその費用も結構かかります。

英語の学習は学校に通う、個人教授に自宅へ来て貰う、また先生方に行って学習する方法があります。リタイヤのロングステイヤーは一部にはかたくなに日本語のみで生活している方もいますが、ロングステイヤーの多くは個人教授から学習している人が多いようです。

しかし、個人教授では、友だち感覚になってしまい、進歩が遅いかもかもしれません。個人教授の授業料は1時間あたり15A\$〜25A\$位です。英語学校で勉強しているのは、ワーキングホリデービザでの若い日本人が多く働きながら、英語の勉強をしているようです。

英語学校には、政府公認のもの、非公認のものがありますが、公認の英語学校のカリキュラムは概ね同じです。

公認の学校で代表的な学校は「TAFE」といい、リタイヤビザ、と観光ビザの人に与えられた授業の期間は12週までと決められています。最初の4週間は続けて受けなければなりません、それを過ぎると1週間が最低単位になり、ゴールドコーストを訪れる度にでもよくなります。しかし、1年間で12週を消化しないと2年目はまた入学金一人150A\$を納めねばなりません。「TAFE」は熱心に英語を身につけようとする外国人（日本人も外国人）には適していますが「難しすぎる」とか「疲れる」とか、兎も角生活に必要な最低の英語習得を目指す人には適さないと言う人もいます。

私が前述の日豪プレスで聞いたところ「TAFE」の場合、This is a pen から出発する、初歩（私達）が、「テレビの英語のニュース、映画などを英語で理解出来る」までには1年みっちりやらなければ駄目でしょう。12週だけでは、1〜6段階のレベル2に進めるかどうか？ という程度だろうとの意見でした。

公認英語学校がきつすぎる年言うロングステイ

ヤーは民間の学校に行くか、遊びの時間の合い間に個人の先生からレッスンを受けています。

ゴルフ、魚釣り、旅行、など楽しいことがたくさんありますから、英語のことは次第に忘れてしまう気持ちもわかりますし、それはそれで、結構暮らしていけるものです。

日豪プレスの英語学校紹介オフィスの方の話では、英語をマスターするとオーストラリアの生活が180度、楽しさが変わりますよ。と助言していました。それも一理でしょう。

「TAFE」の授業料は公認の学校の中では安いほうで月曜日から金曜日までの五日間で一日3時間コースと5時間があり、前者は週220A\$、後者は290A\$です。一ヶ月の授業料は3時間コースでも一人6万円以上。と別に入学金は一人150A\$です。他の民間、公認学校はそれ以上の授業料のものも多いです。「TAFE」での一時間当たりの授業料は一日3時間コースだと一時間あたり約14\$60セント、5時間コースだと11\$60セントになります。

「TAFE」ほか公認学校で12週以上の勉強したい人は学生ビザを取らなければなりません。

「TAFE」はAshmore CampusとSouthport Campusに校舎があります。

ホームページはwww.goldcoast.tafe.nettです。

ゴールドコーストでの英語学校の紹介会社は立道和田さんから教わった、「英語学校紹介」

「留学代理店 aswho」があります。いろいろ特典を宣伝しています。

- 1、入学金が無料になる(学校、期間による)
- 2、全豪の学校紹介が可能
- 3、入学手続き無料
- 4、一年間インターネット無料

ホームページ www.aswho.com

TEL 07-5504-7066

日豪プレス 英語学校紹介

Office 07-5526-8144

ホームページ www.nichigo.com.au

日豪プレスの事務所の壁新聞には英語を教えたい人、車を売りたい人、パソコンを売りたい人アパートをshareしたい人費用割り勘でシドニーに車で一緒に行きたい人、英語の個人教授1時間15A\$から25A\$などたくさんメ

モがありました。私達はとりあえず、キリスト教会系の授業料なしのボランティア学校に週2日一回2時間と週一回のホープアイランドの教室(一回2時間30A\$)の週3日通っています。

ペナンの英語学校 18番 木村さん

ペナン島の英語学校をさがしました。システムはオーストラリアの公認英語学校に似ています。費用はオーストラリアに比べはるかに安くすみます。

British Council (ペナン島、フェリー乗り場近くの「英国文化教会」)

全ての先生は白人?(イギリスからの先生です。

白人とは限りません) TEL 263-0330

コース内容

A 外国人専用コース(非英語圏からの方)

月一金 毎日3時間 午後のみ

期間 10週間 次回 19/JUL-28/SEP

Total 75時間

費用 RM20(約600円)

これは最初の英語テスト費 RM1500(約

45000円) 合計 1520RM(合計 45600円)

最初のテストの結果で各人のクラスレベルを決めるとの事

初心者コース レベル 1 2 3 4 教室

中級コース 同

上級コース 同

B 普通コース

平日 2回/週 1.5時間/回 夕6時-7時半

もしくは土曜日のみ3時間/回

午前10時-13時

期間 10週間 19/JUL-28/SEP

費用 20RM

テスト費 470RM(約14100円平日クラス)

490RM(14700円 土曜日クラス)

両方とも開校は1月、4月、7月、10月です。

ペナンの英語学校 495番 石原さん

ペナンの石原です。

先日、木村さんよりペナンのブリティッシュカウンセルの紹介がありましたが、その他の英会話学校に関して私からも連絡させていただきます。

1) Dynamic Language Centre

コース内容: 週2回、1回 2時間、12週間
コース

値段: RM300 (約9,300円)、登録料
RM25、資料代 RM50

講師: ネイティブ または マレーシア人
開講予定: 毎月

電話: 04-642-2829

ファックス: 04-642-5166

2) ELS Language Centre

コース内容

*集中コース: 月一金(毎日)

9:00-15:20 1ヶ月で1レベル

値段: RM935 (約29,000円)、登録料
RM50、資料代 RM100

講師: ネイティブ または マレーシア人
開講予定: 毎月

*夜間コース: 火曜、金曜日 19:30-

21:30 8レッスン

値段: RM450 (約14,000円)、登録料
RM50、資料代 RM50

講師: ネイティブ または マレーシア人
開講予定: 毎月

電話: 04-283-2530

ファックス: 04-283-1029

3) YMCA

コース内容:

*ベーシックコース: 週1回、

1回 1.5時間、12レッスン

料金 RM134 (約4,200円、全て込み)、
但し女性のみ

*中級コース: 週1回、

1回 1.5時間、12レッスン

料金 RM237 (約7,350円、全て込み)、
男女可

開講予定: 両コースとも3ヶ月おき、次は7月
の予定

電話: 04-229-2349

1957年まで約170年間英国の植民地
(1941~45年だけ日本軍の統治下)で
したので、それまで公用語が英語でした。

今でもビジネスは英語が主流です。従って年輩の現地人は特にしっかりと英語を話します。最近の若い人はマレー語で学校教育を受けた人が殆どなので英語力が弱っています。いずれにせよ、マレーシアは準英語圏と言えらると思います。現地人にとって英語は第2言語なので、我々のブローケン英語も良く聞いてくれるので、日本人には精神的にとっても楽です。街の市場、ホテルで、屋台でも英語が使える所が英語に慣れるに大きなポイントだと思います。ちなみに此方の方は殆どの方が3カ国語以上を話します。中国人でしたら、家で中国語、会場で英語とマレー語と言うのが当たり前です。どう見てもマレーシア人が日本人より優秀と思えませんが、やはり言葉は「習うより慣れろ」が本当と言う証拠かと思えます。

マレーシア退職者ビザに関して 495 番石原さん

最近、マレーシアの退職者ビザに関して若干変更も出て来ていますので報告致します。

4/19の関東地区情報交換会でKLの末支部長もこのビザの件をお話になると思いますが、私は特にペナンでの動きを連絡致します。

今年の初頭からペナンの移民局でもこの退職者ビザ(マレーシアマイセカンドホームプログラム)の申請を受け付ける様になりました。最近新築の立派なペナン移民局(ペナン島の対岸のバターワースにあります)へ行って確認した所、50才以上の方の申請はペナンで受け付けるとの事です。ビザ枠は最初に5年出て、今までは年更新でしたが、新規申請者の場合、更新も必要無くなりました。最初から5年間分の申請料を払えば更新が必要無くなった様です。但し、申請者のパスポートの有効期限マイナス6ヶ月の範囲で取得出来ます。4年の有効期限のパスポートを持つ日本人申請者は、3年半まで最初からこのビザを取得出来、年更新も必要ないそうです。

ペナンの移民局はクアラに比べて全然混んでい

ませんので、申請も容易に出来そうです。

但し、既にこのビザを取得している人の場合は、次の年更新は必要の様です。次の年更新の際に、最初の5年の枠までとパスポートの有効期限の範囲で取得出来ると思います。

松江の加藤さん：このケースに該当すると思います。次の更新は加藤さんのファイルがクアラの移民局本部なので、やはりクアラへ行かなければならないそうです。

年金改変の動きに注目 80 番 阿部さん

4月24日の朝日新聞から年金受給者の税金を重くする事と年金給付を削減する事を別々の機関で検討が進んでいます。ダブルパンチになる可能性があり、64歳以上の方は特に注目しましょう。

1. 税金--政府税制調査会(首相の諮問機関)年金の税控除には

①公的年金等控除(65歳以上は140万、未満は70万円)

②老年者控除(65歳以上は70万円)年収一千万以上者は除く

③基礎控除・配偶者控除

があります。現在65歳以上は年収354万まで所得税非課税。

このうち、①の縮小と②の縮小廃止を検討中です。今年中に65歳になる私は大いに注目中です。今年の厚生年金の「扶養控除等申告書」では高齢者扱いを初めて申告しました。140万円も控除が増えるのかどうか？。

2. 年金給付--政府の経済財政諮問会議

デフレによる削減は既に決まっていますが、年代間格差を調整する意味で既受給者の年金をも削減する事を検討中。

3. 厚生労働省の社会保障審議会と税調給付と負担のバランスを調整する合同会議を5月20日開く。

4. 高齢者が支持基盤の与党慎重姿勢。

海外安全対策について 554 番 笠井さん

皆さん、こんにちは。

先日、私が所属する団体で「海外安全対策セミナー」があり貴重な情報を多く入手しました。このセミナーは主に海外進出企業向けでしたが、個人にも多くの有効な対策が示されましたので順次お知らせします。

第一回目 海外セキュリティ情報ソース

1. 政府機関

日本国外務省（海外安全 HP）

<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

日本国厚生労働省検疫 <http://www.forth.go.jp/>

アメリカ国務省 <http://travel.state.gov/>

アメリカ国土安全保障省 <http://ready.gov/>

イギリス外務省 <http://www.fco.gov.uk./travel/>

世界保健機構 <http://www.who.int/en/>

2. 公益機関

日本在外企業協会 <http://www.joea.or.jp>

3. 海外報道機関

ニューヨークタイム <http://www.nytimes.com/>

BBC ニュース <http://www.bbc.co.uk/>

以上です。

第二回目 海外安全対策です。

すでにご承知のとおり、ID カードの用途は対面時に相手方に対する自己証明となるものです。かつては対面時に名刺によって確認されていましたが9. 11テロ以降、多くの国、特に北米ではIDカードの提示は必須化されてきています。一方、私たちが目指す海外で何らかの事故に遭遇し路上に付した場合、その救済援護処置は地元の人々に委ねるしかありませんね、重傷者の緊急処置、身元確認は救援にあたる人々の最初の仕事となるでしょう。

このとき、被害者を一刻も早く特定し対処することが可能になるよう「IDカード」を作り、携行しようと会員の皆さんに提案します。

記載された個人情報、自分が万一、交通事故、行方不明（誘拐）、天災、騒乱騒動、暴行事件などで被害者となった場合、現場でその救済活動に当る人々に無言のうちに提供できる必須の生

存情報となるでしょう。

救護者や捜査当局が現地の大使館に照会して対処する時間的余裕はない。

企業に所属する場合は、企業で用意していると思いますが、ほとんどの会員は自ら日本出発の前に「IDカード」（添付で作成のポイントを示しています）を作成し、現地では常時携行することを提案します。

我々日本人の心理的社会的行動は、ほとんどの場合、「安全だろう」と考えているとデータ分析されています。危険予知活動が不得手な人種と言われていています。「危険かもしれない」と認識することから危険予知行動を始めましょう。

注：一枚は、携行用 もう一枚は信頼できる人用に。

「ID カード」の作成ポイント

民間航空機乗務員や、公共業務に関わる人々が首から下げている写真つきの名刺の2倍サイズ程度の自己証明証タイプのもので。

表面：現地の人に知って貰うため、現地語で作成。

<私の情報>

カラーで顔写真、氏名、生年月日、日本の連絡先（勤務先社員番号）必要に応じて現地連絡先（住所、TEL）眼球の虹彩、血液型、持病、薬など。

裏面：自分の為、英語または日本語で作成。

<私の緊急連絡先>

現地連絡先（宿泊先）電話番号。（日本在籍会社）日本留守宅、かかりつけの医者（住所、科、TEL）、日本国大使館（総領事館）、警察（信頼できること）、救急センター（車）、消防署、病院、などの住所、TEL。

2002年1月米国陸運局安全対策部策定事例での英文IDカードの記載項目をあげておきます。自身で作成時に参考にしてください。

英文IDカードの記載項目

Employee identity card

Holder's name:

address:

birth date:

employer authorization:

identification number:

facial scan:

iris print:

and/or a fingerprint:

海外会員への心使い

副理事長(事務局海外推進担当) 宮崎 哲郎

2002年「新年号」においてこの「海外会員への心使い」を皆様にお願ひしたにも関わらず、残念な事ですが大変非常識な方がおられ会員のお世話を辞めたいとの海外会員の方からの申し出が有ったことをお知らせ致します。そのため再度2003年「春季号」にてこのお願ひを致しました。新入会員の方が大変増えて参りましたので本号にて再びお願ひを致しますので皆様の「心使い」を発揮頂きお世話する方へ報いていただく様お願ひ申し上げます。

本会会員は南の国での生活を満喫するために、自ら希望滞在地の調査訪問が必須不可欠な事です。そこで初めての現地訪問となりますと色々不安な事もありますので、現地に於ける豊富な情報と経験をお持ちの海外会員にサポートをお願ひするのが最も有益で効率的な方法だと思います。

幸いなことに当会の海外会員の方々は皆さんはボランティア精神に富んだ良い方ばかりで、訪問される方々のお世話をする事に積極(協力)的です。

当初は会員数も少なく同じ仲間意識と訪問者の一般常識を信じ、海外会員は対処しておりましたが、会員数増加に伴い残念ながら一部の方々ですが非常識な言動を行い、その誠意を踏みにじるような事が最近増加し海外会員を悩ませています。そこで事務局からのお願ひですが海外会員の方への心使いを下記の様にして頂きお互いに気持の良い「旅」が出来る様、切に希望いたします。

記

- 1.) 訪問される方、サポートする側両方ともフィフティ・フィフティの関係です。このことを忘れないで下さい。よくある事ですが現地では自分が「ボランティアされるのが当然」と勘違いされている方がおられる事です。海外会員の方は皆さんをお世話することに喜びを感じて親切にされているのです。案内はしますが「運転手」「ガイド」「旅行代理店」でもないのです。現地会員をその地では自分より経験、情報の豊富な「先輩」として又会の「友人」として接する気持ちが欲しいものです。
- 2.) 海外会員の方もそこで生活をしているのですから自分の都合のつく時間にお手伝いしています。海外会員を訪問者の都合に合わせさせるような事は絶対にしないで下さい。(依頼する場合は1ヶ月以上前から、お互い連絡してお互いの都合がマッチしたら実行して下さい。)
- 3.) 皆さんを案内するためには車を使うとガソリン代、ホテルを予約したりするには電話料等費用が要ります。これら発生費用を負担するのは当然受益者です。当会ではそのために「海外会員への謝礼金の目安」を決めております。お配りの「南の会必携8. 生活情報①」を渡航前に良くお読みになってこれを目安に現地では必ず「謝礼金」を差し上げて下さい。金額の多寡は別として之が感謝の気持ちを表す最適な方法だと思います。(私どもの体験では重い手土産よ

り、一番軽い謝礼金の方がお互い良いと思います。)
なを現地でのどのくらいの額が良いかご相談があれば出発前に事務局へお問い合わせ
してください。

4.) 案内時の交通事故も皆無とは云えません。又急病も起こり得ます。これらに対す
る傷害、疾病保険の加入も怠り無く準備して現地会員に迷惑を掛けない配慮をし
て訪問してください。

5.) 食事を一緒にした時は皆さんの為に時間を費やしているのですからお礼の一部と
して当然行かれた方が現地会員の分は負担してください。

6.) 現地でサポートされる方は誠心誠意対応されておられますので帰国後にご挨拶を
お忘れなく！ せめてメール等で「無事帰国」だけでも現地会員としては報われ
た気持ちになります。歓迎される訪問者になってください。

以上それは「常識で分かっているよ、煩わしいな」と云われそうですが現実
はこの常識の通じない方が残念ながらおられるのです。「いい年をして」とお互い云
われない様にしましょう。

そこで事務局よりのお願いです。

現在「南の会」の海外会員が居られる所は、マニラ、セブ、クアラルンプール、ペナン、
バンコク、チェンマイ、ロタ、パース、等です。会員の方でこの地区に行かれ、海外会
員にお世話になられる予定の方は是非出発前に事務局海外推進担当(宮崎)または会員
担当(酒匂)へご連絡願います。

メールは tetsumiyazaki@hotmail.com (宮崎)
sakou-k@nyc.odn.ne.jp (酒匂) です。

現地での必要経費等のご相談をし、その地でお互いに嫌な思いをしないで済むようにし
たいと考えております。

海外会員メールアドレス(参考資料)

マニラ	塩見氏	shiomi@compass.com.ph
セブ	鈴木氏	pillory@rd6.so-net.ne.jp
クアラ	末氏	suehdk@arc.net.my
ペナン	木村氏	y-kimura@comlink.ne.jp
バンコク	五十嵐氏	teruo_igarashi@hotmail.com
チェンマイ	鈴木氏	rsuzuki54@hotmail.com
ロタ	山本氏	yamarota@gtepacifica.net
パース	藤本氏	yi62954@nifty.com

この様なことが煩わしいと思われる方は、個人で旅行社など手配されると良いでしょう。

皆さんとの連絡はメール又は電話で。FAX はチェンマイの場合受信一回に就き約60
円かかり、受けられる方に費用が発生しますのでご留意のうえ後日精算されるよう願
いします。

平成15年アンケート調査のまとめ

(報告 No. 327 市東 明義)

南国暮らしの会は基本的にロングステイ中心で観光ではない事です
豊かな生活を楽しみ、適切な地域を調査開発幹旋し会員相互の交流親睦と
各国々(人々)と親睦、協力する。
定款の目的推進

会員の海外ロングステイヤーも増えてきましたなか実体験談の失敗例の要望が多くありました。
会員の7割程度の方はまだL、Sを体験していない(これからする為に情報収集中)と考えられます、
そこで体験者の方の成功例、失敗、反省、お薦め、等全て役立つ情報をもとめている。
体験の全てを教えて。

南国暮らしの会に対して

特別重要な批判、要望等は有りませんでした、
小事については順次理事会、委員会にて改善したいと考えております。
大変なご支持、ご理解の基に益々の発展を会員の皆様と共に薦めさせていただきたいと思えます。

会報 不満0やや不満8名に対し普通37名満足118名やや満足58名という結果が現している。
会報の充実。

遠隔地の方々は会報が唯一の情報源(会員としてのつながり)です。

情報交歓会 あくまでL、S情報基本で時間を守り良い事ばかりで無く、**失敗例など多く取り上げ**
質疑応答時間を多く取る。

懇親会 新規参加の会員の紹介及び輪に入りやすい環境づくり。

サロン会 開催曜日、時間の検討(時には日曜日開催を)

費用 年会費、懇親会等の費用は**全て現状のまま。**

メイリングリスト 一人でも多くの方にメイリングリストの**登録**をして頂く。

そしてその重要な内容は会報に掲載する(登録外の会員に知ってもらう為)。
今回50名の方々の新規登録がありました。まだ登録してない方は一日も早く登録を。

平成15年6月17日

南国暮らしの会	理事長	池田徳三郎	
意識調査委員会	担当理事	川上雅久 山田宏秀	市東明義 鈴木 剛

平成15年度「南国暮らしの会」総会模様と 細則一部変更について

台風が日本列島に接近しているため、総会開始前の関東地方の雨足は激しくなるばかりである。

平成15年5月31日午前10時から理事会が始まり、本日のこの天候では総会が成立するか危ぶまれる。

宮崎副理事長より、出席予定者41名（申込みは46名であったが5名から欠席の連絡あり）、委任状が114名届き合計155名との報告である。5月29日現在の正会員数は379名で、定款第26条及び第28条第3項により3分の1の定足数127名をクリアー出来る事を確認する。

いざ総会（10時30分）出席者は少ないが九州、関西、東海、甲信越、東北、北海道、関東地区の錚々たるメンバーが揃う。議長には会員No.465の橋本慧氏（甲信越副支部長）が選出される。

司会者高澤理事の総会成立宣言、理事長挨拶の後、14年度事業報告及び決算報告を理知長及び山田理事が行い、富永監事から監査報告がなされ、菊池理事より15年度の事業計画及び予算案の説明がなされ、名議長の議事進行で、トントン拍子に議決されて行く。定款・細則一部変更の提案説明は酒句が行う。

細則一部変更について（◎印：解説）

*細則一部変更で問題になりそうな事項は次の2～3にある。（詳細条項は別添細則参照）

第2条【資格】(3)：総会を欠席するものは、委任状の提出を理由無く怠った日本国在住の会員・・・

◎情報が欲しいから会費を払っているのだとの意向もあります。が、会員になったら権利と義務は切り離せない事柄です。今後、会報添付で返信用葉書が届いて、どうしようかと迷ったら、迷わず委任状を提出すれば良い事です。総会に出席出来る場合は連絡を頂ければ大歓迎です。

第3条【会員】(5)：会費、会員申込書いずれかが欠けても会員とは認めない。その場合・・・

◎本会はNPO法人です。会員申込書は会と会員との誓約書です。役員は東京都及び法務局に特定非営利活動促進法を遵守すると宣誓書や役員就任承諾書等を提出し、法務局に登録しています。

・本会では会員名簿に掲載不都合な事項は朱記してあれば掲載しません。

第9条【入退会】(8)：正会員の休会制度を設ける。国内外を問わずやむを得ない理由・・・

◎日本国内で休会中の方はメーリングリストには登録出来ませんが、外国に滞在されている方は会友として認められればメーリングリストには登録出来ます。

第11条【役員】(11)：理事、監事が年10ヶ月以上外国に居住する場合は・・・

◎本会の名称は「南国暮らしの会」です。会名の

とく南国で暮らすことを前提に諸活動が行われています。しかし現在は外国滞在者はほんの一部で、役員の業務遂行が現状では無理と解釈し本項を設けました。将来会員の多くが外国滞在者になり、外国支部で委員会など設立出来、会の中核部以外は外国で十分遂行出来る組織に発展して、本項を変更する日が来ることを期待しています。

◆本会は仲良しクラブ的な会です。が、NPO法人格を取得した事と、会員数が増えるに従い、まあいいやでは済まない最低限のルールが運営上必要になってきました。

でもルールを守り楽しく活動しましょう。◆

会員のご意見及び質問（発言順）

1、役員報酬の件：無償奉仕活動となっているが、現在の活動状況から察するに無報酬ではおかしいのではないかと。会費を上げてでも有償にすべきではないか。（九州支部長No.128：稲延様）

*無償奉仕活動の為か、今年も役員立候補者はゼロでした。理事会で役員会の食事補助位は必要ではないかと言う意見も出ています。が、予算の関係などで計上出来ないのが現実です。

2、会費を数万円に上げて、満足な報酬は無理で、現実的ではない、しかし最低交通費、食費補助程度は必要ではないか。（東海支部委員No.570：山田様）

3、役員手当などは必要と思うが、会費値上げにも限度がある。本会の年度予算を見ると350万円そこそこである。これでは何も出来ない、せめて数千万円から1億円程度の予算が必要ではないか、その為には、寄付金を募るのが良いと思う。自分の所属している別の団体では半強制的に寄付と言って数十万円取られている。（医療介護調査委員No.586：磯崎様）

4、NPO法人に寄付した場合、それが経費で処理出来るか。（新任監事No.59：米田様）

*経費処理できる寄付金は「特定寄付」の認定法人法人に限られている。NPO法人は認定外法人であり一般寄付の扱い。「特定寄付」として控除を認められるようNPO法人会等で猛運動をしている最中です。

以上の様なご意見及び質問を頂き、議長の采配よろしく、定款・細則等の一部変更、新監事選任、新理事承認がそれぞれ挙手により満場一致で議決され、12時前に無事閉会となる。

従来総会の模様は会報に掲載された記憶が無く、たまたま今回は前向きで活発なご意見及び質問を頂き出席されていない方々にもこの雰囲気を感じ取って欲しく掲載しました。

では皆さんお元気で又の再会を楽しみにしています。

会員担当・必携（規定）編集委員：酒句 景輝 記

南の会・伝言・掲示板

§表紙について

春季号より一新したカラーの表紙に多くの皆様から大絶賛を頂きましたが、夏季号では裏表紙もさらに豪華になりました。表紙写真ご提供者は、右上モルディブのプールサイド、左下フィリピンのビーチ No. 114 井上さん、右下バリのビーチ No. 345 藤巻さん、花、フィリピンの子供達 No. 140 小沢でした。会報内挿絵は毎回お馴染みの No. 490 斎藤貞三郎さんです。何人かの方々より表紙用写真をご提供頂きましたが、レイアウトの関係上今回使用出来なかった写真がありますので、紙面をお借りして御礼とお詫びを申し上げます。（会報担当：小沢）

§図書案内

1. 「RASSIN」 夏号 01、イカロス出版株式会社、 定価 1,000円（税込）
季刊誌であり、50歳以上をターゲットとしてロングステイ、海外を旅することを中心とした雑誌です、全編カラー版で見やすく、今回は船旅、ハワイ特集になっております。現在発売中、本屋さんで見て下さい。会のメンバー立道さんも執筆掲載されています。
(No.101 高澤さん紹介)
2. 余生堂々「60才から始まる黄金の人生」 定価 1,600円（税別）
著者：松木康夫（S8年生まれの医師、新赤坂クリニック院長）
出版社：祥伝社 (No.24 酒匂さん紹介)
ロングステイを夢見ても一番の心配は健康の維持。医師の立場から、長命と長寿との違い、長寿者になるための守り、威風堂々と生きるための指針を与えていただきました。
旅立ち人、必見の書と思います。(No.349 賀陽さんより)
3. マレーシア・ロングステイガイド（カラーで36頁）
発行：2003, 3, 31、マレーシア政府観光局、価格：無料（送料は不明）
連絡先：東京；Tel：03-3501-8691、Fax：8692
大阪；Tel：06-6444-1220、Fax：1380
新規会員用にパンフを依頼しましたら、このパンフが届きました。
素晴らしいパンフレットです。マレーシアを考慮している方には必携です。
(No.24 酒匂さん紹介)
4. 極楽アジアの暮らし方 マレーシア／インドネシア・バリ編 定価 1,500円
2003年7月15日初版第1刷
作者 岡田理恵 長尾弥生 柳沢有紀夫
発行者 川崎吉光
発行所 株式会社 山と溪谷社
衝動買いの「極楽アジアの暮らし方」。生活に密着した話題が多く、おもしろく一気に読んでしまいました。例えばマレーシアの美容院では年会費約18,000円を払うと毎日でもシャンプー・ブローが無料のようです。オモシロイですね。北海道にいますが心は南国です。
(No.349 賀陽さん紹介)

平成15年度役員業務分担表

平成15年7月13日

NPO法人 南国暮らしの会

◇理事 業務分担

凡例；◎印；主務。□印；業務を分割し（テーマ、期間）行う。*印；補助。

No.	部門担当	氏名	業務内容
I	理事長	池田 徳三郎	・会総括代表・総会招集・臨時総会招集・現況情報収集 ・役員会招集・役員会議長・資産の管理・官庁関係資料の提出、
II	副理事長	酒匂 景輝 宮崎 哲郎	・理事長の補佐・理事長の事故又は欠けた場合は理事長の職務代行、
1	総務第1担当 (事務局)	◎宮崎 哲郎 *菊地 功 *高澤 弘晃	・定款（会則）等の改廃・本会日常運営案の作成・予算案の作成・官庁関係資料の作成・総会、例会、懇親会、催し等の企画及び実施・同会費徴収（テーマ策定・会場設定・運営管理・記録・発表）・総会議事録作成
2	総務第2担当	◎菊地 功 *宮崎 哲郎	・役員会テーマ策定資料・役員会招集実務・会場設定・運営管理・記録・発表 ・役員会議事録作成
3	経理担当	◎山田 宏秀 *市東 明義	・入会金・年会費徴収・一般収支・金銭出納記録・決算の事務・総会、懇親会 催し、情報交換会等の会費徴収協力、親睦会計処理、・会費納入票回送
4	広報担当	◎高澤 弘晃 *小澤 公子	・「南の会」ホームページ作成・問合者向け「南の会」案内書編集作成、 ・新規会員拡張対策・他機関への投稿 ・新聞、雑誌等の関係情報収集、
5	会報担当	□小澤□平尾 □細田□龍野	・会報等の原稿収集・編集・整理・校正・印刷・製本・発送 ・会員への情報提供
6	支部推進担当	◎池田徳三郎 *宮崎 哲郎	・支部統括・支部活動支援・支部地域区分作業・支部関係規定作成。
7	調査担当	◎市東 明義 *川上*小林	・賛助会員資格審査・南の国関係の居住地情報収集・関係不動産物件調査 ・会員意識調査・ダイレクトメール等々・ツアー等の企画及び実施・その他
8	厚生担当	◎平尾 守満 *小林*大野	・対象国の医療、介護等の調査・リタイアビザ再調査（内容の洗い直し）
9	会員担当	□酒匂□鈴木 □龍野	・会員入退会・会費等の納入チェック・問合者に資料等の作成発送・会員対応 ・会員名簿作成・情報収集・体験滞在取次・会員からの情報収集。

◇監事 業務分担

1	監事	富永来久夫 米田 隆雄 齊藤 彰	・理事の業務執行状況の監査、・この法人の財産の監査、 ・定款に違反する重大な事実が発見されたら総会を招集し報告。 または所轄庁に報告。
---	----	------------------------	---

注1: 理事、監事の業務は本分担表に記載なき事項でも、本会定款に記載ある事項はこれに優先する。

注2: 各業務担当理事は各部門の新年度事業計画及び予算申請を1月末までに行う。

◇委員会

◎印：リーダー、

・順：会員No順

- 1、企画委員会：◎池田徳三郎、酒匂景輝、高澤弘晃、宮崎哲郎、菊地 功、
- 2、支部委員会：◎宮崎哲郎、池田徳三郎、菊地 功、
- 3、医療介護調査委員会：◎平尾守満、大野隆司/悦子、小林康紀、菊地範夫、佐藤サツキ、磯崎興志、
オブザーバー：藤本靖人、
- 4、インターネット委員会：◎高澤弘晃、阿部 功、古河典夫、
- 5、会報編集委員会：・小澤公子（夏季号主担当）・細田良子（秋季号主担当）・アシスト：足立洋太郎、
・龍野 宏（新年号主担当）・平尾守満（春季号主担当）・小川護雄、
- 6、必携(駢)編集委員会：◎酒匂景輝、池田徳三郎、菊地 功、鈴木 剛、大野隆司/悦子、
- 7、会員名簿編集委員会：◎鈴木 剛、酒匂景輝、龍野 宏、アシスト：古河典夫

8、事業拡張調査委員会：◎市東明義、川上雅久、小林康紀、

◇「南の会」理事、監事の会員Noと氏名 ◇印：留任、◎印：新任

◇理事長；会員No.3：池田徳三郎、 ◇副理事長；会員No.24：酒匂景輝、 ◇副理事長；会員No.163：宮寄哲郎、
 ◇理事；会員No.101：高澤弘晃、 ◇理事；会員No.198：川上雅久、 ◇理事；会員No.259：菊地 功、
 ◇理事；会員No.315：鈴木 剛、 ◇理事；会員No.434：大野嗣/嗣子、 ◇理事；会員No.446：山田宏秀、
 ◎理事；会員No.117：龍野 宏、 ◎理事；会員No.140：小澤公子、 ◎理事；会員No.327：市東明義、
 ◎理事；会員No.442：平尾守満、 ◎理事；会員No.470：細田良子、 ◎理事；会員No.523：小林康紀、
 ◇監事；会員No.115：富永来久夫、 ◎監事；会員No.22：齊藤 彰、 ◎監事；会員No.59：米田隆雄、
 (住所、電話番号等は会員名簿参照)

◇支部及び支部長・副支部長 (支部長業務分担)

No.	支部名	No.	支部長名	No.	副支部長	業 務 内 容
1	九州支部	128	稲延 裕	30	竹村 毅俊	・支部会員纏め、 ・支部会招集、
2	中国支部					
3	関西支部	12	大橋 績	51	森川 清	・新規会員の発掘、 ・支部親睦会会計処理、
4	東海支部	487	横井 保夫	94	高橋 昭	
5	関東支部	163	宮寄 哲郎	259	菊地 功	・その他、
6	甲信越支部	96	宮沢 英光	465	橋本 慧	
7	北海道支部					
8	マニラ支部	61	塩見 祥昭			・会員の旅相談、宿泊所・案内人等の斡旋紹介、 ・支部親睦会会計処理、
9	セブ支部	27	鈴木 博			
10	ペナン支部	18	木村 義光	495	石原彰太郎	・現地情報収集・報告、 ・その他、
11	K・L支部	302	末 英樹			
12	バンコク支部	189	五十嵐輝雄			
13	チェンマイ支部	26	鈴木 宣夫			
14	豪州パース					

注) 1. 北海道支部 (仮称) は近日発起人会が開かれ、正式に発足の予定。

注) 2. 上記以外に国内では東北、北陸、四国等をまた外国では上記以外の適地考慮している。候補者を募集中。

◇雇員 昇昇 ◇印：旧幹事、理事、顧問 ☆印：新任 ・順：会員No順

◇会員No. 1. 青 柳 信：歯科医師、医療・介護関係に詳しい。	[前監事]
◇会員No. 32. 寺 前 伊 蔵：長老、東南アジアに詳しい、ホームセンター自営 (現在引退し隠居)	[元幹事]
◇会員No. 35. 西 田 忠 正：ジャーナリスト、元サンケイ記者、外国一般。	[元幹事]
◇会員No. 40. 平 澤 信：女性で外国一般に詳しい。滞在体験豊富。	[元幹事]
◇会員No. 58. 山之内良隆：夫婦で東南アジアに滞在体験豊富。	[元幹事]
◇会員No. 80. 阿 部 功：コンピューター関係に長けている。	
◇会員No.110. 藤 本 靖 人：現在主に豪州パース滞在、医薬品関係に詳しい。	[前理事]
◇会員No.126. 林 元 則：アパレル産業従事。(労務関係に長けている)	[元幹事]
◇会員No.149. 梶 野 幸 三：ボランティア団体主宰。(マニラ地区のストリートチルドレン関係)	
◇会員No.280. 小 川 護 雄：海外滞在体験豊富 (特に中国)。	[前理事]
◇会員No.291. 福 田 修：元損保関係企業に従事、規約関係、海外体験豊富	
◇会員No.293. 比 企 省 蔵：港区にある企業 (電気工事関係) の顧問。	

※、空欄については追々補充する。

以上

r-te-f-71

支部・部会伝達板

● 関西支部 支部長：大橋 績

6月15日(日) 関西支部会合
会合内容 参加者総数 35名

1. 南国暮らしの国と場所選び
ウェザーキャスターの小谷純久氏
2. ペナンの心の休日と文化交流
加藤御夫妻 (No. 263)
3. ウェールズでの体験
長島御夫妻 (No. 223)
4. 緊急報告「SARS」
マニラから帰国の福田 修様 (No. 291)
中国での現状 榎本信之様 富士技研(株)
5. 会員全員での自己紹介
6. 新役員の挨拶 2003年度より
副支部長 森川 清氏 (No. 51)
会計担当 吉田考輝氏 (No. 588)



会合の講師の方々 左から加藤御夫妻(263)、小谷キャスター、榎本信之氏、長島御夫妻(223)



会合後のパーティー風景

講演会では聞けないパーティーならではの業界裏話を聞きました。

終了後は初めてのパーティー方式の親睦会を開催午後12:30～19:30までの長い時間を勉強会と情報交換会が出来ました。

会合では休憩時間を必ず挟んでいます、この時も盛り上がる時間です、会員の情報交換と動向等イロイロです。

*自己紹介の中で、ブルガリア紀行の中に出て居られた稲葉御夫妻がウルルンの取材中で、7月12日にブルガリア編の放送が有るそうです。

● 関西支部番外編 島根県美都町 お花見会

今年1月、大阪での勉強会に参加致しました時の事がきっかけで、私の田舎に何人かの方がお出かけ下さる事になり、4月4日～6日、島根県におきまして二泊三日の小旅行、関西支部サロン会ならぬお花見の会が模様されました。参加者は12大橋績さん、50森川忠士さん、310田中享之さん、そして私、案内人507千振和子、以上の4名です。



天然記念物の「三隅大平桜」

初日は生憎の小雨もようで少々寒く、桜も満開とは言えず残念でしたが、樹齢580年の美都町金谷城山桜をカメラ片手に皆満喫致しました。またその晩は泉質の良い美都温泉に浸かり、美都米で作った地酒を堪能して頂きました。

二日目は良いお天気の中、三隅の大手桜です。やはり満開には早く、樹齢660年の大きな木にちらほらでしたがこれもまた風情がありました。また、日本海近く、石正美術館の大手桜展では

満開の桜を満喫し、その後歴史の地益田に足を踏み入れ雪舟の里へ。雪舟は日本全国に5ヶ所庭を造りましたが、その内二つが益田にあり、見事な庭に時間や現世を一時忘れ見入りました。そして左に山桜、右に山海の海を見ながらしばらく国道を走った後、海の側のペンションで魚コースの昼食です。ここでもしばし時の経つのを忘れ歓談致しました。

午後は山陰の小京都、津和野へと40分の道中、ここでも両山に山桜、美しい川の両岸には菜の花、最後まで感激続きの素晴らしい二日間でした。ご参加の皆様にもご満足頂けましたことと思います。本当に山陰は良いところです。こんな落ち着ける所に居るから安心して時々海外にいけるのだと思います。人知れず本物の良さがあり、不動の大自然の恵みがあり、住んでいる者の心の豊かさをつちかっています。年を重ねたせいか、自然の中に生かされていることを実感する昨今です。 No.507 千振和子

1月会合でお会いした千振さんの御礼手紙に美都は何も無いけど心が癒される自然が有りますので案内しますと有りましたので有志を募り行きました。良質の温泉と海、山の幸そして人情に触れた、南国の旅とは違う旅に成りました。

No.12 大橋 績

●東海支部 支部長：横井 保夫

4月13日(日) 東海支部定例会

参加者が50名にも膨れ上がって池田理事長に御来名願いました。理事長には御挨拶かたがた新しい会員にはボランティアとしての心構えとして重要なのは”南の会に何をしてもらえるのか”を期待するのではなく”南の会に何が出来るのか”といった心がまえをお願いしたいとのお話が印象に残りました。

その後94高橋氏よりかねて3万円暮らしの可能性を持つと思われるブルガリヤの話がありました。(同氏は5月末より3ヶ月の予定で同国に滞在中、10月の例会で発表あるはず)

次に554笠井氏よりペナン体験ステイの報告でペナンの最近の状況が解りました。

皆さん早く行きたい所と思われた事でしょう。

池田理事長よりチエンマイの病院診療方法のお話がありました。

今回定例会で最も緊急案件として東海支部組織図作成の必要性で会員の中より自薦及び他薦で下記の組織が一応出来ましたのでお知らせいたします。

支部長	487	横井保夫
副支部長	94	高橋昭
運営部長	445	山本信
地区長	名古屋市南	543 清水重一
	名古屋地区北	570 山田善一
	愛知県内南	445 山本信
	愛知県内西	451 黒木義公
	岐阜	614 藤沢真澄
	三重	420 森康人
総務	設営・議事録・司会	
	585	井上康三郎
	アシスタント	614 藤沢真澄
広報	339	米戸秀夫
	アシスタント	563 松井忠一
催事	487	横井保夫
	アシスタント	640 丸山武揚

今年度より定例会(1月・4月・7月10月)の無い月はサロン会として何か目的を持って参加希望者が集ろうとゆうことになり5月のサロン会はタイ語の講習会をやる事になった。

(講師 487 横井)

5月11日(日)

実用タイ語会話講習会

23名の出席者で、明日にでもタイに行って使える程に大変熱心に勉強されていました。

5月25日(日)東海支部役員会 名古屋KKRホテルにて行いました。

定例会での組織図の具体的役割の確認出席者;横井保夫・高橋昭・山本信・森康人・山田善一・松井忠一・清水重一
役割の確認はすぐに終わってあとは楽しい懇談会となったが、かかる顔合わせが必要なる事で意見が一致した。

5月31日(土)東京にて

南の会総会・情報交歓会・懇談会に東海地区より487横井保夫570山田善一601鷹見弘江の3名が出席しました。

6月15日(日)6月度のサロン会 タイ語の実用会話第2回を行いました。参加者20名。3時間半ビッシリタイ語をやりました。

5音調の使い分けが最も難しい事がわかってもらいました。日本語のカタカナで例えば”チャイ”がトーンの使い分けで何十にも意味が分かれて行くとか”ピー”お兄さんお姉さんがお化けになったりして大変な誤解を招く事など。

又マイペンの意味深長な面白さ等を行いました。買い物での値切交渉やレストランでの注文も皆さん出来るようになられました。

皆様タイ語がポンポン飛び出すほどに上達されて、早くタイに行って使ってみたいのではないのでしょうか?

参加された皆さんは570山田さん606井本さん608近藤さん夫妻538古川さん夫妻640丸山さん563松井さん549松本さん584岸さん夫妻589小坂さん554笠井さん556酒井さん530浅野さん537水野さん617田沢さん533須崎さんと私横井でした。

以上です。

●九州支部 支部長：稲延 豁

7月12日(土)九州支部会と懇親会を開催。

-熱気と笑いの渦に盛り上がる-

九州支部初めての総会を開きました。

先ず酋長こと稲延支部長から初めての総会を開くことが出来た喜びと今後支部として大いに活動をして行きたい、との挨拶のあと支部総会が始まりました。本部から特別参加の池田理事長が、「南国暮らしの会の概要とその活動状況」と

「何故退職後、南の国に憧れるのか、その実例と長短」というタイトルで、講演しました。

続いて九州支部の森菌さんが「ゴールドコース、チェンマイに暮らしてみても」のタイトルで体談談を素晴らしい話術で披露し満場の喝采をあげました。会場からは、自分は他の所へ行きたい

と思っていたが、森菌さんの話を聞いてチェンマイに行きたくなったなどの声が相次ぎ、参加者の「ロングステイ」への関心の高さが伺えました。今回は支部会員を増やしたいとの考えから地元の新聞に支部会のお知らせを出した事もあって会員以外の人も含めて参加者は46名にもなり、活発な質問が多く出されました。

例えば、「病気になった時信用出来る病院はありますか」「ただ漫然と行っても暇を持て余すのではありませんか」などなどです。

その後「自己紹介とわたしの旅」のタイトルで皆さんの自己紹介とこれまでの旅の体験を語って頂きました。



懇親会風景

この熱気は懇親会にも持ち込まれ、取って置きの話が、次からへと披露され、会場は初めて会った人達とは思えないほどに盛り上がりを見せ、遂には、その場で新入会員が生まれるほどで、今後は、他の支部に負けないように、サロン会を定期的にやろうなどの話も出るなど、博多の宴はいつ果てるともなく続きました。今後の九州支部の活躍にご期待ください。

●関東支部 支部長：宮崎 哲郎

1)平成14年度第4回情報交換会

平成15年4月19日に情報交換会が開催されました。参加人員は合計70名でした。講師・演題は次の通りです。

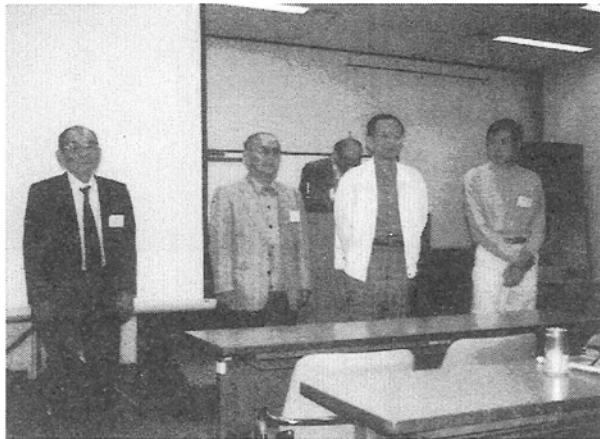
1. 「、バンコク・チェンマイ・パタヤの病院めぐり」 南の会理事長 池田 徳三郎 氏
2. 「ロングステイの為の上手な海外傷害保険

利用案内」 AIU 保険会社 高橋 慎二 氏
3. 「マレーシア・面白リタイヤー生活とリタイ
ヤーメントビザ取得法」

南の会クアラルンプール支部長 末 英樹 氏
4. 「海外ロングステイ・生きる喜びを与えた
い」南の会会員 チェンマイ在住日本語教師
宮 博 氏
5. 「津軽三味線による国際交流・マレーシア講
演報告」南の会会員ペナン在住 加藤 進 氏
沢山の講師と盛りだくさんの情報提供に皆さん
ご満足頂きました。

2) 平成 15 年度第 1 回情報交換会

平成 15 年 5 月 31 日総会に引き続き情報交
換会が行われました。
今回は関西、九州、東海、甲信越各支部長の
紹介とご挨拶が行われました。



各支部長挨拶 左より九州支部稲延さん、東海支部
横井さん、甲信越支部宮澤さん、関西支部大橋さん
又参加者では北海道(3名)、宮城、福島、新潟、
愛知(3名)と遠路ご参加頂き大いに懇親が深
まり、皆様の熱意がより盛り上がりを高めました。
今回の参加者は80名でした。
講師・演題は下記の通りでした。

1「デジタルおじさんのカンボジア・タイ・ラオスシル
バーパッカー的ロングステイ」

南の会会員NO.80 阿部 功 氏

2. 「チェンマイロングステイ報告」

南の会会員NO.96 宮沢 英光 氏

3. 「バリ島体験ハウスとインドネシア文化交流のご
案内」南の会会員NO.593 小林 繁之 氏

3) サロン会

4月以降のサロン会状況は次の通りです。

4月は情報交換会が開催された為お休みでした。

5月10日(土)参加者33名でした。

6月14日(土)参加者26名でした。バりに詳しい
小林さん(593)より再度建設中の体験ハウスのお
話をして頂きました。新規参加者の方が多く来られ
ました。皆さんが常連になれば幸いです。

これからのサロンの予定日

7月13日(日)、8月9日(土)、9月14日(日)、10月14
日(日)を予定しています。できれば土、日を隔月に
して土曜に出られない方のため開催日の変更を考
えてます。ご意見を事務局へお願いします。場所
の大崎労政会館は変わりません。ご出席される方
は準備の都合、参加希望者への情報提供等の為
必ずメールリストもしくは事務局宛てTELまたは
FAXにてご連絡をお願いします。

●関東部会 西部地区懇親会 高沢 弘晃

ご存知のように、関東支部のメンバーで全メ
ンバーの5割近くの方がおられます。これでは、
関東支部メンバーの集まりにも参加しにくいと
言う雰囲気が発生しておりました。
これを解消するには地区分科会を…ということ
で、昨年12月の忘年会に続いて5月18日に
2回目を関東の西部方面のメンバーだけで開催
しました。

メンバーは約50名、出席者22名ほどで非常
に盛況、内容的にはサロン会の地方版です。
従いまして、議題を設けず、各自が話題を出し
ていただき情報を共有する、近くに住んでいる
人同士の仲間を作る、これが最大の目的としま
した。3時間もあっというまに過ぎて、次に場
所を近くのホテルのレストランに移し食事をし
ながらの懇親会でした。予定では半年に1回を
予定していたのですが、もっと頻繁に開催して
欲しいということで4半期に1回開催すること
にしました。

次回は8月末を予定しております。

小田急線、横浜線、京王線、田園都市線、中央
線で町田市の会場に出席可能な方参加ください。

又是非、他の地区においても同じようなものができればいいと思っております、設置に支援します、連絡ください。

●事務局総務担当担当 理事:宮崎哲郎/菊地功

1.今年3月末以降の主な動きは以下の通りです。

3/28 :企画委員会(4名出席)

4/5 :第6回理事会(11名出席)

4/11 :平成14年度決算打ち合わせ(4名出席)

4/19 :平成14年度決算会計監査(6名出席)

5/14 :理事会準備打ち合わせ(3名出席)

5/17 :第7回理事会(10名出席)

5/31 :第8回理事会(12名出席)

5/31 :平成15年度通常総会(155名出席)

6/10 :提出資料準備打ち合わせ(3名出席)

6/12 :理事変更および資産総額変更登記、および東京都への平成14年度事業報告/役員変更届出/定款変更申請

2.4/14 小石川後楽園の涵徳亭で、会報春季号より「フィリピン南国田舎暮らしの記」を連載して頂いている斉木さんを囲んでミニ情報交換会を行いました。17名の方が出席され楽しいひと時を過ごし、懇親会は椿山荘スカイレストランで仕上げをしました。



斉木さんを囲む会

● 広報担当より 担当理事:高澤弘晃

1. ビデオにて交換会情報を発信します。

平成15年度総会において、広報部会に予算が配分されました、特に今年度は地方の皆さん特に会合等出席できない人たちのためにビデオ製

作をすることになりました、とはいっても本職の業者が作成するようなものは作れません、全て広報担当の手作りです、情報交換会の内容、或いは先日の総会等を収録しました。

ただ 編集も全然経験ないものが作成しますので、できればは不安です。とにかく文字以外の手段で皆さんにお渡しすることは、この会の一つの発展かと思っております、ご期待ください。ビデオ編集経験のある方広報で募集します、お手伝い、ご指導ください、事務局へ連絡をお待ちしております。

● 会員担当より 担当理事:酒匂景輝/鈴木剛

1、会員動向 (平成15年度正会員)

平成15年7月10日現在: 399名

内訳 ・継続会員: 319名 (復活者3名含む)

・新規入会者: 80名

すでに14年度会員数(384名)をクリアーして、15年度予定会員数400名にあと1名です。

継続率は14年度末で78%、15年度は既に83%と例年になりに伸びです。

なお15年1月以降入会者78名の内、7名が14年度の入会者で、殆どが15年度の入会者でした。

2、会員の転居届けについて

転居届けをしない方が多く、大変困っております。折角会報などの資料を送付しても、返品が1回に数件あります。今までは、色々手を尽くして移転先を探していましたが全て探し出せません。今後は会員も多くなり事務繁多のため事務局では移転先は探しません。

会報(3ヶ月毎)などが届かない場合は、自分が届けをしていないのだと思って下さい。転居者の届けがある迄返品された資料は事務局で保管しておきます。

3、会員名簿について

会員名簿委員会において十分吟味の上理事会に諮り、夏季会報の別添の名簿のごとく、情報を多く掲載出来る様にA4版横使いにしました。有効にご利用下さい。

* 名簿の貸し出しは絶対禁止 *

必携 (規定) 編集委員会 酒匂景輝 委員一同

平成15年度総会において、定款、細則を一

部変更の議案が満場一致にて議決されましたので、定款は変更箇所のみ細則は変更済みを配布いたしますので、手元の「南の会必携」に追加及び差し替えをして下さい。 以上

● 会報担当より

担当理事:小沢公子/細田良子/龍野 宏/平尾守満

「訂正とお詫び」

2003年会報新年号の「マニラストリートチルドレンの教育支援活動について」の寄稿文中で(10ページ)名前の誤りがありましたので訂正のお願いとお詫びを申し上げます。

「訂正」洲本さんが手彫りの額を寄贈→藪田さんが手彫りの額を寄贈。

藪田さんには大変失礼を致し申し訳御座いませんでした。深くお詫び申し上げます。

貴重な紙面をお借りし申し訳ありません。

No.149 梶野幸三

会報メイン担当の小川護雄さんが春季号を最後に理事を退任されました。夏季号からはメイン担当が交代制となり、年4回の会報を上記名前順に受け持つ事になりました。会報作成は発送前の約一ヶ月半を拘束される事になります。その結果会報作成に追われ、本来の目的である海外ステイに出かける事が出来ないような状況にならない為の屈指の案でもあります。年4回のメイン担当をされた小川前理事には本当にお疲れ様でしたと心から申し上げます。

新米チーフ集団全員運命共同体となって、より充実した会報を皆様にお届け出来ますよう努力して参りますが、会員の皆様の積極的な投稿活動がこれを支えております。今後とも有益な情報の共有化を推進していきましょう。

会報委員会のメンバーを募集します

会報編集のお手伝いをして下さいませんか? 作業内容はパソコンで手書きの原稿を打ち込んだり、原稿の文字校正をしたりするものです。既に会報用の指定原稿用紙が出来ておりますので、パソコンを普通に扱う方なら何ら難しい作業ではありません。都内近郊で無くともパソコンさえあればご協力頂けます。我こそはとボランティア精神に燃えて下さる方は会報担当までご連絡下さいますようお願い致します。 秋季号窓口は No.470 細田良子さんです。

会報は多くの方に支えられて成り立っております。夏季号の発送日には休日であるにもかかわらず以下の皆様が作業に参加してくださいました。有難うございました。

280 小川、315 鈴木、428 岩瀬、434 大野、446 山田、491 岡、523 小林、580 佐藤ご夫妻、117 龍野、442 平尾、470 細田、140 小沢

♪♪会報秋季号ではバリ島の特集を予定しています。お楽しみに♪♪

「南国暮らしの会」からのお勧め

自己責任 * 納得の上 * 自己決定

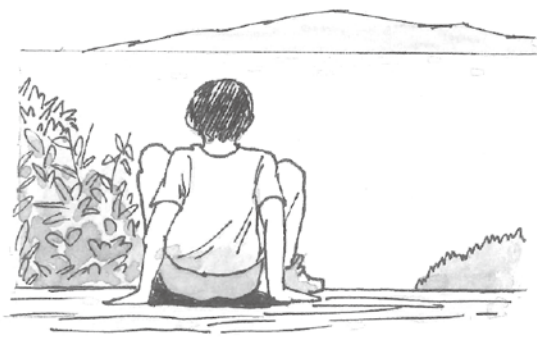
南国で買い物をするときは、すぐ買わず、
情報を幅広く集めて、自分の目で確かめて、
しばらく試してみても納得してから
自分の責任において自己決定する

☆ 編集委員より

♪この会報は会員みんなの会報です
いい情報もみんなで共有しましょう
皆さんの南国経験や情報を是非原稿としてお寄せください
お待ちしております

窓口	小沢 公子	TEL : 03-3949-2436
		Eメール : g-ozawa@dab.hi-ho.ne.jp
	細田 良子	TEL : 045-832-5615
		Eメール : r-hosoda@jb3.so-net.ne.jp
	龍野 宏	TEL : 048-781-4929
		Eメール : hiro.tatsuno@nifty.ne.jp
	平尾 守満	TEL : 0426-26-3665
		Eメール : hirao.morimitsu@nifty.com

緊急! 豪華客船(11万トン新造船)クルージングのご案内
ワールドステイクラブ様のご好意による「7日間東カリブ海クルーズ」を企画しました。
船旅の概要は次の通りです、ご興味のある方は事務局へご連絡ください。
日程：11月14日～11月25日 12日間船中7泊・前後ホテル3泊(オランダ)
費用：船賃(海側デラックスバルコニー付)航空運賃ホテル代合計約20万円(1人)
申し込みはツインの部屋ですので2人単位です。以上 事務局 宮崎



♪次回「秋季号」は10月発行です。よって原稿の締め切りは8月20日が目安です

記事の無断転載、複製を禁じます

発行者 特定非営利活動法人(NPO法人)
「南国暮らしの会」

理事長 池田 徳三郎
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-15-2-809
TEL/FAX 03-3947-8977

NANGOKUNANGOKUNANGOKU



NANGOKUNANGOKUNANGOKU